取扱説明書

DVDオーディオ／ビデオプレーヤー

型名 XV-A550

お買い上げありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 3 ～ 5 ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LET0212-003B

もくじ

お使いになる前に　ページ

接続と準備　ページ

すぐ使ってみる　ページ

いろいろな再生のしかた　ページ

MP3ディスクの再生　ページ

JPEGディスクの再生　ページ

初期設定を変更する　ページ

ご参考に　ページ

安全上のご注意 ―はじめにお読みください―

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグを抜く

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

本機の中に物を入れない。

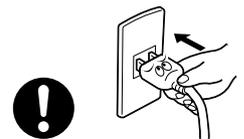
通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

安全上のご注意（つづき） ―はじめにお読みください―

⚠警告

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

交流100V（ボルト）以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and can not be used in any other country.

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

接触禁止

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

⚠注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

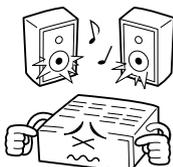
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

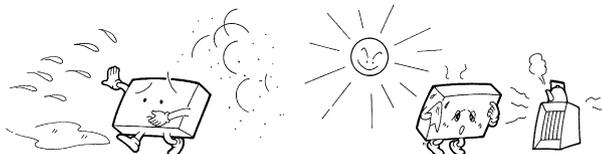
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
- 電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

・本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所
- バランスの悪い不安定な所
- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- 極端に寒い所
- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

露がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露（水滴）が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の掃除

- パネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとから**からぶき**してください。

ご注意

- **シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。**

付属品

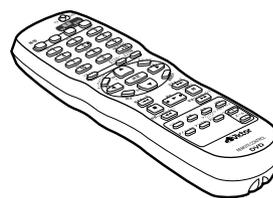
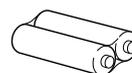
本機には、次の付属品が同梱されています。お使いになる前にお確かめください。

リモコン：RM-SXV020D（1個）

オーディオ/ビデオコード（1本）

［白赤黄］

オーディオコード（2本）

［白赤］

単3形乾電池（2本）…リモコン動作確認用

商標と著作権

- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、MLP Lossless及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
  非公開機密著作物。著作権1992-1998年ドルビーラボラトリーズ社。不許複製。
- 本機はデジタルシアターシステムズ社からの実施権に基づき製造されています。
  dts、DTSおよびDTS Digital Surroundは、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
  著作権1996年デジタルシアターシステムズ社。不許複製。
- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- ディスクを著作権者に無断で複製したり放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。
- DVDビデオ、およびDVDオーディオののロゴは商標です。

ディスクの予備知識

再生できるディスク

再生できるディスク	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオ／DVDオーディオ DVD VIDEO　DVD AUDIO	音声 ＋ 映像	12センチ 8センチ
ビデオ CD Video CD　COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声 ＋ 映像	12センチ 8センチ
オーディオ CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12センチ 8センチ

- DVDビデオ、およびビデオCDは、ソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生するときには、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

● 次のディスクは音声のみ再生できます。

・MIX-MODE CD　・CD-G
・CD-EXTRA　・CD TEXT

● 次のディスクも再生できます。

ただし、記録状態やディスクの特性により再生できない場合や読み取りに時間がかかることがあります。

- DVDビデオフォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている **DVD-R ディスク**
- 音楽用 CD フォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている **CD-R/RW ディスク**
- ビデオ CD フォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている **CD-R/RW ディスク**
- MP3 フォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている **CD-R/RW ディスク**
- JPEG フォーマットで記録され、ファイナライズ処理されている **CD-R/RW ディスク**

お知らせ

- DVDビデオの2層ディスクの場合、1層目から2層目に切り換えるとき、映像や音声が乱れることがありますが、これは故障ではありません。
- 本機は、マクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、このようなディスクをVTRで録画しても正常に再生できません。

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。
誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。

・DVD-ROM　・DVD-RAM　・DVD-RW
・CD-ROM　・フォトCD　・SACD

ご注意

- いずれのディスクでも、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は再生できません。

リージョン番号(ローカル番号)について

本機のリージョン番号は「2」です。DVDビデオのディスク上に「ALL」または「2」のリージョン番号が表示されているディスクに限り再生することができます。

- 本機で再生できるDVDビデオの表示例

リージョン番号とは…
DVDビデオにはリージョン番号と呼ばれる、国や地域ごとに割り当てられている番号がついています。この番号が本機のリージョン番号と合致しないと、そのディスクは再生できません。

テレビ方式について

本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSCに適合しています。NTSC以外のTV方式(PAL(パル)等)用のDVD/ビデオCDは、NTSC方式に変換して再生します。

お知らせ

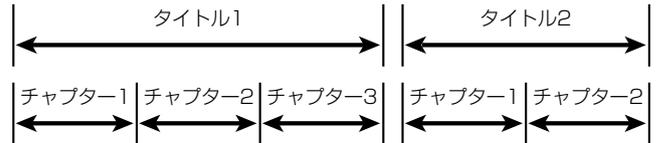
- NTSC以外のTV方式で収録されたDVDビデオやビデオCDを再生する場合、本機のスキャンモードをプログレッシブスキャンに設定しても、プログレッシブ再生機能は働きません。☞ 10 17 ページ

ディスクについて

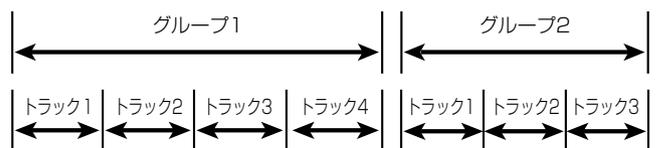
ディスクの構成

DVDビデオ

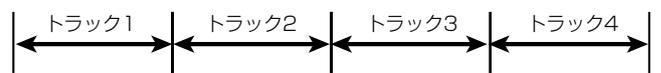
一般的にDVDビデオは、タイトルと呼ばれる大きな単位で構成されています。それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付いていて、希望のタイトルが選べるようになっています。またタイトルはさらにチャプター(章)という小さな単位で構成されています。それぞれのチャプターには番号(チャプター番号)が付いていて、希望のチャプターが選べるようになっています。ただし、ディスクによってはタイトルやチャプターに分割されていないものもあります。

• DVD映画作品の構成の例

DVDオーディオ

DVDオーディオの場合、一般的にグループと呼ばれている大きな単位で構成されています。それぞれのグループにはグループ番号がついています。またグループはトラックという小さな単位で構成されています。それぞれのトラックにはトラック番号がついています。
DVDオーディオにはキーナンバーを入力すると再生ができる「ボーナスグループ」と呼ばれるグループが収録されているものもあります。通常このグループの内容は事前に公表されていません。
なおDVDオーディオにはオーディオ以外の情報(静止画像、動画、テキスト)が収録されている物が多くあります。

• DVDオーディオの例

オーディオCD／ビデオCD

一般的にオーディオCDやビデオCDは、トラックという呼び名で1曲ごとに区切られ、番号（トラック番号）が付けられています。たとえば2曲目を指す場合には、「トラック2」となります。ビデオCDのカラオケなども同様です。ただし、ディスクによってはトラックに分割されていないものもあります。

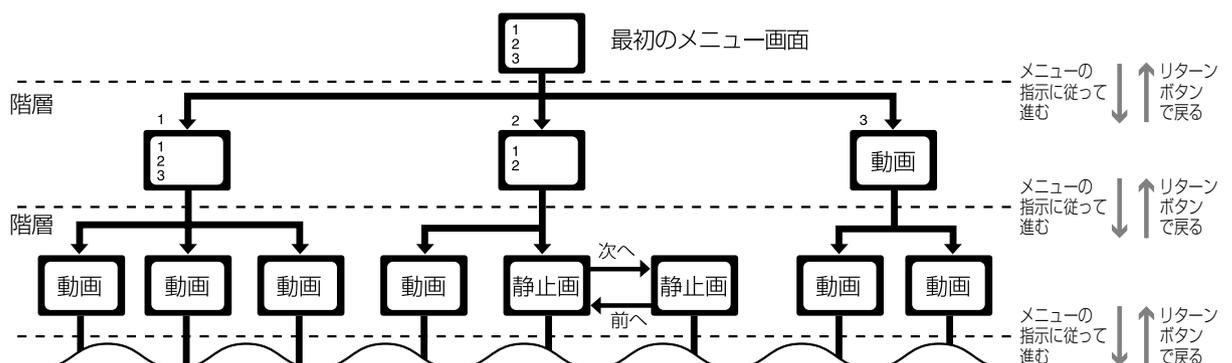
• オーディオCDの例

ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC)機能

ビデオCDのプレイバックコントロール機能(以下PBC)には、「**高精細静止画機能**」と「**メニュー再生機能**」があります。

高精細静止画機能

ディスクの中に高精細な静止画が収録されている場合、動画の4倍以上の解像度で静止画像を再生します。

メニュー再生機能

ディスクの内容をいくつかの階層に分けて収録し、画面の指示にしたがって階層を進みながら再生していきます。PBC対応のディスクを再生すると、通常の場合は最初にメニュー画面を表示します。画面に表示された項目や番号を選んで次の画面に進んでいきます。
PBC対応のディスクでも、PBCを機能させずに収録されているトラックを連続して再生することもできます。
メニュー再生機能の基本的な操作の流れを下図に示します。

音声記録方式

本機で再生できるディスクに記録されているデジタル音声には、次の5種類があります。

ドルビーデジタル

サラウンド方式の一つで、音質を損なうことなく音声データを圧縮し、最大フロント3ch 、リア2ch およびサブウーハー0.1ch の5.1chまで対応しています。
ただし、全てのドルビーデジタルディスクが6(5.1)chで収録されているとは限りません。

DTS (Digital Theater System)

サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じく最大で5.1chです。音声データの圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのある再生が可能です。
ただし、全てのDTS対応のディスクが6(5.1)chで収録されているとは限りません。

リニアPCM

アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全く行いません。

MPEG(Moving Picture Experts Group)オーディオ

MPEG-2オーディオは、MPEGオーディオエキスパートグループにより開発された高効率圧縮技術を用いたデジタルマルチチャンネルオーディオの国際規格の名称です。最大7.1chまで拡張されています。
MPEG-1オーディオは、最大2chの音声を圧縮する方式です。

上記のいずれかの音声記録方式で記録されているディスクを再生すると、本体の表示窓に以下の表示が点灯します。

表示	音声記録方式
LPCM	リニアPCM
DOLBY DIGITAL	ドルビーデジタル
DTS	DTS (Digital Theater System)
MPEG	MPEG (Moving Picture Experts Group)

MLP(Meridian Lossless Packing)

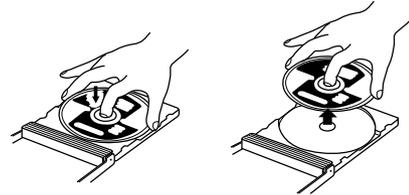
DVDオーディオに採用されているマルチチャンネル音声圧縮方式の名称です。圧縮比率は約1/2の可逆データ圧縮方式で完全に元のデータに復元できる圧縮方式です。高音質での再生を可能にしています。
- DVDオーディオに収録されているMLP方式の音声を再生しているとき、本体表示窓に音声記録方式は表示されません。

お知らせ

- 音声記録方式、および本機と接続するテジタル音声機器に合わせて、初期設定の「音声設定画面」で[デジタルOUT]の設定を変更する必要があります。☞ 56 ページ
- DVDオーディオの場合、ディスクに収録されているマルチチャンネル音声のダウンミックスを禁止しているものがあります。
  このようなディスクを、本機の「音声設定」の[アナログOUT]の設定を[マルチチャンネル]以外で再生すると、本体表示窓に「MULTI CH」が数秒間表示されます。
  [アナログOUT]の設定を[マルチチャンネル]にしてから再生してください。

ディスクの使用上のご注意・お手入れ

取り扱い時の注意

ディスクを取り扱う際、以下のようなことに注意してください。正しく取り扱わないと、信号を読み取れなくなったり、雑音(ノイズ)が生じたり、誤動作の原因となることがあります。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押したままディスクを持ち上げてください。

- ディスクに傷をつけないでください。
- ディスクの信号面(文字の書かれていない面)を汚したり、ラベル面(文字の書かれている面)に紙やセロハンテープなどを張らないでください。
- ディスクを反らせないでください。

ご注意

- **壊れたディスクや特殊形状のディスクは入れないでください。ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したような壊れたディスクや、ハート型や八角形など、特殊形状のディスク(シェイプCDなど)は本機に入れないでください。故障の原因となることがあります。**

ディスクの保管

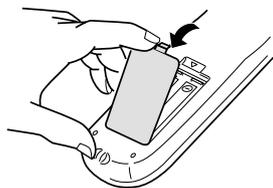
使用するディスクは、ほこり、傷、変形などを防ぐため、必ず専用のケースの中に入れて保管し、次のようなところには絶対に置かないでください。
- **直射日光の当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**
- **暖房器のそばや車の中など**

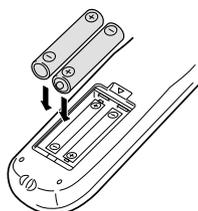
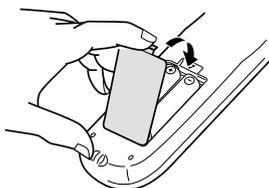
ディスクのクリーニング

- ディスクの信号面についたほこりや指紋は、柔らかい乾いた布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

- レコードクリーナーやレコードスプレー、シンナーおよびベンジンなどの溶剤を、ディスクのクリーニングには使用しないでください。

リモコンに電池を入れる

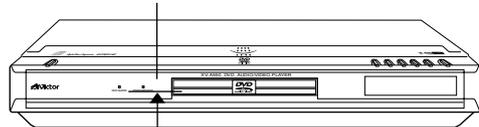
1　裏ブタの上部を指で手前に押しながら、外す

2　乾電池（単3形）2本を入れる

＋／－の極性がリモコン内部に表示されています。極性表示に合わせ正しい向きに入れてください。

3　裏ブタを元通りに閉める

ご注意

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液もれなどの原因となります。

リモコンの操作範囲

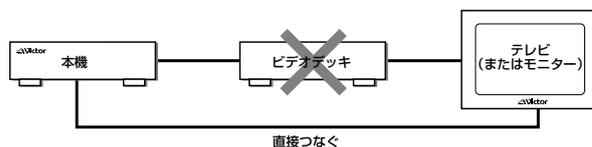
リモコンの先端を本体前面のリモコン受光部に向けて操作します。操作可能な距離は、リモコン受光部より約5mですが、斜めから操作すると短くなります。

リモコン受光部

約5m

- リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっていると、動作しないことがあります。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
  交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

接　続

接続にあたってのご注意

- すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 各プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音（ノイズ）や音が出ないなどの原因となります。
- 付属の接続コード（ピンコード）の黄色いプラグは、映像端子へ、白いプラグは音声の左・L（レフト）端子へ、赤いプラグは右・R（ライト）端子につなぎます。
- 本機の映像出力は、テレビ（またはモニター）と直接つないでください。ビデオデッキを経由してつなぐと、本機のコピー防止機能の働きにより、再生中に画像が乱れることがあります。

ビデオデッキ内蔵のテレビ（テレビデオ）につないだ場合も、再生中に画像が乱れることがあります。

ご注意

- ワイドテレビに接続するときは、別売りのSビデオコードで接続してください。Sビデオコードで接続しないと、テレビの画面サイズの自動切換機能やテレビの2画面機能が正しく働かないことがあります。

お知らせ

- 接続するテレビまたは機器がビクター製で、AVコンピュリンクIIまたはIII 端子があるときは、「AVコンピュリンクの活用」をご覧ください。☞ 66 ページ
- テレビやモニターの映像入力端子がBNCタイプのときは、別売りのアダプター：VZ-90を使用してください。
- ドルビーデジタルで収録されている映画などを再生するときは、接続したテレビの音量（ボリューム）を上げてください。再生が終わったら元の音量に戻します。

プログレッシブスキャン対応

本機は、よりチラツキの少ない高密度の映像が得られるプログレッシブスキャンの映像出力に対応しています。**プログレッシブスキャン対応テレビ**でより高密度の映像をお楽しみになるには、次の方法があります。

- **本機のコンポーネント映像出力端子（Y、CB/PB、CR/PR）とテレビのコンポーネント映像入力端子（Y、PB、PR）端子を接続する（「コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続する」☞ 11 ページ）**

または

- **本機のD 1/D2 端子とテレビのD2～D4端子を接続する（「D 端子付きのテレビと接続する」 11 ページ）**

⬇

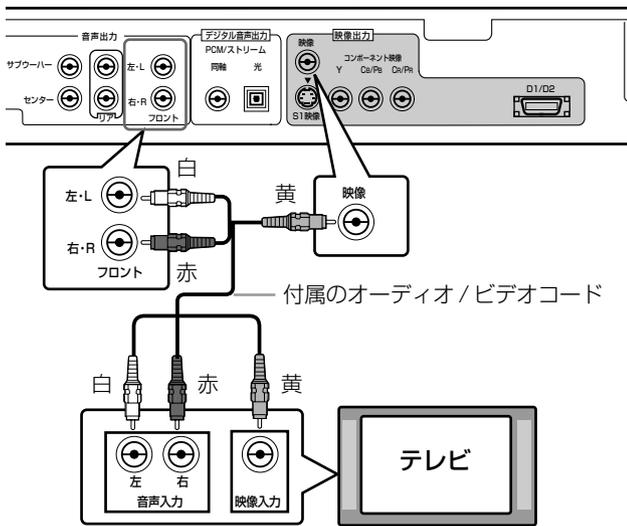
本機のスキャンモードを「プログレッシブ」に設定する。
☞ 17 ページ

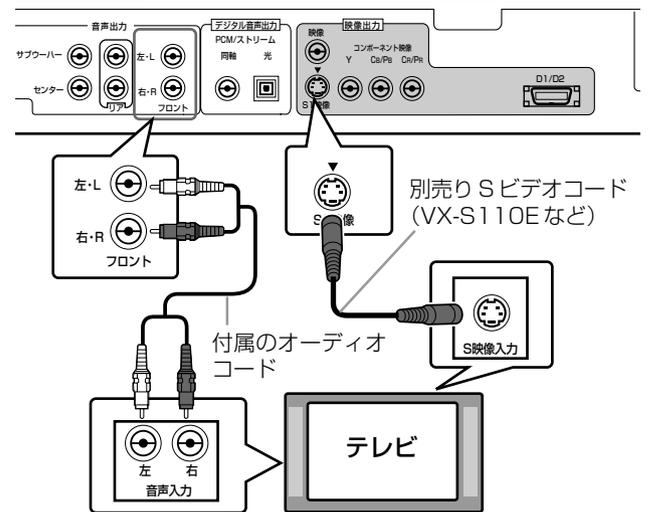
テレビと接続する

テレビに本機の映像出力と音声出力を接続します。
テレビに合わせて下記のいずれかの接続をします。
接続が終わったら、電源コードを接続し、**接続したテレビに合わせて本機の再生条件を設定してください。**

- **電源コードの接続** ☞ 13 ページ
- **本機の再生条件を設定する［簡単セットアップ］** ☞ 14 ページ

■ 従来のテレビと接続する（映像入力および音声入力端子が付いているテレビ）

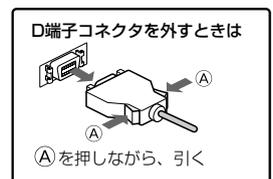
付属のオーディオ/ビデオコードで接続します。

■ S映像入力端子付きのテレビと接続する

S映像入力端子（用語集 ☞ 72 ページ）が付いているテレビの場合、Sビデオコード（別売り：VX-S100Eなど）で接続します。さらに鮮明な映像がお楽しみいただけます。

■ コンポーネント映像入力端子付きのテレビと接続する

コンポーネント映像入力端子（用語集 ☞ 72 ページ）が付いているテレビの場合、コンポーネント映像コード（別売り：）で接続します。より高画質な映像がお楽しみいただけます。

コンポーネント映像コードは、YとY、CB/PBとCBまたはPB、CR/PRとCRまたはPRを正しくつなぎます。

■ D 端子付きのテレビと接続する（プログレッシブスキャン対応テレビなど）

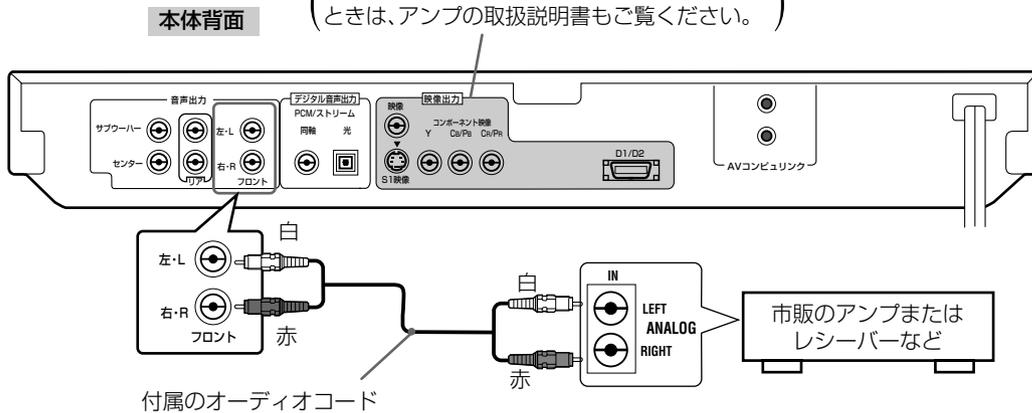
D1/D2端子（用語集 ☞ 72ページ）を使って本機とテレビのD端子（D1～D4まで）を接続します。
より高画質の映像がお楽しみいただけます。

接　続（つづき）

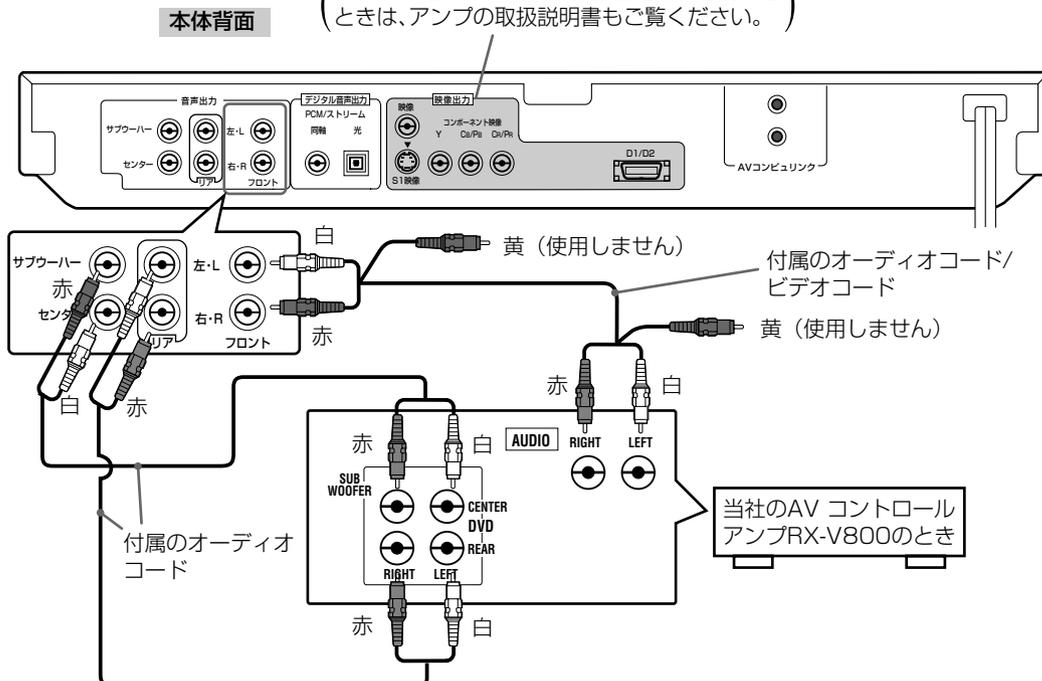
オーディオ機器と接続する

本機の音声出力をアンプやサラウンドデコーダーに接続すると、より高音質で迫力あるサラウンドを楽しむことができます。
接続する機器に合わせて次のいずれかの接続をします。
接続が終わったら、電源コードを接続し、**接続した機器に合わせて本機の再生条件を設定してください。**

- **電源コードの接続** 13 ページ
- **本機の再生条件を設定する［簡単セットアップ］** 14 ページ

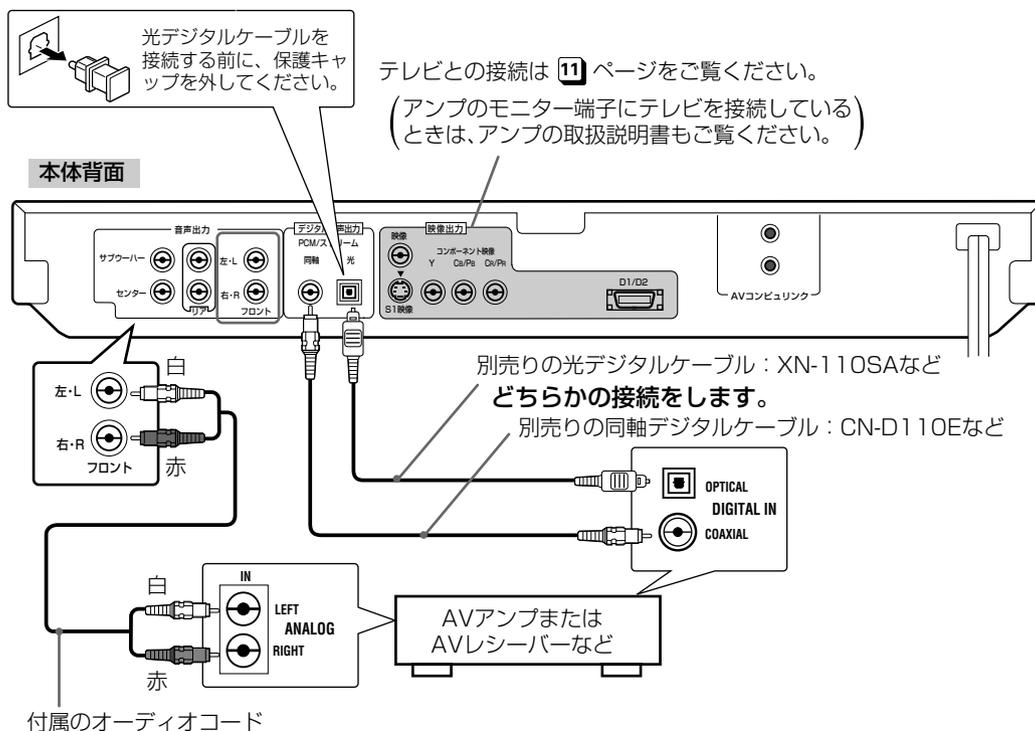
■ ステレオアンプやレシーバーと接続する

本機をステレオアンプ、レシーバーなどのオーディオ専用機器と接続して、より迫力ある音声が楽しめます。
アンプのライン入力端子(AUX、DVD、CDなど)と本機のアナログ音声出力端子(右・R、左・L)を接続します。

■ 5.1ch入力端子付のアンプと接続する

本機は、DVDオーディオのリニアPCMマルチチャンネルで収録されたソフトの再生に対応しています。また、ドルビーデジタルとＤＴＳデコーダーを内蔵しているので、サラウンドシステムを構成する際に外部デコーダーは必要ありません。本機の5.1ch出力端子とアンプの5.1ch入力端子を接続すると、本格的なサラウンド再生がお楽しみいただけます。

- 本機の音声出力端子(フロント、リア、センター、サブウーハー)とアンプの5.1ch入力端子のチャンネル対応を正しく行ってください。端子の並び順は、アンプによって異なりますのでご注意ください。

■ デジタル入力端子付きの機器と接続する

本機のデジタル音声出力端子を、ドルビーデジタルデコーダーやDTSデコーダー内蔵のAVアンプやAVレシーバーなどのデジタル入力端子と接続します。本機で再生したディスクのオーディオ信号をデジタルのまま外部機器へ送ることができ、高音質のサラウンドがお楽しみいただけます。
デジタル音声出力の光端子または同軸端子のいずれかを使って接続します。

- デジタル音声端子どうしを接続する場合、アナログ音声端子を使った接続も行ってください。DVDビデオやDVDオーディオの収録方式によってはデジタル音声信号が出力されないことがあります。

ご注意

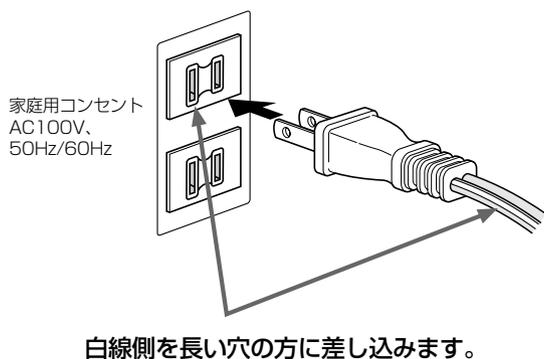
- ドルビーデジタルデコーダーの機能を持った機器と接続した場合、本機のデジタル音声出力からの音声に対して本機の「音声設定画面」の[アナログOUT]、および[Dレンジコントロール]設定は無効となります。☞ 56 ページ

電源コードの接続

すべての接続が終わったら、本機の電源コードを家庭用コンセント(交流100V)にしっかりと差し込みます。
電源コードを接続すると、本体の ⏻/I(電源)ボタンが赤く点灯します。

白線側を長い穴の方に差し込みます。

電源コードの極性表示について

本機の電源コードには、一方に白線が入っています。これは電源の極性を表示したもので、図のように極性を合わせて家庭用コンセントに差し込みます。より良好な音質が得られます。

ご注意

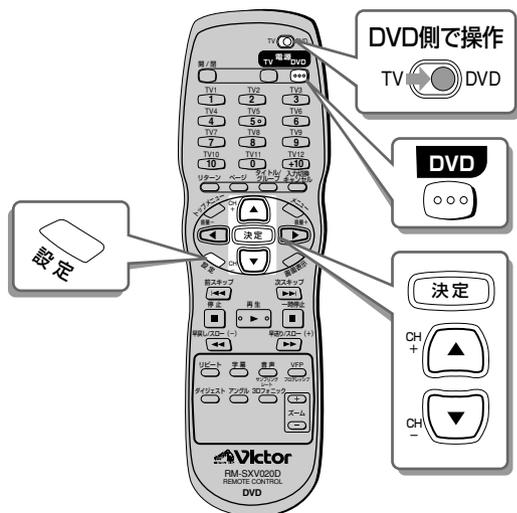
- 電源コードを改造したり、電源コードをねじ曲げたり、引っ張る、または電源コードの上に重い物を置かないでください。火災、感電などの原因となることがあります。

お知らせ

- 本機は、電源を「切(スタンバイ)」にしていても、わずかに電力を消費しています。長期間お使いにならないときは安全および節電のため、電源コードをコンセントから抜いてください。

本機の再生条件を設定する[簡単セットアップ]

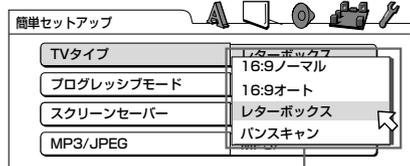
本機の操作を始める前に、「簡単セットアップ」画面で本機の再生条件を設定します。
これらの設定は、あとから初期設定画面で設定することもできます。☞ 53 ページ

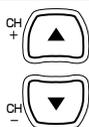
- 出荷時は、通常のテレビ（画面サイズ4：3）と映像および音声を接続して使用する設定になっています。
  ワイドテレビやオーディオ機器（AVアンプなど）と接続して使用するときは、接続した機器に合わせた設定が必要です。

準備
- 接続したテレビの電源を入れ、**テレビの入力切換**ボタンで**ビデオ3（またはビデオ1、ビデオ2など）**を選び本機の映像が映るようにします。

1 DVD電源を押して、本機の電源を入れる

本機のオープニング画面（☞ 16 ページ）が表示されてから、手順**2**の操作をしてください。

2 設定を2秒以上押し続ける

「簡単セットアップ」画面が表示され、[TVタイプ］のプルダウンメニューが表示さます。

TV のタイプの選択

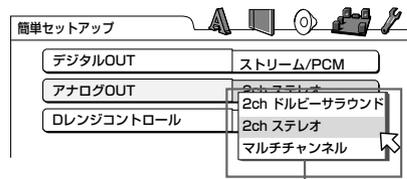
3 カーソル（▲/▼）を使ってテレビのタイプを選んでから、決定を押す

- お買い上げ時は、「**レターボックス**」に設定されています。

通常のテレビ（4：3）を接続しているとき
➡ 通常は［レターボックス］を選びます。
［**パンスキャン**］については、55 ページをご覧ください。

ワイドテレビを接続しているとき
➡ 通常は［**16:9 オート**］を選びます。
［**16:9ノーマル**］については、55 ページをご覧ください。

- テレビのタイプについては 55 ページの「TV タイプ」をご覧ください。

4 カーソル（▲/▼）を使ってアナログ音声出力のタイプを選んでから、決定を押す

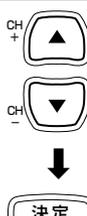
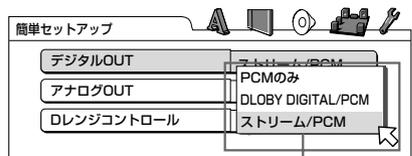
背面の**音声出力のフロント（左・L、右・R）端子から出力される音声を設定します。**
音声出力を使って接続していないときは、**決定**を押します。
- お買い上げ時は、「2ch ステレオ」に設定されています。

アナログ OUT の選択

テレビまたはステレオアンプを接続しているとき
➡［**2ch ステレオ**］を選びます。

5.1ch 入力端子付きアンプを接続しているとき
➡［**マルチチャンネル**］を選びます。

ドルビープロロジックデコーダー内蔵アンプを接続しているとき
➡［**2ch ドルビーデジタル**］を選びます。

- 詳しくは 56 ページをご覧ください。

5 カーソル（▲/▼）を使ってデジタル音声出力のタイプを選んでから、決定を押す

背面の**デジタル音声出力**を使って接続しているとき設定します。
デジタル音声出力を使って接続していないときは、**決定**を押します。
- お買い上げ時は、「ストリーム /PCM」に設定されています。

デジタル OUT の選択

デコーダー内蔵AVアンプ（DTS/ドルビーデジタル/MPEG）または、デコーダーと接続しているとき
➡ **通常は［ストリーム /PCM］を選びます。**
［DOLBY DIGITAL/PCM］については、56 ページをご覧ください。

デコーダーを内蔵していないデジタル端子付きアンプまたは MD レコーダーなどと接続しているとき
➡ **［PCM のみ］を選びます。**

- 詳しくは 56 ページをご覧ください。
- **決定**を押すと簡単セットアップ画面が消え、本機のオープニング画面になります（☞ 16 ページ）。

リモコンでテレビを操作できるように設定する

本機のリモコンでテレビの操作ができます。
ビクター製のテレビをお使いの場合は、電池を入れると本機のリモコンでテレビの操作ができます。
ビクター製以外のテレビをお使いの場合は、以下の手順で本機のリモコンのメーカー設定をしてください。

1 TV/DVD切換スイッチを「TV」側に切り換える

2 手順4が終わるまで入力切換/キャンセルを押したままにする

3 数字ボタン(1〜9、0)でメーカーのコード番号(2ケタ)を入力する

例:松下1の場合
入力切換/キャンセルボタンを押したまま

0 ➡ 2 と押す。
(シャープの場合は 1 ➡ 0 と押す)

メーカーのコード番号表

メーカー名	コード番号
ビクター	01
松下1	02
松下2	03
三菱	04
ソニー	05
日立	06
東芝	07
サンヨー1	08
サンヨー2	09
シャープ	10
パイオニア	11
NEC	12
フナイ 1	13
アイワ	14
フナイ2	15
フナイ3	16

- 複数のコードを持つメーカーの場合、機種によって動作するコード番号が異なります。順番に試してみて正しく動作するコード番号を選んでください。

4 決定を押す

5 入力切換/キャンセルを離す

リモコンをテレビに向けて、下の「リモコンでテレビを操作する」が正常に行えるかを確認してください。

リモコンでテレビを操作する

1 TV/DVD切換スイッチを「TV」側に切り換える

2 下のボタンを使ってテレビを操作する

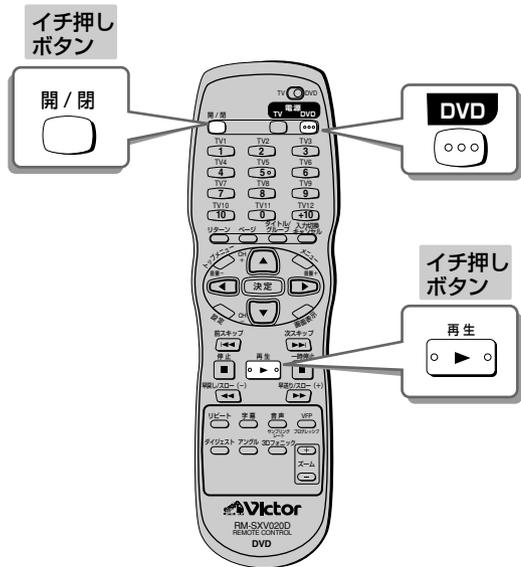
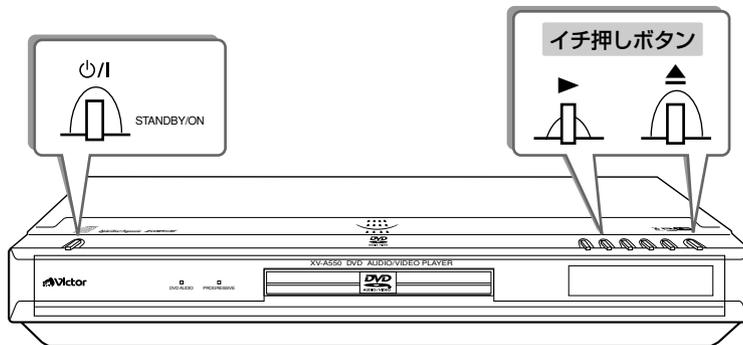
カーソル(▲ CH+/▼ CH−)(◄ 音量−/► 音量+)、数字ボタン、入力切換/キャンセルを使って操作します。

ボタン	操作
TV 電源	テレビの電源を「入」/「切(スタンバイ)」する
CH+ ▲ / CH− ▼	テレビのチャンネルを変える
音量− ◄ / 音量+ ►	テレビの音量を調節する
TV1 1 〜 TV10 10、TV11 0、TV12 +10	テレビのチャンネルを選ぶ • 数字ボタンの上のTV1〜TV10、およびTV11、TV12がテレビのチャンネル番号です
入力切換 キャンセル	テレビとビデオ入力を切り換える

お知らせ

- 本機を操作するときは、**TV/DVD切換スイッチ**を「DVD」側にしてから操作してください。

電源の「入」／「切」（スタンバイ）」について

リモコン

本　体

電源を「入」にするには

リモコンの**DVD電源**または本体の ⏻/I **(電源)**を押します。
本体の ⏻/I **(電源)**が**緑色**に点灯し、本体前面の左右に青い照明が点灯します。本体表示窓には「HELLO」が表示されます。

- イチ押しボタンを使うこともできます。

■ イチ押しボタンを使う

電源が「切（スタンバイ）」のとき、下表のボタンを押しても電源が「入」になります。

リモコン	本　体	動　　作
開 / 閉	⏏	ディスクトレイが出てきます。
再 生	►	ディスクが入っていると、再生が始まります。

電源を「切」にするには

リモコンの**DVD電源**または本体の ⏻/I **(電源)**を押します。
本体 の⏻/I **(電源)**が**赤色**に点灯します。

＊ **以後、本書では主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。**

電源を入れると表示される画面について

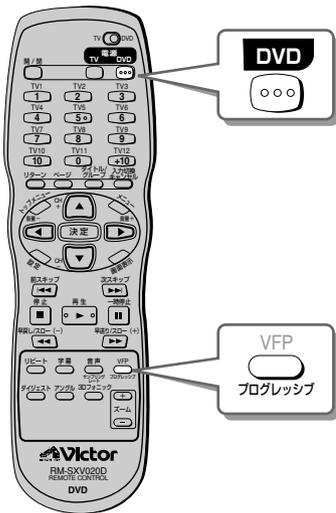
電源を入れた直後、テレビ画面に次のような画面が自動的に表示されます。これをオープニング画面といいます。

メッセージ

オープニング画面の下部には、本機の状態を示すメッセージが表示されます。

NOW READING（ナウ リーディング）：ディスク情報を読み取り中です。しばらくお待ちください。
リージョン コード エラー！：リージョンコードが違うため、このDVDビデオを再生できません。
NO DISC（ノー ディスク）：ディスクが入っていません。
OPEN（オープン）：ディスクトレイを開いています。
CLOSE（クローズ）：ディスクトレイを閉じています。

スキャンモードの切り換え

本機のスキャンモードは、お買い上げ時は「**インターレース**」に設定されています。
プログレッシブスキャン対応テレビと本機映像出力のコンポーネント映像端子、またはＤ１／Ｄ２端子で接続したときに、スキャンモードを「**プログレッシブ**」に切り換えます。
- スキャンモードを「**プログレッシブ**」に切り換えると、本機映像出力の映像端子とＳ1映像端子から映像信号は出力されません。

デジタルダイレクトプログレッシブ方式について

これまでのプログレッシブスキャン対応ＤＶＤプレーヤーでは、プログレッシブスキャンで収録されたDVDビデオの映像信号を、インターレーススキャンに変換してから再度プログレッシブスキャンに戻すという処理を行っていたため、映像がブレたり不自然に映ることがありました。
ビクターの**デジタルダイレクトプログレッシブ方式**は、DVDビデオのプログレッシブスキャン映像をそのまま出力するので、プログレッシブスキャンが持つ本来の自然で美しい映像の再生を実現しています。

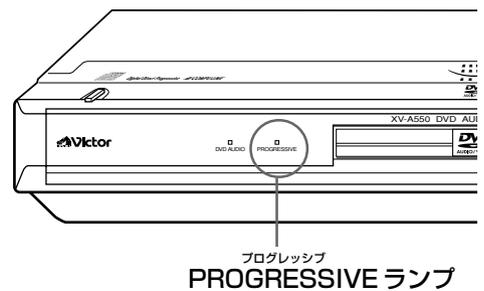
お知らせ

- ビクター製以外のプログレッシブスキャン対応テレビの中には、本機のプログレッシブスキャンに適合しないものがあます。
  テレビの映像が不自然に映るときは、スキャンモードを「**インターレース**」にしてください。
- **プログレッシブ映像出力の著作権保護信号について**
  本機のプログレッシブ映像出力(525p)には著作権保護信号が付加されていることがあります。この信号に対応していないテレビ、モニターでは映像が乱れることがあります。このようなときは、スキャンモードを「**インターレース**」にしてお使いください。
  ビクター製のテレビでは、HD-32LS3やAV-32AD2などが著作権保護信号に対応しています。詳しくは「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。

1 DVD DVD電源を押して、本機の電源を入れる

2 VFP/プログレッシブを１秒以上押し続ける

本体のPROGRESSIVE（プログレッシブ）ランプが点灯します。

PROGRESSIVE（プログレッシブ） ランプ

PROGRESSIVEランプ点灯
➡**プログレッシブスキャン**
- プログレッシブスキャンにすると、「**映像設定画面**」で「**プログレッシブモード**」の設定が可能になります。お買い上げ時は、「**オート**」に設定されています。☞ 55 ページ

PROGRESSIVEランプ消灯
➡**インターレーススキャン**

プログレッシブスキャン（PROGRESSIVEランプ点灯）のとき、本機の状態やプログレッシブモードの設定、再生状態、およびディスクの収録素材（☞ 55 ページ）によって、PROGRESSIVEランプの色が次のように変わります。

［プログレッシブモード］設定	ディスクの収録素材	
	フィルム素材	ビデオ素材
「ビデオ」のとき	赤	赤
「フィルム」のとき	緑	緑
「オート」のとき	緑	赤

＊停止中は、常に赤く点灯します。

- プログレッシブモードについては 55 ページを参照してください。

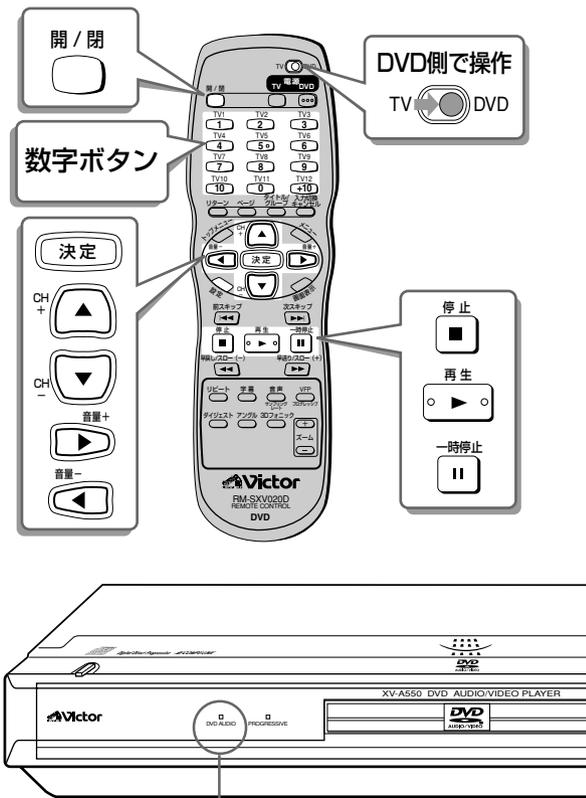
インターレーススキャンに戻すとき

VFP/**プログレッシブ**を1秒以上押し続け、PROGRESSIVEランプを消灯させます。

接続と準備

基本操作（DVDビデオ/DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCDの操作）

このページから 44 ページまでは、DVDビデオ、DVDオーディオ、オーディオCD、ビデオCDの操作を説明します。
MP3ディスクの再生については 45 ページから、JPEGディスクの再生については 48 ページからの説明をご覧ください。

DVD ビデオ / DVD オーディオ / オーディオ CD / ビデオ CD は、操作できるディスクの種類を表します。

DVD AUDIOランプ
本機に入れたディスクがDVDオーディオのとき、青く点灯します。

ディスクを入れて、すぐにメニューが表示されたときは･･･

ディスクによってはディスクを入れ、ディスクトレイを閉じると自動で再生が始まり、メニュー画面が表示されるものがあります。☞ 25 26 ページ

このようなディスクのときは、リモコンの次のボタンを使ってメニューから希望の項目を選んで再生します。ディスクによっては、操作方法がここでの説明と異なることがあります。

項目をカーソルで選ぶとき
カーソル（▲/▼/◀/▶）を使って、項目を選び、**決定**ボタンを押します。

項目を数字ボタンで選ぶとき
数字ボタンで項目を選び、**決定**ボタンを押します。

ご注意

- ディスクはトレイの溝に合わせて正しく置いてください。溝に合わないままディスクトレイを閉めると、ディスクが破損したり、ディスクが取り出せなくなる原因となります。

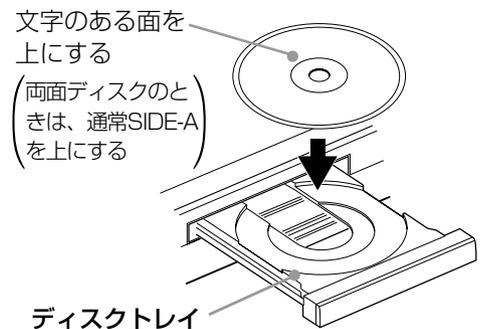
再生する

DVD ビデオ / DVD オーディオ / オーディオ CD / ビデオ CD で使える機能です

1 開/閉 開／閉を押す

電源が入り、ディスクトレイが出てきます。本体の ⏻/I（電源）が緑色の点灯に変わります。

2 ディスクトレイにディスクを置く

ディスクトレイの円形部分に沿うように正しく置きます。
- 8センチディスクは内側の凹部に置きます。

3 再生 ▶ 再生を押す

ディスクトレイが閉じ、ディスクの最初から再生が始まります。
ディスクによっては、ディスクトレイを閉じると自動で再生が始まるものがあります。

例：DVDビデオを再生中の表示窓

DVD DOLBY DIGITAL ▶ TITLE 1 CHAP 1 0:00:03

例：DVDオーディオを再生中の表示窓

DVD AUDIO LPCM ▶ GROUP 1 TRACK 1 EACH 0:00:03

例：ビデオCDをPBC機能で再生中の表示窓

VCD MPEG ▶ TRACK 1 PBC

例：ビデオCDをPBC機能を使わないで再生中の表示窓

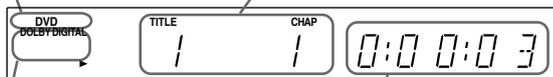
VCD MPEG ▶ TRACK 1 EACH 0:03

例：音楽CDを再生中の表示窓

CD LPCM ▶ TRACK 1 EACH 0:03

本体の表示窓について

ディスクの種類が表示されます。
DVD　　　　　：DVD ビデオ
DVD AUDIO ：DVD オーディオ
CD　　　　　：音楽 CD
VCD　　　　：ビデオ CD

タイトル番号（TITLE）またはグループ番号（GROUP）、チャプター番号（CHAP）またはトラック番号（TRACK）が表示されます。

ディスクに収録されている音声記録方式の種類が表示されます。
• MLP（DVD オーディオのロスレス圧縮）方式で記録されているディスクの場合、音声記録方式の種類は表示されません。

再生経過時間が表示されます。
DVD オーディオ、オーディオCDまたはビデオCDのときは、再生中のトラックの経過時間が表示されます。

停止中の表示

DVD ビデオのとき：総タイトル数が表示されます。
DVDオーディオのとき：総グループ数と総再生時間を表示➡グループ 1 の曲数とグループ1 の総再生時間が表示➡ グループ「1」トラック「1」と「STOP」が表示されます。
オーディオ CD のとき：総トラック数と総再生時間を表示➡トラック 1 の再生時間が表示されます。
ビデオ CD のとき：総トラック数と総再生時間を表示➡トラック 1 の再生時間が表示されます。PBCで収録されているビデオCDのときは、「PBC」と表示されます。

ちょっと見バック

DVDビデオを再生中に► **再生**を押すと、現在再生してるところから10秒前に戻って再生します。見逃したシーンなどを確認したいときに便利です。☞ 24 ページ

停止する

《再生中に》　DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です

■ 停止を押す

再生が停止します。

再生中に**開/閉**を押すと再生が停止し、ディスクトレイが出てきます。

一時停止する

《再生中に》　DVD ビデオ　オーディオ CD　ビデオ CD で使える機能です

II 一時停止を押す

再生が一時停止になります。
再生を再開するときは、► **再生**を押します。

再生中に表示されるマークについて

再生条件に応じて、下のようなマークがテレビ画面に数秒間表示されます。これらのマークはオンスクリーンガイドといいます。オンスクリーンガイドには、再生状態や禁止を示すマークと、ディスクの収録状態を示すマークがあります。ディスクの収録状態を示すマークは表示しないようにすることもできます。

再生状態や禁止を示すマーク

- ►：再生を開始すると表示されます。
- II：一時停止すると表示されます。
- ◄◄ ►►：選択したスピードで早送り／早戻し再生をすると表示されます。☞ 20 ページ
- ◄I I►：選択したスピードでスロー再生をすると表示されます。☞ 20 ページ
- ⊘：本機、またはディスクで禁止、または対応していない操作を行ったときに表示されます。⊘ が表示されなくても、状況によっては操作ができないことがあります。

ディスクの収録状態を示すマーク

• **マークを表示しないようにするには**
☞ 59 ページの「オンスクリーンガイド」を参照してください。

- ：複数のアングルが収録されている場面で表示されます。☞ 35 ページ
- ：複数の音声言語が収録されている場面で表示されます。☞ 34 ページ
- ：複数の字幕言語が収録されている場面で表示されます。☞ 34 ページ

スクリーンセーバーについて

長い時間、静止画を映していると、テレビ画面が焼き付きを起こし静止画の残像が残ってしまうことがあります。これを防止するのがスクリーンセーバー機能です。

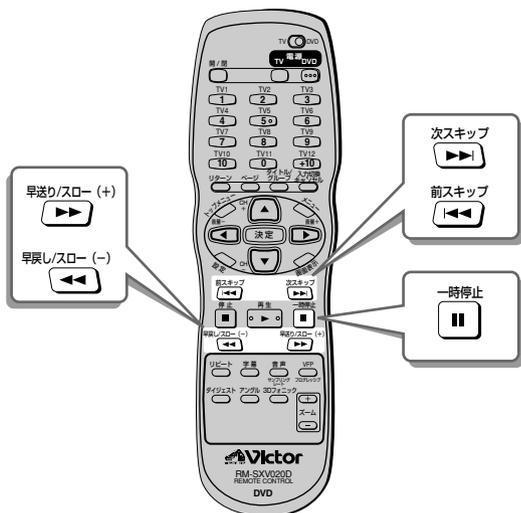
初期設定画面(☞ 53 ページ)を表示中や停止中、またはメニュー再生中など、静止画が表示されてから 5 分以上何も操作をしないと、画面が暗くなります。
スクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除され、通常の明るい画面に戻ります。

（スクリーンセーバーが働いていないとき）

（スクリーンセーバーが働いているとき）

初期設定「映像設定画面」の［スクリーンセーバー］の設定で、スクリーンセーバー機能を働かせないようにすることもできます。☞ 55 ページ

いろいろな速さで再生する

再生するスピードを変えたり、画像をコマ送りで楽しむことができます。

早送り/早戻し再生をする

DVD ビデオ　DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　で使える機能です

《再生中に》

【早送り/早戻し再生1】（リモコンのみ）

1　早送り/スロー（+）または早戻し/スロー（−）

►►または◄◄を押す

ボタンを押すごとに早送り／早戻しのスピードが速くなります（2倍速～60倍速）。
通常の再生に戻すときは、► **再生**を押します。

【早送り/早戻し再生2】

1　次スキップ または 前スキップ

►►|または|◄◄を押し続ける

►►| を押し続けると早送り再生（5倍速）、|◄◄ を押し続けると早戻し再生（5倍速）ができます。
ボタンから手を離すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

- DVDビデオやDVDオーディオ、ビデオCDを早送り/早戻し再生しているときは、音声が出ません。
  オーディオCDを早送り/早戻し再生しているときは、断続的に音声が出ます。

画像を1コマずつ送る

DVD ビデオ　ビデオ CD　で使える機能です

《一時停止中に》

1　一時停止

II 一時停止を押す

II 一時停止を押すごとに静止画像が次のフレームに進みます。
► **再生**を押すと通常の再生に戻ります。

スローモーション再生する［スロー］

DVD ビデオ　ビデオ CD　で使える機能です

《再生中に》

1　一時停止 ⬇ 早送り/スロー（+）または早戻し/スロー（−）

II一時停止を押してから、►►または◄◄ を押す

►►：順方向のスロー再生 ... スロー（+）
◄◄：逆方向のスロー再生 ... スロー（−）（DVDビデオのみ）

◄◄または►►を押すごとにスロー再生のスピードが上がります（1/32倍速～1/2倍速）。

- スロー再生中、音声は再生されません。
- ビデオCDでは逆方向のスロー再生はできません。

- **通常の再生に戻すには**
  ► **再生**を押します。

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶ

見たい場面や聞きたい曲を素早く選ぶことができます。

お知らせ

- DVDビデオやDVDオーディオによっては、この機能が使えないものもあります。
- ビデオCDをPBC再生（☞ 26 ページ）しているときや、ディスクによってはこの機能が使えません。

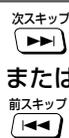
►►Iまたは I◄◄を使って頭出しをする

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

前後のタイトルやチャプター(DVDビデオ)やトラック(DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCD)の頭にスキップすることができます。

《DVDビデオ　:再生中に》
《DVDオーディオ:いつでも》
《オーディオCD　:いつでも》
《ビデオCD　　:停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 ►►Iまたは I◄◄を押す

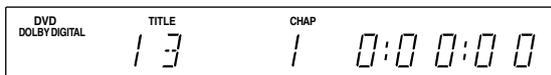
次スキップ ►►I または 前スキップ I◄◄

次のタイトル/チャプター/トラックに進む
➡ 必要な回数だけ ►►I を押す

前のタイトル/チャプター/トラックに戻す
➡ 必要な回数だけ I◄◄ を押す

再生中のタイトル/チャプター/トラックの頭に戻る
➡1 回だけ I◄◄ を押す

選んだタイトル/チャプター/トラックが表示窓に表示され、再生が始まります。

例：DVD ビデオのとき

DVD DOLBY DIGITAL　TITLE 13　CHAP 1　0:00:00

- DVDオーディオ、オーディオCDまたはビデオCDのとき、停止中に►►Iまたは I◄◄を押してから► **再生**を押すと、選んだトラックから再生が始まります。

数字ボタンを使って頭出しをする

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

DVDビデオのタイトルやチャプター、DVDオーディオ/オーディオCD/ビデオCDのトラックを数字ボタンで指定して、再生を始めることができます。

《DVDビデオ　:いつでも》
《DVDオーディオ:いつでも》
《オーディオCD　:いつでも》
《ビデオCD　　:停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 数字ボタンを使って番号を指定する

ディスクの種類、および本機の動作状態によって、指定する項目が異なります。

動作状態	ディスクの種類	指定される項目
停止中	DVDビデオ	タイトルまたはチャプター
	DVDオーディオ	グループまたはトラック
	オーディオCD／ビデオCD	トラック
再生中	DVDビデオ	チャプター
	DVDオーディオ	トラック
	オーディオCD／ビデオCD	トラック

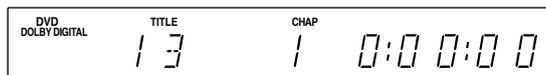
数字ボタンの使いかた

- **1〜10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを押してから、1〜10のボタンを押す

例：13番を選ぶには +10 ➡ 3
24番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 4
30番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 10
または +10 ➡ +10 ➡ +10 ➡ 0 と押す

指定した番号が本体の表示窓に表示され、再生が始まります（ダイレクト再生）。

例：DVD ビデオのとき

DVD DOLBY DIGITAL　TITLE 13　CHAP 1　0:00:00

- DVDビデオにタイトルが複数ある場合、再生中にタイトルを指定することができます。☞ 27 ページ
- DVDオーディオにグループが複数ある場合、再生中にグループを指定することができます。☞ 27 ページ
- DVDビデオやDVDオーディオを再生中でメニュー画面が表示されているときは、この機能は使えません。
- **⃠ が表示されたときは ...**
  押した番号のタイトル、グループあるいはトラックが収録されていません。あるいは、この操作が禁止されています。

あとで続きを再生する［リジューム］

DVDビデオ　DVDオーディオ　ビデオCD　で使える機能です

映画鑑賞を途中で中断するときなど、その位置を本機に記憶させ、あとでその位置から続きを再生することができます。これを「リジューム」といいます。
本機には、ディスクトレイに入っているディスクの再生位置を記憶する**通常のリジューム**と最大30枚までのディスクの再生位置を記憶する**ディスクリジューム**があります。あらかじめリジュームモードを設定してからリジュームの操作をします。お買い上げ時は、**通常のリジューム**に設定されています。

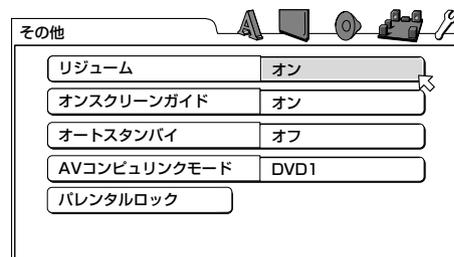
リジュームモードを選ぶ

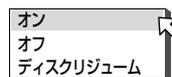
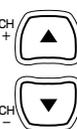
《電源「切」以外いつでも》

1 設定を押す

初期設定画面が表示されます。☞ 53 ページ

2 カーソル(◀/▶)を使って「その他設定画面」にする

「その他設定画面」が表示され、 が［リジューム］の［オン］を指しています。

3 決定を押す

［リジューム］のプルダウンメニューが表示されます。

4 カーソル(▲/▼)を使ってリジュームモードを選ぶ

オン(通常のリジューム)
現在ディスクトレイにセットされている1枚のディスクに対してのみリジュームを行います。

ディスクリジューム(ディスクリジューム)
最大30枚までのディスクの中断した位置を記憶し、ディスクを取り出してもリジューム情報が記憶されています。

オフ(リジュームしない)
再生位置は記憶されません。

5 決定を押す

選んだリジュームモードが設定されます。

- **初期設定画面を消すには**
  設定ボタンを押します。

お知らせ

- ディスクリジュームモードで再生位置を記憶したディスクは、初期設定の［リジューム］設定を［オン］または［オフ］に変更すると、それまでのリジューム再生ができなくなります。
- 通常のリジューム（リジューム設定が［オン］）のとき、ディスクをトレイから取り出すと、再生位置の記憶が消えます。
- ディスクによっては、ディスクリジュームが働かない場合があります。
- プログラム再生またはランダム再生のモードのときは、リジュームが働きません。
- PBC対応のビデオCDでは、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 記憶された位置によっては、記憶されている再生位置よりも手前、または後から再生されることがあります。
- 両面タイプのDVDビデオの場合、表面と裏面はそれぞれ別々に再生位置が記憶されます。両面タイプのDVDビデオをディスクリジューム再生をするときは、再生位置が記憶された面を下にしてディスクトレイに入れてください。
- 再生位置と一緒に、そのとき設定している音声言語、字幕言語、アングルも記憶されます。☞ 34 35 ページ
- DVDビデオのメニュー画面中やビデオCDのPBCメニュー画面が表示されているときは、再生位置が記憶できないことがあります。

通常のリジューム再生をする

■ 再生位置を記憶させるには

《リジューム設定が[オン]でディスク再生中に》

1 停止 ■ または DVD

中断したいところで、■ 停止またはDVD電源を押す

- 再生が中断し、押したときの再生位置が記憶されます。
  再生位置は、■**停止**または**DVD電源**を押すごとに新しく記憶されます。

- ■ **停止**を押して再生を中断したときは、本体の表示窓に「RESUME STOP」と表示されます。そのあと電源を切っても再生位置の記憶は消えません。
- ディスクを取り出すと、再生位置の記憶は消えます。

■ リジューム再生するには

《リジューム設定が[オン]で、前回再生を中断したディスクが入っているとき》

1 再生

► 再生を押す

本体の表示窓に「RESUME PLAY」と表示され、中断した位置から再生が始まります。

- 電源が「切(スタンバイ)」のときは、電源が自動で入ってから、中断した位置からの再生が始まります。

- **位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには**

  電源「入」のときは

  停止中に■**停止**を押してから► **再生**を押します。

  電源「切(スタンバイ)」のときは

  DVD電源を押して電源を入れてから► **再生**を押します。

ディスクリジューム再生をする

■ 再生位置を記憶させるには

《リジューム設定が[ディスクリジューム]でディスク再生中に》

1 停止 ■ または 開/閉 または DVD

中断したいところで、■ 停止、開/閉またはDVD電源を押す

- 再生が中断し、押したときの再生位置が記憶されます。
  再生位置は、■ **停止**、**開/閉**または**DVD電源**を押すごとに新しく記憶されます。
- ■ **停止**を押して再生を中断したときは、本体の表示窓に「RESUME STOP」と表示されます。そのあとディスクを取り出したり、電源を切っても再生位置の記憶は消えません。
- 最大30枚までのディスクの再生位置を記憶させることができます。30枚を超えて記憶させた場合、古い記憶から順に消えます。

■ ディスクリジューム再生するには

《リジューム設定が[ディスクリジューム]のとき》

1 再生

前回再生を中断したディスクを本機に入れ、►再生を押す

本体の表示窓に「RESUME PLAY」と表示され、中断した位置から再生が始まります。

- 電源が「切(スタンバイ)」のときは、電源が自動で入ってから、中断した位置からの再生が始まります。
- ► **再生**の代わりに**開/閉**を押してディスクトレイを閉めたときは、本体の表示窓に「RESUME STOP」と表示され、ディスクリジューム待機状態になります。

- **位置の記憶を取り消し、ディスクの最初から再生するには**

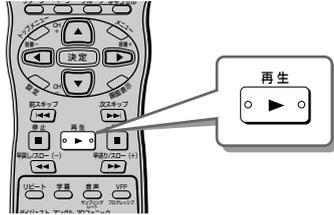
  ディスクを入れ、停止中に■ **停止**を押してから► **再生**を押します。

便利な機能

ここでは、本機の操作時に役に立つ便利な機能を説明します。ちょっと見バック、表示窓と照明の明るさの変更および時間表示や再生の情報の表示があります。

ちょっと見バック

DVDビデオ で使える機能です

DVDビデオ再生中に ► **再生**を押すと、再生中のシーンの10秒前のシーンに戻り、再生します。この機能を「**ちょっと見バック**」といいます。

《再生中に》

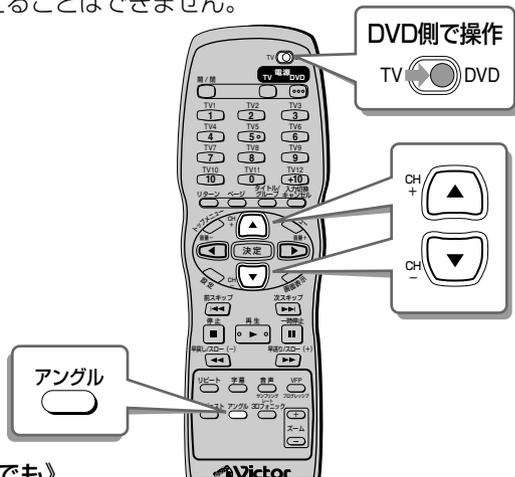
1 ► 再生を押す

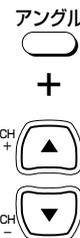
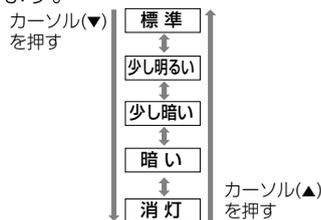
再生中のシーンの10秒前に戻って再生を開始します。

- タイトルの最初の10秒以内のシーンで ► **再生**を押すと、タイトルの冒頭から再生します。
- チャプター間でこの機能を使うことはできますが、タイトル間で使うことはできません。
- DVDビデオによってはこの機能を使えない場合があります。

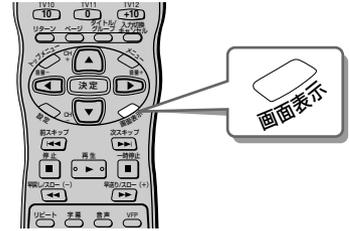
表示窓と照明の明るさを変える

お部屋の明るさに応じて表示窓と、本体のブルー照明の明るさを変えることができます。

- 表示窓と照明の明るさは連動しています。別々に明るさを変えることはできません。

《いつでも》

1 アングルを押したままカーソル(▲/▼)を押す

カーソル(▲/▼)を押すごとに、次のように変わります。

時間表示や再生についての情報を見る

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

現在再生中のディスクについての情報を表示することができます。情報が表示されるバーをステータスバーといいます。

《再生中に》

1 画面表示を押す

テレビ画面にディスクのステータスバーが表示されます。

DVDビデオのとき

時間　再生状態
現在のチャプター番号
転送レート　現在のタイトル番号

DVDオーディオのとき

時間　再生状態
現在のトラック番号
転送レート　現在のグループ番号

オーディオCDまたはビデオCDのとき
(イラストはオーディオCD)

時間　再生状態
現在のトラック番号

ステータスバーの右端に、本機の現在の再生状態がアイコンで表示されます。

- ▶ ：再生中に表示されます。
- ■ ：停止中に表示されます。
- ❚❚ ：一時停止中に表示されます。
- ◀◀ ▶▶ ：早送り／早戻し再生中に表示されます。
- ◀❚ ❚▶ ：スロー再生中に表示されます。

ステータスバー表示中に**画面表示**を1回押すと、ステータスバーの下にメニューバーが表示されます。メニューバーからさまざまな操作をすることができます。☞ 41 ページ

- **ステータスバーを消すには**
  ステータスバーが消えるまで**画面表示**を押します。

再生するところを選ぶ

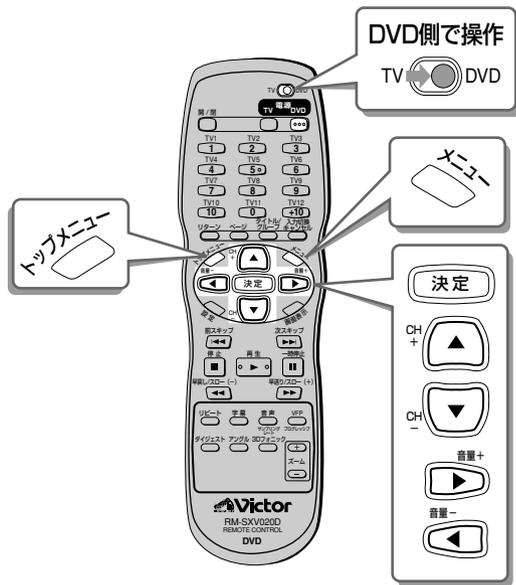
タイトル、チャプター、またはグループ、トラックなどを選んだり、時間で指定した再生位置から再生することができます。

DVDビデオ/DVDオーディオのメニューから選ぶ

DVDビデオ DVDオーディオ で使える機能です

DVDディスクには、一般にメニュー画面が収録されています。メニュー画面では、映画のタイトルや曲目、アーティスト情報などが表示されます。このメニュー画面から見たい内容を選ぶことができます。

メニューボタンとトップメニューボタンの使い分け

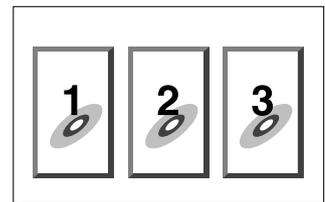
- 複数のタイトルが収録されているディスクは、タイトル名のリストなど、目次のような役割を持ったメニュー画面が収録されていることがあります。このような場合は、**トップメニュー**を押します。
  複数のタイトルが収録されていないディスクでも何らかのメニュー画面が収録されていることがあります。このような場合は、**メニュー**を押します。収録されているメニュー画面が表示されます。
  各ディスクのメニュー構成については、ディスクの説明書をご覧ください。
- メニュー画面によっては、数字ボタンを押すだけで見たい映像や項目を選ぶことができます。

《ディスクが入っているときにいつでも》

1 メニュー または トップメニュー

メニューまたはトップメニューを押す

メニュー画面が表示されます。

- 停止中は、**メニュー**が働きません。

例：

- ⃠ が表示されたら…
  ディスクにタイトルやグループ一覧のリストを表示するようなメニュー画面またはメニュー画面自体が収録されていません。

2

音量+ 音量− ⬇ 決定

カーソル(▲/▼/◀/▶)を使って見たい映像や項目を選び、決定を押す

選択したところから再生されます。

再生するところを選ぶ(つづき)

ビデオCDのメニューから選ぶ

ビデオCDで使える機能です

PBC(プレイバックコントロール用語集 ☞73ページ)で 収録されたビデオCDを再生すると、収録された内容の一覧がメニューとしてテレビ画面に表示されます。このメニュー画面から、見たい内容を選ぶことができます。

PBC 機能を使わずに再生するには

停止中に見たいトラック番号を数字ボタンを使って指定します。選んだトラックから通常の順番で再生します。(☞21ページ)

PBC 機能を使わずに再生中、PBC を働かせたいときは

以下の２通りの方法があります。

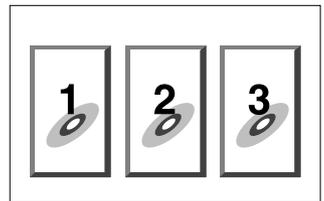
- 再生中に**トップメニュー**を押す。
- 再生中に■**停止**を2回押してから、►**再生**を押す。

《PBC対応のビデオCDが停止中に》

1 トップメニューまたは ► 再生を押す

トップメニュー
または
再生

PBC のメニュー画面が表示され、本体の表示窓に「PBC」が表示されます。

例：

2 数字ボタンを使って見たい映像や項目の番号を選ぶ

選んだ内容が再生されます。

数字ボタンの使いかた

- **1〜10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを押してから、1〜10のボタンを押す

例: 13番を選ぶには [+10] ➡ [3]
24番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [4]
30番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [10]
または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]
と押す

- **メニュー画面に戻したいときは**
  リターンを押します。
- **ディスプレイに[次]または[前]が表示されたときは**
  - ►►Iを押すと、メニューの次のページへ進みます。
  - I◄◄を押すと、メニューの前のページへ戻ります。
  ※ 操作方法はディスクにより異なります。

数字ボタンでDVDビデオのタイトルまたはDVDオーディオのグループを選ぶ

DVDビデオ DVDオーディオ で使える機能です

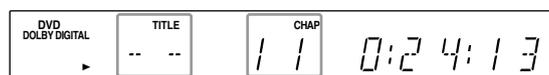
複数のタイトルを収録したDVDビデオの場合、数字ボタンを使ってタイトルを選ぶことができます。
複数のグループを収録したDVDオーディオの場合、数字ボタンを使ってグループを選ぶことができます。
• ディスクによっては、この機能を受け付けない場合があります。

《ディスクが入っているときにいつでも》

1 タイトル/グループ

タイトル/グループを押す

本体の表示窓に「－－」が表示されます。

DVD ビデオのとき

現在のチャプター番号

タイトル番号表示エリア

DVD オーディオのとき

現在のトラック番号

グループ番号表示エリア

2

数字ボタンを使って見たいタイトルの番号を選ぶ

選んだタイトルまたはグループが再生されます。
本体の表示窓に「－－」が表示されてる間に指定します。「－－」表示が消えたときは、もう一度**タイトル/グループ**を押して操作をやり直してください。

数字ボタンの使いかた

• **1～10を選ぶには**
その番号の数字ボタンを直接押す
• **11以上を選ぶには**
+10ボタンを押してから、1～10のボタンを押す

例：13番を選ぶには [+10] ➡ [3]
24番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [4]
30番を選ぶには [+10] ➡ [+10] ➡ [10]
または [+10] ➡ [+10] ➡ [+10] ➡ [0]
と押す

いろいろな再生のしかた

再生するところを選ぶ(つづき)

指定した時間から再生する [タイムサーチ]

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

タイムサーチ機能を使うと、現在のタイトル(DVDビデオ)やグループ(DVDオーディオ)、およびディスクの頭(オーディオCD/ビデオCD)からの経過時間を指定して、希望の位置から再生を始めることができます。

- DVDビデオの中には時間情報が記録されていないものもあります。このようなディスクにはこの機能は使えません。
- PBC再生中のビデオCDではタイムサーチ機能が働きません。
- プログラム再生中(☞ 30 ページ)は、タイムサーチ機能が働きません。

《DVDビデオ ： 再生中に》
《DVDオーディオ ： いつでも》
《オーディオCD ： いつでも》
《ビデオCD ： 停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 画面表示を2回押す

メニューバーが表示されます。
(メニューバー☞ 41 ページ)

2 カーソル(◄/►)を使って ⇖ を ⊙➡ に合わせ、決定を押す

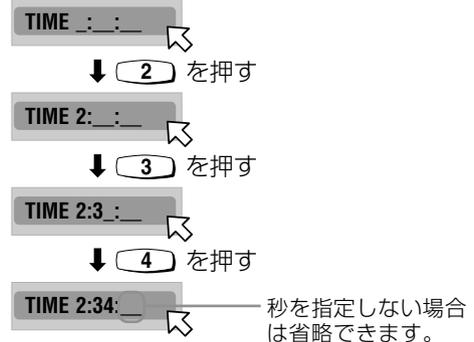
時間を入力するプルダウンメニューが表示されます。

DVDビデオのとき

オーディオCDのとき

3 数字ボタン(1～10)を使って時間を入力する

指定した時間がプルダウンメニューに表示されます。
DVDビデオやDVDオーディオでは「時･分･秒」で、オーディオCDやビデオCDでは「分･秒」で指定します。

例：DVD ビデオを 2 時間 34 分から再生するとき

※ この機能で +10 は使いません。また 10 はこの操作に限って 0 と同じ働きをします。

- ⃠ が表示されときは･･･
入力した時間がディスクの収録時間の範囲にないのでタイムサーチは機能しない、またはDVDビデオによっては、この機能を受けつけない場合があります。
- **時間を間違えたとき**
間違えた数字が消えるまで**カーソル**（◄）を押し、数字ボタンで正しい時間を入力し直してください。

4 決定 決定を押す

指定した時間から再生が始まります。

・**メニューバーを消すには**
画面表示を押します。

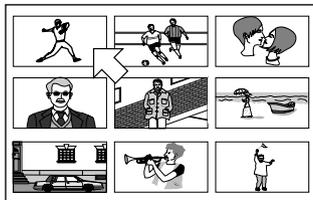
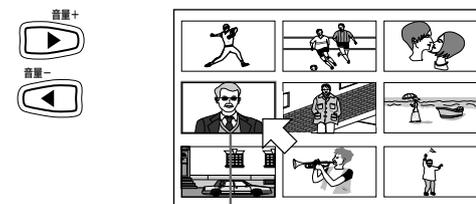
ダイジェスト画面から選ぶ [ダイジェスト]

DVDビデオ CD で使える機能です

ＤＶＤビデオの各タイトル/チャプター、あるいはビデオＣＤの各トラックの最初の場面を一覧表示して、その中から見たい場面を選ぶことができます。

《DVDビデオ　：停止中、または再生中に》
《ビデオCD　：停止中、またはPBCオフで再生中に》

1 ダイジェストを押す

DVDビデオ停止中	：	各タイトルの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。
DVDビデオ再生中	：	現タイトル内の各チャプターの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。
ビデオCD停止中、または再生中	：	各トラックの最初の場面が最大9つまで一覧表示されます。

2 カーソル（▲/▼/◀/▶）を使って↖ を見たい場面に合わせる

選んでいる場面

収録されているタイトル、チャプター、あるいはトラックが9つ以上あるとき、ダイジェスト画面が2ページ以上になります。この場合、▶▶Iを押すと次ページが表示されます。
前のページに戻りたいときはI◀◀を押します。

- ダイジェスト画面右下に表示された場面を選んでいるとき、**カーソル**（▶）を押すと次のページが表示されます。
- ダイジェスト画面左上に表示された場面を選んでいるとき、**カーソル**（◀）を押すと前のページが表示されます。

3 決定を押す

選んだ場面から再生が始まります。

- ディスクによってはダイジェスト画面が表示されるのに時間がかかることがあります。

順番を変えて再生する

DVD オーディオ、オーディオ CD、ビデオ CD の再生順を自由に決めたり、ランダム（無作為）な順番で再生することができます。

順番を決めて再生する [プログラム再生]

ディスクに収録されているトラックを最大99トラックまでお好みの順番に再生することができます。
同じトラックを2回以上再生することもできます。

DVDオーディオ　オーディオCD　ビデオCD　で使える機能です

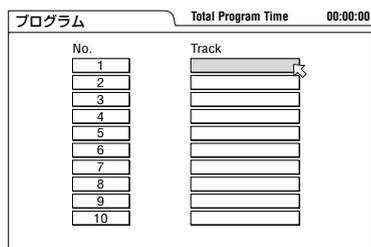
《停止中に》

1 画面表示を2回押す

メニューバーが表示されます。
（メニューバー☞ 41 ページ）

2 カーソル（◀/▶）を使って ↖ を PROG. に合わせ、決定を押す

プログラム設定画面が表示され、本体の表示窓の「PRGM」が点灯します。

例：ビデオ CD のとき

3 オーディオCD/ビデオCDの場合:
数字ボタンを使って再生したい順にトラック番号を選ぶ

DVDオーディオの場合:
数字ボタンを使って再生したい順にグループ番号とトラック番号を選ぶ

最初にグループ番号（1 ～ 9）を選び、そのあとトラック番号を選びます。
例：「グループ2のトラック14」を選ぶには、
2➡**+10**➡**4** と押します。

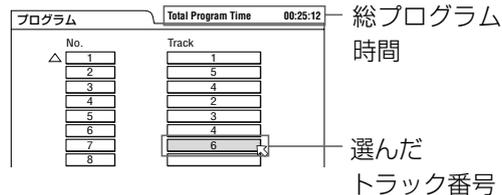
数字ボタンの使いかた

- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを押してから、1～10のボタンを押す

例：13番を選ぶには (+10) ➡ (3)
24番を選ぶには (+10) ➡ (+10) ➡ (4)
30番を選ぶには (+10) ➡ (+10) ➡ (10)
または (+10) ➡ (+10) ➡ (+10) ➡ (0) と押す

99 トラックまで選ぶことができます。同じトラックをもう一度選ぶこともできます。

プログラム設定画面の右上に総プログラム時間が表示されます。

選択例：ビデオ CD のとき

- **トラック番号を間違えたときは**
  カーソル（▲/▼）を使って ↖ を間違えたトラック番号に合わせ、入力切換 / **キャンセル**を押すと、選んだトラック番号が消えます。
- **プログラム中にプログラム内容をすべて消去するには**
  ■ **停止**を押します。

4 ►再生を押す

プログラムした順番で再生が始まります。
プログラムされたトラックの再生が終わると停止しますが、プログラムの内容は残ります。

DVD オーディオ / ビデオ CD のとき
プログラム再生が始まると、プログラム設定画面が消えます。プログラム再生が終わると、プログラム設定画面が再表示されます。

オーディオ CD のとき
プログラム再生を開始してもプログラム設定画面は残ります。
画面表示を押すとステータスバーが表示されますが、プログラム再生が終わると、プログラム設定画面が再表示されます。

プログラム再生中の頭出し

プログラム再生中に►►I を押すと、次にプログラムされているトラックにスキップし、I◄◄ を押すと再生中のトラックの頭に戻ります。

プログラム再生を中止するには

■**停止**を押します。プログラムの内容は残ります。

再生中にプログラムの内容を確認したいとき

DVDオーディオ/オーディオCDのとき
プログラム再生中にプログラム設定画面が消えているときは、手順1〜2を行ってプログラム設定画面を表示させ、プログラムの内容を確認することができます。

ビデオCDのとき
再生中にプログラム設定画面を表示させることはできません。
■**停止**を押してプログラム再生を停止してから、プログラム設定画面を表示させてプログラムの内容を確認することができます。

プログラムの内容をすべて消去するには

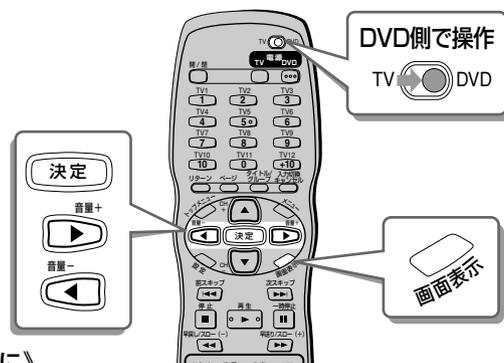
再生を停止し、プログラム設定画面が表示された状態で■**停止**を押します。

プログラム再生のモードを解除するには

プログラムの内容を全て消去してから**画面表示**を押します。プログラム設定画面が消え、ステータスバーが表示され、本体の表示窓の「PRGM」が消えてプログラム再生のモードが解除されます。
次の操作をしてもプログラム再生のモードが解除されます。
• ディスクトレイを開ける。
• 電源を切る

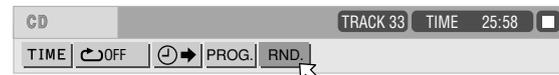
無作為な順番で再生する [ランダム再生]

DVD オーディオ　オーディオ CD　ビデオ CD　で使える機能です

ランダム再生では、本機がトラックの順番をランダム(無作為)に再生します。

《停止中に》

1 画面表示を2回押す
メニューバーが表示されます。
(メニューバー☞ 41 ページ)

2 カーソル(◄/►)を使って
を RND. に 合わせる

例:オーディオ CD のとき

3 決定を押す
ランダムな順番で再生が始まります。
DVDオーディオやビデオCDのときは、ランダム再生を開始すると、メニューバーが消えます。
ランダム再生のモード中は、本体の表示窓の「RNDM」が点灯します。
• すべてのトラックの再生が終わると停止し、ランダム再生のモードが解除されます。
• 一度再生したトラックは、再び再生されません。

• **メニューバーを消すには**
画面表示を押します。

ランダム再生を途中でやめるには

■**停止**を押します。再生が停止し、表示窓の「RNDM」が消えてランダム再生のモードが解除されます。

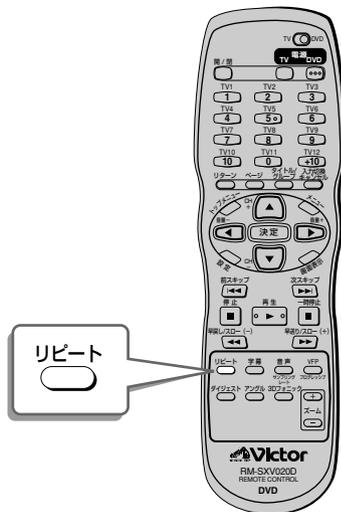
ランダム再生中にランダム再生のモードを解除するには

ランダム再生中に手順1〜3を行うと、ランダム再生が解除され、現在再生しているトラックから通常の順番で再生されます。
次の操作をしてもランダム再生のモードが解除されます。
• ディスクトレイを開ける。
• 電源を切る。

くり返し再生する

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

再生中のチャプターやタイトル(DVDビデオ)、再生中のグループやトラック（DVDオーディオ)、再生中のトラックや全トラック（オーディオCD/ビデオCD）をくり返して再生することができる［リピート］と、ある一部分をくり返し再生ことができる［A-Bリピート］があります。

タイトル/チャプター/グループ/トラック/全トラックをくり返す[リピート]

お知らせ

- **DVDビデオの再生中に⊘が表示されたときは**
  DVDビデオの内容によってはこの機能を受け付けないことがあります。
- ビデオCDのPBC再生中はリピート機能が働きません。
- メニューバーからリピート再生モードを選択することもできます。☞ 42 ～44 ページ

《DVDビデオ　:再生中に》
《DVDオーディオ　:再生中に》
《オーディオCD　:いつでも》
《ビデオCD　:停止中、またはPBCオフで再生中に》

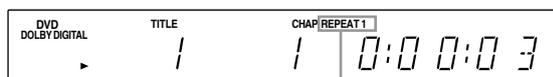
1 リピートを押す

テレビ画面にリピートモード選択表示画面が表示され、本体の表示窓にリピートモードが表示されます。

リピートモード選択表示

CHAP.

選んだリピートモード

本体の表示窓のリピートモード表示

リピートモード表示

2 さらにリピートを押してリピートモードを選ぶ

リピートを押すごとにリピートモード表示が変わります。
（　）内は本体の表示窓の表示です。

DVDビデオのとき

OFF（消灯）	：くり返し再生しません。
CHAP.(REPEAT1）	：現在のチャプターをくり返します。
TITLE（REPEAT）	：現在のタイトルをくり返します。

DVDオーディオのとき

OFF（消灯）	：くり返し再生しません。
TRACK（REPEAT1）	：現在のトラックをくり返します。
GROUP（REPEAT）	：現在のグループをくり返します。

オーディオCD/ビデオCDのとき

OFF（消灯）	：くり返し再生しません。
TRACK（REPEAT1）	：現在のトラックをくり返します。
ALL（REPEAT）	：ディスク全体をくり返します。

再生中は、選んだリピートモードの再生になります。
停止中は、▶**再生**を押すと、選んだリピートモードで再生が始まります。

- タイトル/グループ/チャプター/トラックをリピート再生中に I◀◀ または ▶▶I などで移動すると、移動先のタイトル/グループ/チャプター/トラックがくり返し再生されます。
- DVDオーディオ、オーディオCD、ビデオCDのプログラム再生のとき（☞ 30 ページ）、本体の表示窓に「REPEAT」を表示させると、プログラムした全トラックがくり返し再生されます。

リピート再生をやめるには

■**停止**を押します。
DVDビデオやDVDオーディオのとき
再生を停止し、リピートモードの設定が解除されます。
オーディオCDやビデオCDとき
再生を停止しますが、リピートモードの設定は解除されません。

リピートモードの設定を解除するには

リピートを押してリピートモード選択表示画面の「OFF」を選びます。本体の表示窓のリピートモード表示も消えてリピートモードが解除されます。

指定した範囲をくり返し再生する [A-Bリピート]

お知らせ

- ⃠ が表示されたときは･･･
  そのディスクでは A-B リピート機能が使えません。
- タイトル、またはトラックをまたがる A-B リピートはできません。
- プログラム再生中やランダム再生中、またはリピート再生中は、A-B リピートができません。

《再生中に》

1 **画面表示を2回押す**

メニューバーが表示されます。
（メニューバー☞ 41 ページ）

2 **カーソル(◀/▶)を使って ↖を ⮌ OFF に合わせ、決定を押す**

リピートモードを選ぶプルダウンメニューが表示されます。

例：DVD ビデオのとき

リピートモードを選ぶプルダウンメニュー

3 **カーソル(▲/▼)ボタンを使って A-Bリピートモードを選ぶ**

A-B リピートモード表示

カーソル（▲/▼）を押すごとに、次のようにリピートモードが変わります。

DVDビデオのとき

- オフ（消灯）：くり返し再生しません。
- チャプター（REPEAT1）：現在のチャプターをくり返します。
- タイトル（REPEAT）：現在のタイトルをくり返します。
- A-B（REPEAT A-）：指定した範囲をくり返します。

DVDオーディオのとき

- オフ（消灯）：くり返し再生しません。
- トラック（REPEAT1）：現在のトラックをくり返します。
- グループ（REPEAT）：現在のグループをくり返します。
- A-B（REPEAT A-）：指定した範囲をくり返します。

オーディオCD/ビデオCDのとき

- オフ（消灯）：くり返し再生しません。
- トラック（REPEAT1）：現在のトラックをくり返します。
- ALL（REPEAT）：ディスク全体をくり返します。
- A-B（REPEAT A-）：指定した範囲をくり返します。

4 決定 **くり返したい部分の頭で、決定を押す（Aポイント）**

プルダウンメニューが消え、メニューバーのリピートアイコンが ⮌ A- と表示されます。

本体表示窓のリピートモード表示（☞ 32 ページ）が「A－」と点灯します。

5 決定 **くり返したい部分の終わりで 、決定を押す（Bポイント）**

メニューバーのリピートアイコン が ⮌ A-B と表示され、AポイントBポイント間のリピート再生を開始します。
A-Bリピート再生中は、本体表示窓のリピートモード表示（☞ 32 ページ）が「A-B」と点灯します。

・**メニューバーを消すには**
画面表示を押します。

A-B リピートの設定を解除するには

- ■**停止**を押します。再生を停止し、設定が解除されます。
- **カーソル**（◀/▶）を使って画面上の ⮌ A-B に ↖ を合わせ、**決定**を押すと、プルダウンメニューが表れ、「**オフ**」と表示されます。このときもう一度**決定**を押します。リピートアイコンが ⮌ OFF になり、プルダウンメニューが消えて、設定が解除され通常の再生を続けます。
- I◀◀ または ▶▶I を押しても、A-Bリピートの設定が解除されます。

字幕/音声やカメラアングルを切り換える

DVDビデオの中には複数の字幕言語や音声言語/サウンドや複数のカメラを使って異なる角度から撮影した映像(マルチアングル)が複数収録されているものがあります。それらの中から希望する言語/サウンド/アングルを選ぶことができます。ビデオCDの場合オーディオチャンネルを切り換えて、カラオケの歌あり/なしなどを選ぶことができます。

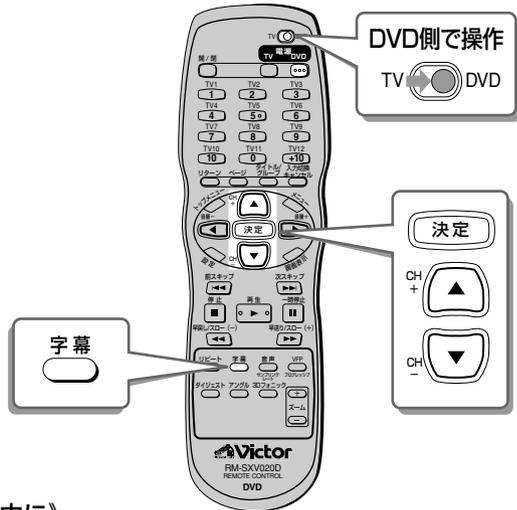
字幕を切り換える[字幕言語]

DVDビデオ で使える機能です

複数の字幕が収録されている箇所の冒頭で、画面に … が表示されます(オンスクリーンガイドがオンのとき ☞ 59 ページ)。このとき字幕を選んで再生することができます。

- メニューバーで字幕を切り換えることもできます。 ☞ 42 ページ

《再生中に》

1 字幕

字幕を押す

テレビ画面に字幕選択表示が表れます。

- ⊘ が表示されたときは･･･
  DVDビデオに字幕が収録されていないか、その操作が禁止されています。

2 CH+ ▲ / CH− ▼ または 字幕

カーソル(▲/▼)または字幕を押して表示したい字幕を選ぶ

押すごとに字幕の言語が次のように変わります。

例: –/2 (字幕なし) ↕ 1/2 日本語 ↕ 2/2 英語

3 決定

決定を押す

選んだ字幕がテレビ画面に表示されます。

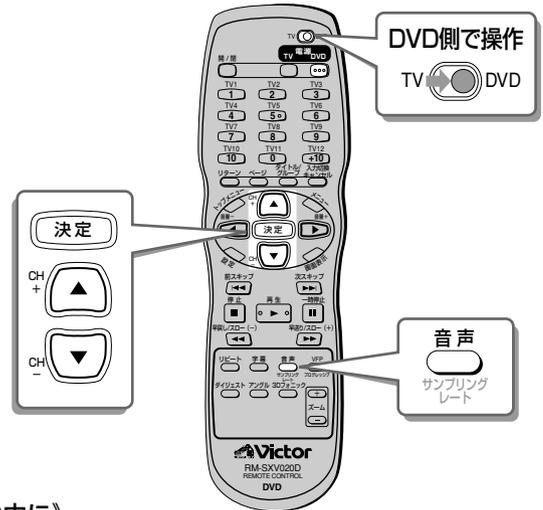
- DVDビデオ再生中、メニューバーのプルダウンメニューに表示される字幕言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。 ☞ 54 ページ

- **字幕選択表示を消すには**
  決定を押します。または数秒間何も操作しないと、自動的に消えます。

音声を選ぶ[音声言語/音声]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD で使える機能です

複数の音声が収録されている箇所の冒頭で、画面に ◯◯ が表示されます(オンスクリーンガイドがオンのとき ☞ 59 ページ)。このとき音声を選んで再生することができます。

- メニューバーで音声を切り換えることもできます。 ☞ 42 ページ

《再生中に》

1 音声 サンプリングレート

音声/サンプリングレートを「ポン」と押す

テレビ画面に音声選択表示が表れます。

- ⊘ が表示されたときは･･･
  ディスクに複数の音声言語が収録されていないか、その操作が禁止されています。

2 CH+ ▲ / CH− ▼ または 音声 サンプリングレート

カーソル(▲/▼)または音声を押して音声を切り換える

押すごとに音声が切り換わります。

3 決定

決定を押す

選んだ音声で再生されます。

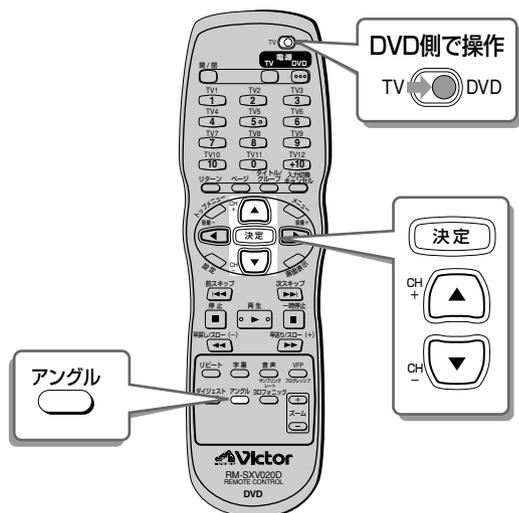
- DVDビデオ再生中、メニューバーのプルダウンメニューに表示される音声言語は、英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語です。それ以外は言語コードで表示されます。 ☞ 54 ページ

- **音声選択表示を消すには**
  決定を押します。または数秒間何も操作しないと、自動的に消えます。

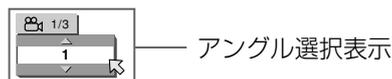
カメラアングルを切り換える[アングル]

DVDビデオ で使える機能です

マルチアングル収録された個所の冒頭で、テレビ画面に が表示されます（オンスクリーンガイドがオンのとき ☞ 59 ページ）。このときアングルを選んで再生することができます。

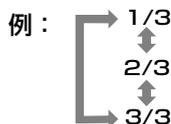
■ アングル選択ウィンドウからアングルを選ぶ

《再生中に》

1 アングル **アングルを押す**

テレビ画面にアングル選択表示が表れます。

- が表示されたときは･･･
  再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。

2 **カーソル(▲/▼)を使って見たいアングルを選ぶ**

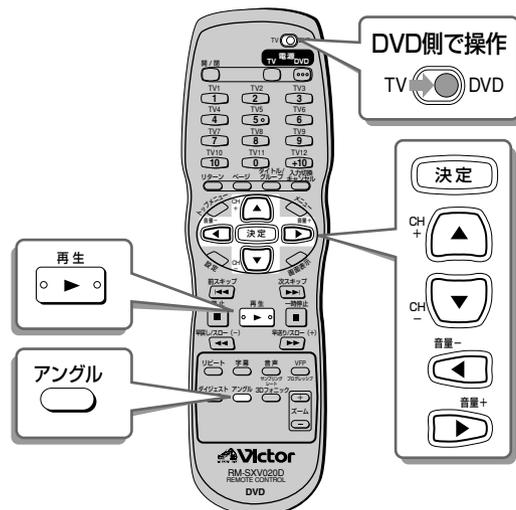
カーソル(▲/▼)を押すごとにアングルが次のように変わります。

例：

- アングルを選んでいるときの音声は消えますが、再生は続いています。

3 決定 **決定を押す**

アングル選択表示が消え、選んだアングルで再生されます。

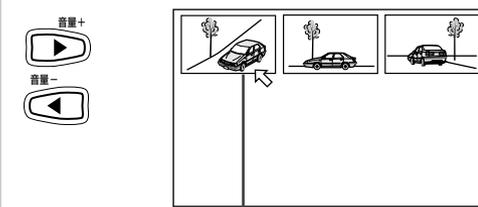
- 決定を押さないで、数秒間何も操作しないとアングル選択表示は消えます。

■ アングルリストからアングルを選ぶ

《再生中に》

1 アングル **アングルを1秒以上押し続ける**

画面上にアングル一覧（最大9アングル）が表示されます。

- が表示されたときは･･･
  再生しているところはマルチアングルで収録されていません。またディスクによっては、アングルの選択が禁止されています。

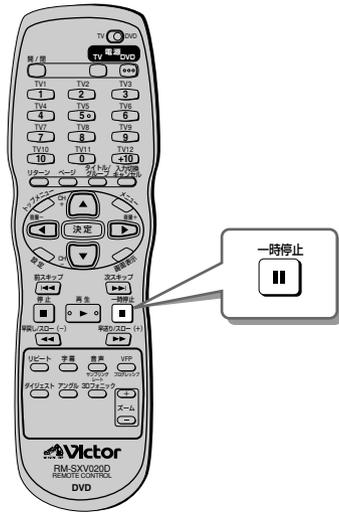
2 **カーソル（▲/▼/◀/▶）を使って、を見たいアングルに合わせる**

選んでいるアングル

3 決定 または 再生 **決定または▶再生を押す**

選んだアングルで再生されます。

画像や音声にアレンジを加える

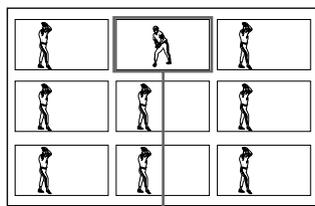
連続写真のように表示する[ストロボ]

DVDビデオ ビデオCD で使える機能です

《一時停止中に》

1 ⏸一時停止を1秒以上押し続ける

同じ静止画像が9つ表示されます。
手順2の操作で一つずつ先のフレームに送ることができます。

2 ⏸一時停止を「ポン」と押す

1番上の中央のフレームが先に進みます。くり返し**⏸一時停止**を押すと、その他のフレームも順番に進みます。

一つ先のフレーム

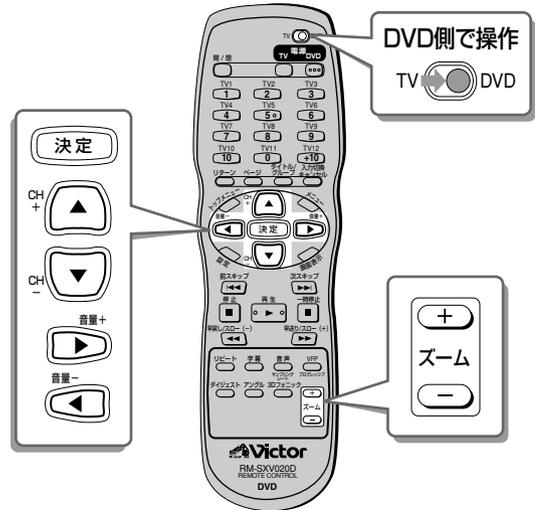
ストロボを解除するには

⏸一時停止を1秒以上押し続けます。

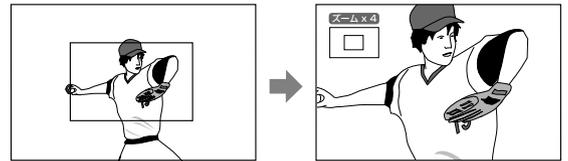
お知らせ

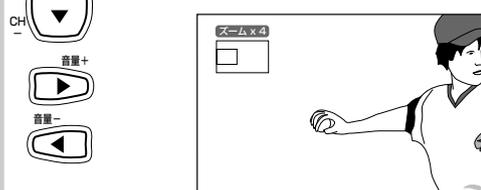
- ストロボ画面を表示中に ▶ **再生**を押すと、連続してストロボ画面を送ります（音声は消えます）。
- 通常再生中に **⏸一時停止**を1秒以上押し続けると、連続した9つの画面となって再生を続けます（音声は消えます）。

画面を拡大/縮小する[ズーム]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD で使える機能です

《再生中、または一時停止中に》

1 ズーム(+、−)を押す

ズーム(+)を押すと画面の中央部が2倍ずつ拡大され、最大1024倍になります。
ズーム(−)を押すと画面が1/2ずつ縮小され、最小1/8になります。

画面の左上に現在の倍率とズームインしている画面上の位置が表示されます。
ズーム倍率が2倍以上のとき、手順2の操作をしてズームしている位置を動かすことができます。
- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

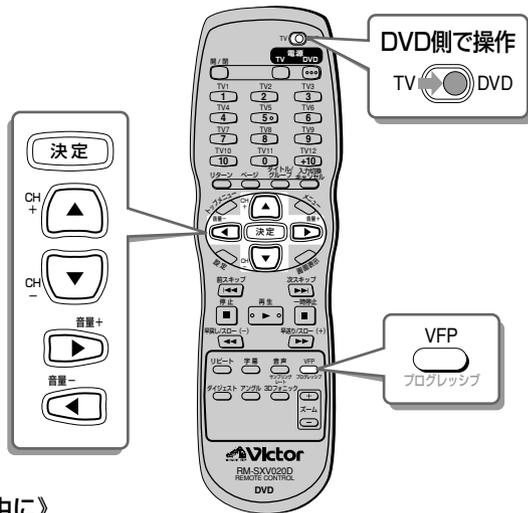
2 カーソル(▲/▼/◀/▶)を使って拡大したい部分を選ぶ

- 倍率とズームインしている画面上の位置表示は、5秒後に消えますが、**カーソル**または**ズーム**（+、−）を押すと表示されます。

ズームを解除するには

決定を押します。

画質を調節する[VFP]

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD で使える機能です

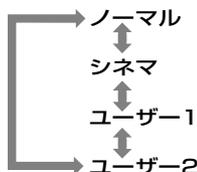
VFP(Video Fine Processor)機能(用語集 ☞ 72 ページ)を使うことにより、映像を観賞する部屋の照明やお好みに合わせて画質を調節することができます。

《再生中に》

1 VFP/プログレッシブを「ポン」と押す

テレビ画面にVFP モード選択表示が表れます。

- VFP/ プログレッシブは数秒間押し続けると、スキャンモードの切り換えになります。☞ 17 ページ

2 カーソル(◀/▶)を使って VFPモードを選ぶ

カーソル(◀/▶)を押すごとに次のように VFP モードが変わります。

- ・**ノーマル**：ふつうの部屋で見るときに選びます。
- ・**シネマ**：照明を落とした部屋で映画ソフトを見るときに選びます。

VFPモードの「**ノーマル**」と「**シネマ**」の詳細設定を変更することはできませんが、「ユーザー1」と「ユーザー2」の詳細設定は手順**3**〜**6**の操作で変更することができます。

3 カーソル(▲/▼)を使って 設定を変えたい項目を選ぶ

設定できる項目

ガンマ：画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節します。黒が沈みがちなソフトの再生に有効です。
調節幅は+4〜−4です。

明るさ：画面の明るさを調節します。
調節幅は+16〜−16です。

コントラスト：画面のコントラストを調節します。
調節幅は+16〜−16です。

色のこさ：画面の色の濃さを調節します。
調節幅は+16〜−16です。

色合い：画面の色合いを調節します。肌色が自然な感じになるのが目安です。
調節幅は+16〜−16です。

シャープネス：画面のシャープさを調節します。
調節幅は+3〜0です。

Yディレイ：画面の色ズレを調節します。
調節幅は+2〜−2です。

4 決定を押す

VFPモード選択表示が消え、選択された項目の設定表示が表れます。

例：

5 カーソル(▲/▼)を使って 数値を変更する

カーソル(▲)を押すと数値が大きくなり設定レベルが上がります。
カーソル(▼)を押すと数値が小さくなり設定レベルが下がります。

6 決定を押す

設定表示が消え、VFPモード選択表示が表れます。

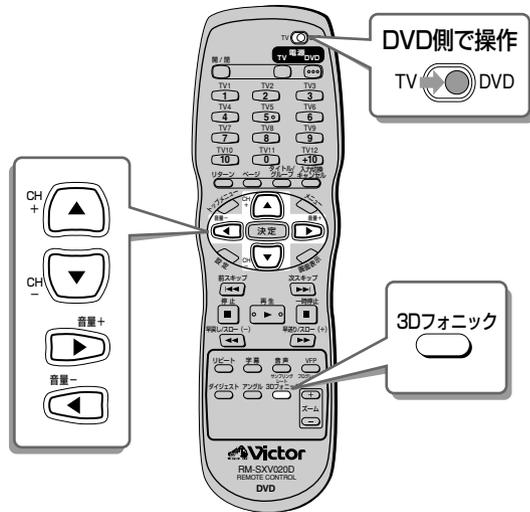
続けて他の項目を設定するときは、手順**3**〜**6**をくり返します。

- **VFP モード選択表示を消すには**
  VFP/ プログレッシブを押します。
  または10秒以上何も操作しないと、VFPモード選択表示が消えます。

画像や音声にアレンジを加える(つづき)

サラウンド感を出す [3Dフォニック]

DVDビデオで使える機能です

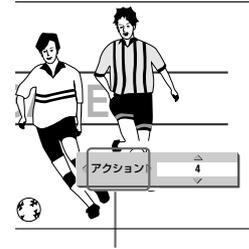
3Dフォニック(用語集 72 ページ)を使うと、2本のスピーカーだけでもサラウンドの効果を擬似的に演出することができます。

お知らせ

- 3Dフォニックの効果は、ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの音声に限り正しい効果が得られます。その他のソースでは**3Dフォニック**を押しても効果が得られません。
- ドルビーデジタルでリアの音声成分が収録されていないDVDビデオの場合、3Dフォニックの設定は変えられますが、正しい効果は得られません。
- デジタル音声出力端子から出力されるDVDビデオのドルビーデジタルビットストリーム信号には、3Dフォニックの効果はかかりません。
- 3Dフォニック機能を働かせると、初期設定の「音声設定画面」の[アナログOUT]および[Dレンジコントロール]の設定が無効になります。56 ページ

《再生中に》

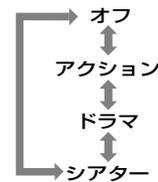
1 3Dフォニックを押す

3Dフォニック

テレビ画面に3Dフォニック表示が現れます。

3Dフォニック表示

2 カーソル(◀/▶)を使って設定を選ぶ

音量+
音量−

3Dフォニックボタンを押すごとに、設定が次のように変わります。

アクション：アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
ドラマ：包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
シアター：ハリウッドの一流映画の音響効果で楽しめます。

3 カーソル(▲/▼)を使って効果レベルを調節する

効果レベル

効果は1～5の範囲で選べます。
カーソル(▲)を押すと数値が大きくなり効果が強まります。
カーソル(▼)を押すと数値が小さくなり効果が弱まります。

- **3Dフォニック設定表示を消すには**
  3Dフォニックを押します。
  または10秒以上何も操作しないと、3Dフォニック表示は消えます。

その他の機能

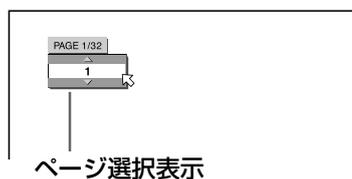
DVDオーディオの静止画像を選ぶ[ページ]

DVDオーディオ で使える機能です

多くのＤＶＤオーディオには静止画像が収録されています。静止画像にはオーディオ再生に合わせて自動的に表示されるものと手動で選べるものがあり、手動で選べる画像は"B.S.P."(Browsable Still Picture)と呼ばれています。
"B.S.P."を収録している箇所の冒頭で、テレビ画面に「ページ」またはそれに類する表現が表示されます（オンスクリーンガイドがオンのとき ☞ 59 ページ）。

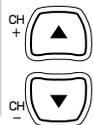
《再生中、テレビ画面に「ページ」(またはそれに類する表現)が表示されていて、ステータスバーが表示されていないとき》

1 ページを押す

テレビ画面にページ選択表示が現れます。

ページ選択表示

2 ページまたはカーソル(▲/▼)を使ってページを切り換える

ページ または

ボタンを押すごとにページが切り換わり、別の静止画像が表示されます。

3 決定を押す

テレビ画面のページ選択表示が消えます。

- ページ選択表示は、決定を押さずに約５秒経過したときも消えます。

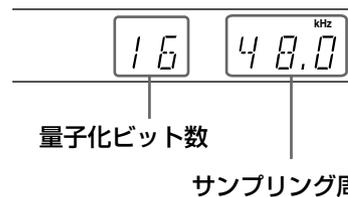
ディスクのサンプリング周波数を表示する

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

再生中に、ディスクに収録されているデジタル音声のサンプリング周波数を見ることができます。

《再生中に》

1 音声/サンプリングレートを1秒以上押し続ける

本体表示窓にフロントスピーカー（左・右）で再生中のデジタル音声の量子化ビット数とサンプリング周波数が一時的に表示されます。

お知らせ

- MP3ディスクを再生中に、上記と同様の操作をすると、MP3ディスクの量子化ビットとサンプリング周波数を一時的に表示させることができます。

DVDオーディオのボーナスグループを再生する

DVDオーディオで使える機能です

DVD オーディオによっては、内容を一般公開していないボーナスグループが収録されているものがあります。ボーナスグループは必ずディスクの最後のグループに割り当てられます（たとえば、ボーナスグループを含めて４グループが収録されているディスクのときは、第４グループがボーナスグループです。）このボーナスグループを再生するには、指定されたキーナンバー（暗証番号）の入力が必要になります。キーナンバー（暗証番号）を知る方法はディスクによって異なります。
キーナンバー（暗証番号）がわかったら、以下の手順でボーナスグループが再生できます。

お知らせ

- プログラム再生でボーナスグループ中のトラックを指定したときも、キーナンバー（暗証番号）入力表示が現れます。数字ボタンを使ってキーナンバー（暗証番号）を入力してください。
- ランダム再生では、ボーナスグループのトラックは再生されません。

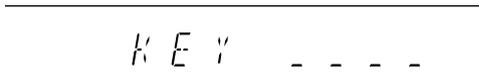
《ボーナスグループが収録されているDVDオーディオディスクが停止中》

1 **タイトル/グループを押してから数字ボタン(1～9、0)を使って、ボーナスグループ(ディスクの最後のグループ)を指定する**

キーナンバー（暗証番号）入力表示が、テレビ画面と本体表示窓に現れます。

テレビ画面

本体表示窓

KEY _ _ _ _

2 **数字ボタン(1～9、0)を使ってキーナンバー(暗証番号)4ケタを入力してから、決定を押す**

正しいキーナンバー（暗証番号）が入力され、**決定**を押すとボーナスグループの再生が始まります。

キーナンバー（暗証番号）入力表示を消すには

誤ってボーナスグループを指定したときなど、キーナンバー（暗証番号）入力表示を消したいときは、次のいずれかの操作をします。

- ■ **停止**を押す
- ディスクトレイを開ける
- 電源を「切」にする

キーナンバー（暗証番号）の記憶を消去するには

キーナンバー（暗証番号）の記憶を消去するには、次のいずれかの操作をします。

- ディスクトレイを開ける

メニューバーで操作する

メニューバーを使って行える操作について説明します。メニューバーはディスクの種類によって異なります。

メニューバーの操作に使うボタンと基本操作

DVDビデオ DVDオーディオ オーディオCD ビデオCD で使える機能です

■ 操作に使うボタン

お知らせ

- ⃠ が表示されたときは･･･
  ディスクの内容や構成により選んだ機能が使えないことがあります。
- アイコン上の文字やマークは、その機能が働いているときは青い表示になります。

■ メニューバーでの基本操作

《ディスクが入っているとき》

1 画面表示

画面表示を2回押す

テレビ画面のステイタスバーの下にメニューバーが表示されます。
メニューバーはディスクの種類により異なります。

DVD ビデオのとき

DVD オーディオのとき

オーディオ CD のとき

ビデオ CD のとき

メニューバーのアイコンを選んで操作を行います。

2 音量+ 音量−

カーソル(◀/▶)を使ってアイコンを選ぶ

選んだアイコンに ⇖ が移動し、アイコンの色が変わります。

3 決定

決定を押す

プルダウンメニューが表示されます。
表示されたプルダウンメニューの項目を選んで操作します。

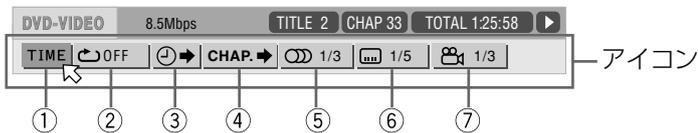
- 詳しくはそれぞれのアイコンの操作表(☞42～44ページ)で確認してください。

例：DVD ビデオのプルダウンメニュー表示のとき

- アイコンによっては、プルダウンメニューが表示されないものがあります。
- アイコンによっては、ディスクの再生中に操作できないものがあります。

- **メニューバー、ステータスバーを消すには**
  画面表示を押します。

メニューバーで操作する（つづき）

DVDビデオのメニューバーでの操作

DVD ビデオのメニューバーで行える操作の一覧です。メニューバーに表示されるアイコンと働き、およびその操作方法を説明します。

■ 時間表示選択(① TIME)

（再生中に選ぶことができます）
本体の表示窓およびステータスバーに表示させるディスクの時間情報のモードを選びます。

決定ボタンを押してで時間モード選ぶ
ボタンを押すごとに次のように変わります。

TOTAL ➡ T. REM ➡ TIME ➡ REM ➡ （TOTALへ戻り、くり返し）

TOTAL：再生中のタイトルの経過時間
T. REM：再生中のタイトルの残り時間
TIME ：再生中のチャプターの経過時間
REM ：再生中のチャプターの残り時間

- ディスクに収録されているタイトル/ チャプターが一つのときは、「TOTAL」と「TIME」に同じ時間が表示されます。

■ リピートモード(②)

リピートモードを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル（▲/▼）ボタンを使ってリピートモードを選ぶ**
   カーソル（▲/▼）ボタンを押すごとに、次のように変わります。

   オフ ⬌ チャプター ⬌ タイトル ⬌ A-B

   オフ（解除）：くり返しません。
   チャプター：現在のチャプターをくり返します。
   タイトル：現在のタイトルをくり返します。
   A-B*：指定した間をくり返します。
   * 「A-B」は再生中に選ぶことができます。
3. **決定ボタンを押す。**
   再生中は、選んだリピートモードでくり返し再生します。
   停止中は**決定ボタン**を押したあと ▶ **再生ボタン**を押すと、選んだリピートモードで再生が開始します。

- リピート再生中にリピートモードを「**オフ**」にすると、リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。
- 詳しくは 32 ページをご覧ください。
- A-B リピートについては 33 ページをご覧ください。

■ タイムサーチ(③)

現在のタイトル頭からの経過時間を指定して再生を始めます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **数字ボタンを使って時間を指定する**
   本体の表示窓に指定した時間が表示されます。
3. **決定ボタンを押す**
   指定した時間から再生が始まります。

- 詳しくは 28 ページをご覧ください。

■ チャプターサーチ(④ CHAP.➡)

再生するチャプターを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **数字ボタンを使って再生したいチャプター番号を選ぶ**
   - **数字ボタンの使用例：**
     12を入力するとき：1 ➡ 2 と押す
     - +10 ボタンは使えません。
   - **チャプター番号を間違ったら…**
     正しい番号を入力し直します。
3. **決定ボタンを押す**
   選んだチャプターから再生します。

- チャプターサーチについては、「数字ボタンを使って頭出しをする」（☞ 21 ページ）もご覧ください。

■ 音声言語(⑤)

（再生中に選ぶことができます）
音声言語 / 音声を選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル（▲/▼）ボタンを使って音声言語 / 音声を選ぶ**
   例：日本語 ⬌ 英語
3. **決定ボタンを押す**
   選択した音声で再生します。

- 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外の言語は言語コードで表示されます。
  （言語コード☞ 54 ページ）
- 音声言語については 34 ページもご覧ください。

■ 字幕言語(⑥)

（再生中に選ぶことができます）
字幕言語を選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル（▲/▼）ボタンを使って字幕言語を選ぶ**
   例：日本語 ⬌ 英語
3. **決定ボタンを押す**
   選択した字幕で再生します。

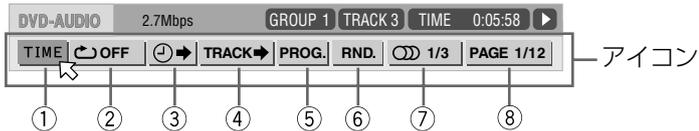
- 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外の言語は言語コードで表示されます。
  （言語コード☞ 54 ページ）
- 字幕言語については 34 ページもご覧ください。

■ アングル(⑦ 1/3)

（再生中に選ぶことができます）
アングルを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル（▲/▼）ボタンを使ってアングルを選ぶ**
   例：1/3 ⬌ 2/3 ⬌ 3/3
3. **決定ボタンを押す**
   選んだアングルで再生します。

- アングルについては 35 ページもご覧ください。

DVDオーディオのメニューバーでの操作

DVDオーディオのメニューバーで行える操作の一覧です。メニューバーに表示されるアイコンと働き、およびその操作方法を説明します。

■ 時間表示選択(① TIME)

(再生中に選ぶことができます)
本体の表示窓およびステータスバーに表示させるディスクの時間情報のモードを選びます。

決定ボタンを押してで時間モード選ぶ
ボタンを押すごとに次のように変わります。

TOTAL ➡ T. REM ➡ TIME ➡ REM ➡ (TOTALへ戻り、くり返し)

TOTAL : 再生中のグループの経過時間
T. REM : 再生中のグループの残り時間
TIME : 再生中のトラックの経過時間
REM : 再生中のトラックの残り時間

- ディスクに収録されているグループ/トラックが一つのときは、「TOTAL」と「TIME」に同じ時間が表示されます。

■ リピートモード(②)

リピートモードを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル(▲/▼)ボタンを使ってリピートモードを選ぶ**
   カーソル(▲/▼)ボタンを押すごとに、次のように変わります。

   オフ ⟷ トラック ⟷ グループ ⟷ A-B

   オフ(解除) : くり返しません。
   トラック : 現在のトラックをくり返します。
   グループ : 現在のグループをくり返します。
   A-B* : 指定した間をくり返します。
   * 「A-B」は再生中に選ぶことができます。
3. **決定ボタンを押す。**
   再生中は、選んだリピートモードでくり返し再生します。
   停止中は**決定ボタン**を押したあと ▶ **再生ボタン**を押すと、選んだリピートモードで再生が開始します。

- リピート再生中にリピートモードを「**オフ**」にすると、リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。
- 詳しくは32ページをご覧ください。
- A-Bリピートについては33ページをご覧ください。

■ タイムサーチ(③ ➡)

現在のタイトル頭からの経過時間を指定して再生を始めます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **数字ボタンを使って時間を指定する**
   本体の表示窓に指定した時間が表示されます。
3. **決定ボタンを押す**
   指定した時間から再生が始まります。

- 詳しくは28ページをご覧ください。

■ トラックサーチ(④ CHAP.➡)

再生するトラックを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **数字ボタンを使って再生したいトラック番号を選ぶ**
   - **数字ボタンの使用例:**
     12を入力するとき: 1 ➡ 2 と押す
     - +10 ボタンは使えません。
   - **トラック番号を間違ったら・・・**
     正しい番号を入力し直します。
3. **決定ボタンを押す**
   選んだトラックから再生します。

- トラックサーチについては、「数字ボタンを使って頭出しをする」(☞21ページ)もご覧ください。

■ プログラム(⑤ PROG.)

(停止中に選ぶことができます)
トラックの再生順序を決めます。

1. **決定ボタンを押し、プログラム画面を表示させる**
   本体の表示窓に「PRGM」が表示されます。
2. **数字ボタンを使って再生したい順序で、グループ番号 ➡ トラック番号を選ぶ**
3. **▶ 再生ボタンを押す**
   プログラム再生が開始します。

- 詳しくは30ページをご覧ください。

■ ランダム(⑥ RND.)

(停止中に選ぶことができます)
ランダム(無作為な順序)に再生します。

決定ボタンを押す
本体の表示窓に「RNDM」が表示され、ランダム再生が開始します。

- 詳しくは31ページをご覧ください。

■ 音声言語(⑦)

(再生中に選ぶことができます)
音声言語/音声を選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル(▲/▼)ボタンを使って音声言語/音声を選ぶ**
   例:日本語 ⟷ 英語
3. **決定ボタンを押す**
   選択した音声で再生します。

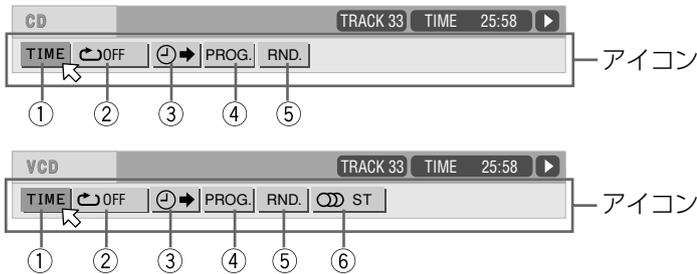
- 英語、スペイン語、フランス語、中国語、ドイツ語、イタリア語、日本語以外の言語は言語コードで表示されます。
  (言語コード☞54ページ)
- 音声言語については34ページもご覧ください。

■ ページ(⑧ PAGE)

(再生中に選ぶことができます)
字幕言語を選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル(▲/▼)ボタンを使ってページを選ぶ**
3. **決定ボタンを押す**
   選択した静止画像が再生されます。

メニューバーで操作する（つづき）

オーディオCD/ビデオCDのメニューバーでの操作

オーディオ CD、またはビデオ CD のメニューバーで行える操作の一覧です。
メニューバーに表示されるアイコンと働き、およびその操作方法を説明します。

■ 時間表示選択（① TIME）

本体の表示窓およびステータスバーに表示するディスクの時間情報のモードを選びます。

決定ボタンを押してで時間モード選ぶ
ボタンを押すごとに次のように変わります。

TIME ➡ REM ➡ TOTAL ➡ T. REM ➡ （TIMEへ戻り、くり返し）

TIME ：再生中のトラックの経過時間
REM ：再生中のトラックの残り時間
TOTAL：ディスクの頭からの経過時間
T. REM：ディスクの残り時間

- 停止中に「REM」を選んでから、I◀◀ または ▶▶I ボタンでトラックを選ぶと、選んだトラックの収録時間が表示されます。停止中に「T. REM」を選ぶと、ディスクの収録時間が表示されます。

■ リピートモード（②）

リピートモードを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル（▲/▼）ボタンを使ってリピートモードを選ぶ**
   カーソル（▲/▼）ボタンを押すごとに、次のように変わります。

   オフ ⬌ トラック ⬌ ALL ⬌ A-B

   オフ（解除）：くり返しません。
   トラック ：現在のトラックをくり返します。
   ALL ：ディスクのすべてのトラックをくり返します。
   A-B* ：指定した間をくり返します。
   * 「A-B」は再生中に選ぶことができます。
3. **決定ボタンを押す**
   再生中は、選んだリピートモードでくり返し再生します。
   停止中は**決定ボタン**を押したあと ▶ **再生ボタン**を押すと、選んだリピートモードで再生が開始します。

- リピート再生中にリピートモードを「**オフ**」にすると、リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。
- 詳しくは 32 ページをご覧ください。
- A-Bリピートについては 33 ページをご覧ください。

■ タイムサーチ（③）

（再生中に選ぶことができます。ただしビデオ CD の PBC 再生中、プログラム再生中は選べません）
ディスクの頭からの経過時間を指定して再生を始めます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **数字ボタンを使って時間を指定する**
   本体の表示窓に指定した時間が表示されます。
3. **決定ボタンを押す**
   指定した時間から再生が始まります。

- 詳しくは 28 ページをご覧ください。

■ プログラム（④ PROG.）

（停止中に選ぶことができます）
トラックの再生順序を決めます。

1. **決定ボタンを押し、プログラム画面を表示させる**
   本体の表示窓に「PRGM」が表示されます。
2. **数字ボタンを使って再生したい順序でトラックを選ぶ**
3. **▶ 再生ボタンを押す**
   プログラム再生が開始します。

- 詳しくは 30 ページをご覧ください。

■ ランダム（⑤ RND.）

（停止中に選ぶことができます）
ランダム（無作為な順序）に再生します。

決定ボタンを押す
本体の表示窓に「RNDM」が表示され、ランダム再生が開始します。

- 詳しくは 31 ページをご覧ください。

■ 音声（⑥）

（ビデオ CD を再生中に選ぶことができます）
オーディオチャンネルを選びます。

1. **決定ボタンを押し、プルダウンメニューを表示させる**
2. **カーソル（▲/▼）ボタンを使って音声を選ぶ**
3. **決定ボタンを押す**
   選んだ音声で再生します。

- 詳しくは 34 ページをご覧ください。

MP3ディスクの操作

MP3ディスクとは

ＭＰ３は、少ないデータ容量で高音質のステレオ音声データを記録することができる記録方法です（用語集 ☞ 72 ページ）。
本機はMP3フォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます（本取扱説明書ではこれらのディスクを「MP3ディスク」と呼びます）。
MP3ディスクでは、曲が「ファイル」として記録されています。複数のファイルをカテゴリーまたはアーティストなどの「フォルダ」にまとめて分類し、フォルダの中にフォルダを作って階層構造にすることができます。このフォルダ階層はパソコンのフォルダの階層構造と同じです。

- **本機ではファイルはトラックとして扱います。**
- **本機では1つ以上のファイル（トラック）を含むフォルダはグループとして扱います。**

本機で再生できるMP3ディスク

本機では、次のファイル（トラック）およびMP3ディスクを再生することができます。

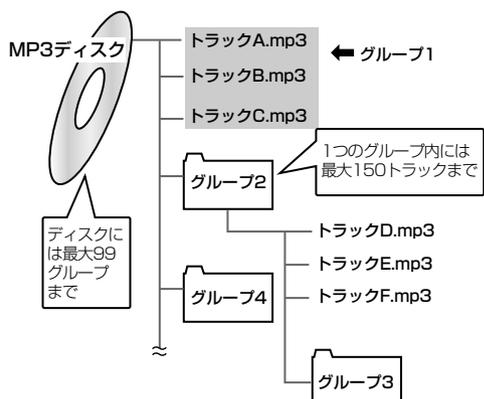
- **「.MP3」「.mP3」「.Mp3」「.mp3」の拡張子がついたMP3ファイル**
- **ISO9660フォーマットで記録され、ファイナライズされているMP3ディスク**
  （パケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。）
- マルチセッションで記録されたディスクの場合は、最大5セッションまで再生することができます。

お知らせ

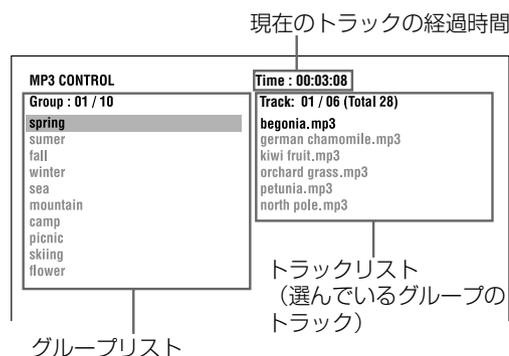
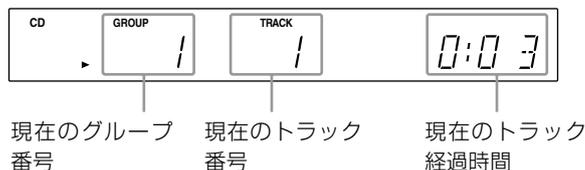
- MP3 ファイルと JPEG ファイルの両方が収録されているディスクの場合、初期設定の「映像設定画面」の［MP3/JPEG ファイル選択］で設定したファイルを再生します。☞ 55 ページ

MP3ディスクのトラックとグループ

本機では、MP3ディスクのトラック（MP3ファイル）とグループ（フォルダ）は、次のように認識します。

- トラックが入っていないグループは認識されません。
- グループに属さないトラックはグループ１のトラックとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大150トラック、ディスク内に最大99グループまで認識できます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。
  また、グループ（フォルダ）内にMP3以外のファイルが含まれているときは、本機が認識できるMP3トラックの数が150を下回ることがあります。

MP3コントロール画面について

MP3ディスクを本機に入れると、ディスクを読み込んだあとにMP3コントロール画面がテレビ画面に表示されます。
ＭＰ３コントロール画面を使って再生するグループやトラックを指定します。
本体の表示窓にはグループ番号およびトラック番号が表示されます。

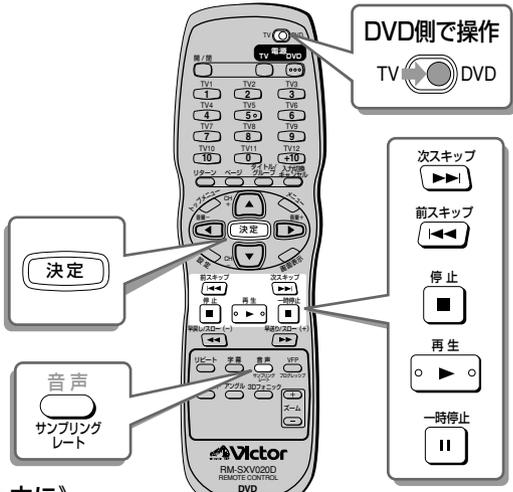
MP3コントロール画面

本体の表示窓

- MP3トラック（ファイル）のファイル名に漢字、ひらがな、カタカナおよび全角英数字が使用されていると、MP3コントロール画面でファイル名が正しく表示されないことがあります。
- MP3コントロール画面に表示できるのはMP3形式のファイルだけです。
- MP3コントロール画面に表示されるグループ／トラック名の表示順序は、パソコンのMP3再生ソフトなどでパソコン画面に表示される順序と異なることがあります。
- MP3ディスクを取り出すと、MP3コントロール画面は消えます
- MP3ディスクでは、現在のトラック経過時間以外の時間情報は表示できません。

MP3ディスクのとき知っておいてほしいこと

- トラックまたはグループのプログラム再生、およびランダム再生はできません。
- ディスクの記録状態や特性により再生できない場合や、読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスク内容の読み取りにかかる時間は、記録されているグループやフォルダの数により異なります。
- 本機にＭＰ３ディスクが入っているときは、初期設定画面（☞ 53 ページ）が表示できません。
- MP3 ファイルを CD-R/RW ディスクに書き込むソフトによっては、正しく再生できない場合があります。
- 本機は ID3 タグの情報表示には対応していません。

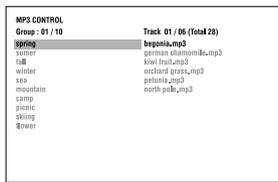
MP3ディスクの操作（つづき） MP3で使える機能です

基本操作

MP3ディスクで使用できる機能は限られますが、操作はオーディオCDの操作ににています。

《停止中に》

1 MP3ディスクを本機に入れる

MP3 コントロール画面がテレビ画面に表示されるまで待ちます。

MP3 コントロール画面

2 決定または►再生を押す

または 再生

最初のトラックから再生が開始します。

基本操作ボタンの機能を下の表にまとめます。

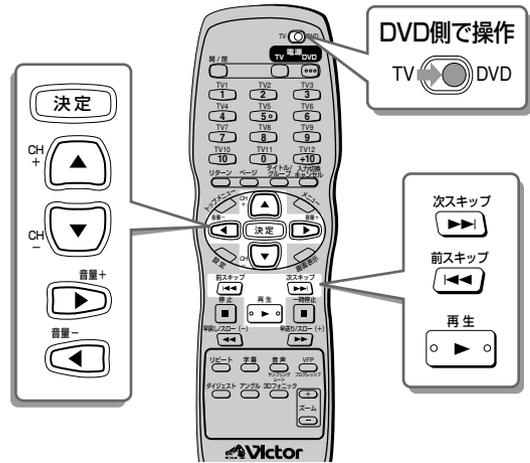
ボタン	機　能
決定	停止中に押すと再生を始めます。
再生	停止中、または一時停止中に押すと再生を始めます。
停止	再生を停止します。
一時停止	再生を一時停止します。
前スキップ　次スキップ	再生中に押すとグループ内の前後のトラックに移動し、再生を続けます。* 停止中に押すとグループ内の前後のトラックを選曲します。**
音声 サンプリングレート	再生中に1秒以上押し続けると、ディスクの量子化ビット数とサンプリング周波数が、本体表示窓に一時的に表示されます。

* グループをまたいだ前後のトラックを選択することもできます。

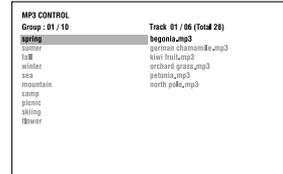
** 再生停止後、►再生ボタンを押すと現在のトラックの頭から再生を開始します。

- カーソル(▲/▼)は⏮、⏭と同じ働きをします。
- MP3ディスクの場合、早送り／早戻し再生ができません。

再生するグループやトラックを指定する

MP3コントロール画面画面から再生するグループやトラックを指定することができます。

《MP3コントロール画面が表示されているときに》

1 グループリストが選択されていることを確認する

トラックリストが選択されているときは、カーソル(◄)でMP3コントロール画面の　　　　をグループリストへ移動してください。

2 カーソル(▲/▼)を使って再生したいグループを選ぶ

　　　　が移動します。
グループ内の最初のトラックが自動的に選ばれます。

3 ⏭または⏮を使ってトラックを選ぶ

選んだトラックの色が変わります。

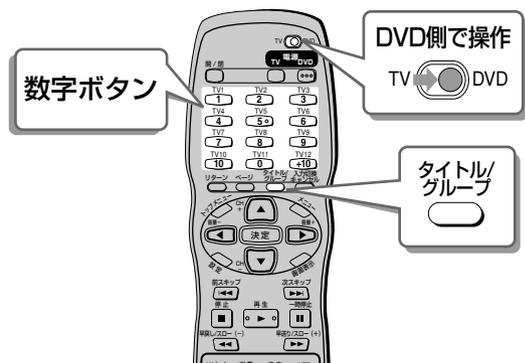
- カーソル(►)を押して　　　　をトラックリストに移動してから、カーソル（▲/▼）を押してトラックを選ぶこともできます。
- ⏭または⏮の代わりに数字ボタンを使ってトラックを指定することもできます。

4 決定または►再生を押す

または 再生

選んだトラックから再生が開始します。
再生中、本体の表示窓に現在のグループ/トラック番号と、トラックの再生経過時間が表示されます。 ☞ 45 ページ

グループを直接選ぶ

タイトル/グループを使って、グループを直接選ぶことができます。

《再生中または停止中》

1 タイトル/グループを押す

本体の表示窓に「−−」が表示されます。

2 数字ボタンを使ってグループを指定する

MP3 コントロール画面のグループリストに表示される順番で指定できます。☞ 45 ページ

本体の表示窓に「−−」が表示されている間に指定します。「−−」表示が消えてしまったときは、再度タイトル / グループを押して操作をやり直してください。

数字ボタンの使いかた

- **1〜10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを押してから、1〜10のボタンを押す

例：13番を選ぶには +10 ➡ 3
24番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 4
30番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 10
または +10 ➡ +10 ➡ +10 ➡ 0 と押す

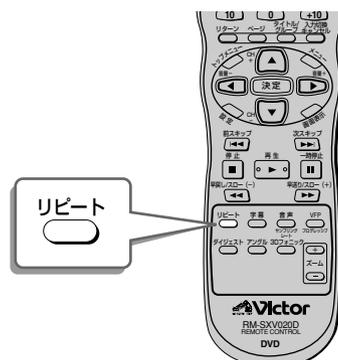
3 数字ボタンを使ってトラックを指定する

MP3コントロール画面のトラックリストに表示される順番で指定できます。☞ 45 ページ

指定したトラックから再生が始まります。

- トラックの指定を省略すると、グループの最初のトラックから再生が始まります。
- 数字ボタンの代わりに |◀◀ または ▶▶| 、または**カーソル**(▲/▼)でトラック番号を選ぶこともできます。

リピート再生

トラックまたはグループ内をくり返し再生することができます。

《再生中または停止中》

1 リピートを押す

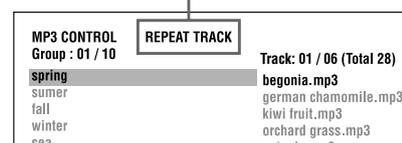
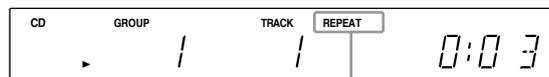
リピートを押すごとにリピートモードが変わります。再生中は選んだリピートモードの再生になります。

停止中は ▶ **再生**を押すと、選んだリピートモードで再生が始まります。

リピートモードは、MP3 コントロール画面、または本体の表示窓に表示されます。

MP3コントロール画面の表示	本体表示窓の表示	リピート機能
REPEAT TRACK	REPEAT1	現在のトラックをくり返す
REPEAT GROUP	REPEAT	現在のグループ内のすべてのトラックをくり返す
REPEAT ALL	REPEAT	ディスク内のすべてのトラックをくり返す
表示なし		リピートモード解除

MP3 コントロール画面

選択されているリピートモード

本体の表示窓

リピートモード表示

- **リピート再生をやめるには**
  ■**停止**を押します。このとき、リピートモードは残ります。

- **リピートモードの設定を解除するには**
  再生中は、**リピート**を押して本体表示窓のリピート表示（REPEAT または REPEAT1）を消します。
  停止中は、**リピート**を押してMP3コントロール画面のリピートモード表示または本体表示窓のリピート表示を消します。

MP3ディスクの再生

JPEGディスクの操作 JPEGで使える機能です

JPEGディスクとは

JPEGはJoint Photographic Experts Groupの略称で、インターネットやデジカメなどに広く利用されている静止画情報圧縮フォーマットのひとつです。（用語集 72 ページ）
本機はJPEGフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます（本取扱説明書ではこれらのディスクを「JPEGディスク」と呼びます）。
ＪＰＥＧディスクでは、静止画が「ファイル」として記録されています。複数のファイルをカテゴリー別などの「フォルダ」にまとめて分類し、フォルダの中にフォルダを作って階層構造にすることができます。このフォルダ階層はパソコンのフォルダの階層構造と同じです。

- **本機では、１つ以上のファイルを含むフォルダはグループとして扱います。**

ご注意

- JPEGフォーマットには、以下の3方式があります。

ベースライン方式	：デジタルカメラやインターネットなどで多く利用されます。
プログレッシブ方式	：おもにインターネットで利用されています。
ロスレス方式	：現在ではあまり使われません。

本機で再生できるのはベースライン方式のJPEGファイルのみです。その他の方式のJPEGファイルがJPEGディスクに含まれているとき、本機はそのファイルをJPEGファイルとして認識しますが、再生してもテレビ画面は黒い画面になり、「NON PLAYABLE FILE」と表示されます。また、停止や次のファイルを選ぶなどの操作はできますが操作を受け付けるまでに時間がかかります。

本機で再生できるJPEGディスク

本機では、次のファイルおよびJPEGディスクを再生することができます。

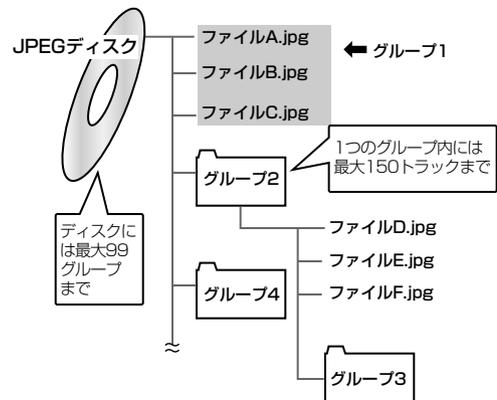
- **「.jpg」「.jpeg」「.JPG」「.JPEG」の拡張子のついたベースライン方式のJPEGファイル**
（大文字小文字が混在した拡張子（.Jpgなど）も使えます）
- **ISO9660フォーマットで記録されたJPEGディスク**
（パケットライト方式で記録されたディスクは、再生できません。）
- マルチセッションで記録されたディスクは、最大5セッションまで再生することができます。
- JPEGファイルの解像度は「640 x 480」をおすすめします。それ以上の解像度の場合、画像の表示に時間がかかることがあります。
また、水平解像度が2400ピクセルを超える画像は、本機では再生できません。

お知らせ

- JPEG ファイルと MP3 ファイルの両方が収録されているディスクの場合、初期設定の「映像設定画面」の［MP3/JPEG ファイル選択］で設定したファイルを再生します。55 ページ

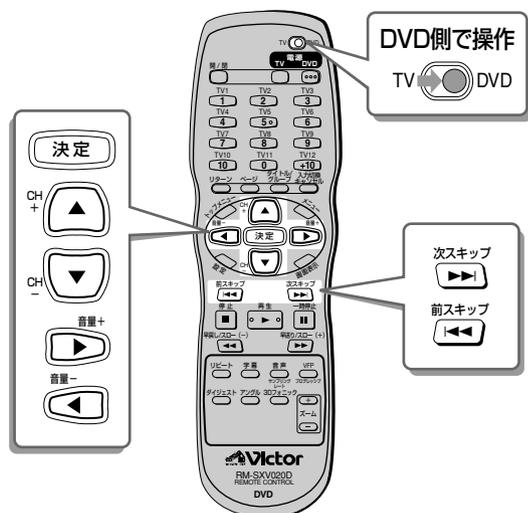
JPEGディスクのファイルとグループ

本機では、JPEGディスクのファイルとグループ（フォルダ）は、次のように認識します。

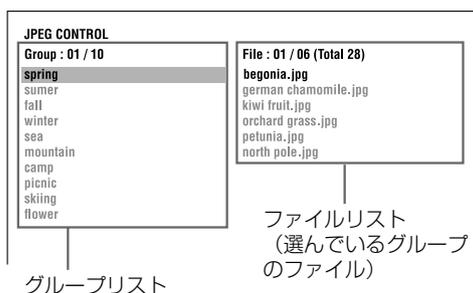
- ファイルが入っていないグループは認識されません。
- フォルダに属さないファイルはグループ１のファイルとして扱われます。
- 本機は各グループ内に最大150ファイル、ディスク内に最大99グループまで認識できます。これらを超える場合、本機は超えた分を認識せず、再生を行いません。
また、グループ（フォルダ）内にJPEG以外のファイルが含まれているときは、本機が認識できるJPEGファイルの数が150を下回ることがあります。

JPEGディスクのとき知っておいてほしいこと

- ファイルの特性や記録状態により、再生ができなかったり、全ファイルの表示に時間がかかることがあります。
- ファイルのプログラム、およびランダム再生はできません。
- JPEGディスクをスライドショー再生（50 ページ）しているとき、スクリーンセーバーは働きません。
- JPEGファイルのファイル名に漢字、ひらがな、カタカナ、および全角英数字が使用されていると、ファイル名が正しく表示されないことがあります。
- ディスク内容の読み取りにかかる時間は、記録されているグループやファイルの数により異なります。
- 画像の表示中に他の操作（停止する、画面を拡大/縮小する、など）を行った場合、その画像の表示が完全に終わってから操作を受けつけます。
- 本機にJPEGディスクが入っているときは、初期設定画面が表示できません。53 ページ

ファイルを再生する

JPEGディスクを本機に入れると、ディスクを読み込んだあとにJPEGコントロール画面がにテレビ画面に表示されます。
この画面から再生するファイルを指定することができます。
• JPEGディスクを取り出すと、JPEGコントロール画面は消えます。

《JPEGコントロール画面が表示されているときに》

1 グループリストが選択されていることを確認する

ファイルリストが選択されている場合は、**カーソル**(◀)でJPEGコントロール画面の　　　　　　をグループリストへ移動してください。

2 カーソル(▲/▼)を使って再生したいグループを選ぶ

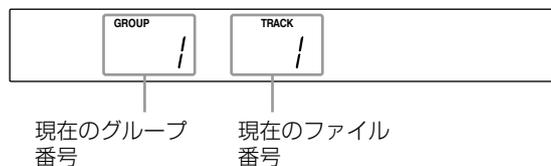
　　　　　　が選択したグループへ移動します。
選んだグループ内の最初のファイルが自動的に選ばれます。

3 ▶▶|または|◀◀を使ってファイルを選ぶ

選んだファイルの色が変わります。

• **カーソル**（▶）を押して　　　　　　をファイルリストに移動してから、**カーソル**（▲/▼）を押してファイルを選ぶこともできます。
• ▶▶| または |◀◀ の代わりに数字ボタンを使ってファイルを指定することもできます。

4 決定を押す

選んだファイル（静止画）がテレビ画面に表示されます。
現在選んでいるグループ/ファイル番号は、本体の表示窓に表示されます。

• **決定**のかわりに▶**再生**を押すと、選んだファイルからスライドショー再生を始めます。☞ 50 51 ページ

他の静止画を見たいときは

▶▶|を押すと次の静止画を表示します。
|◀◀を押すと前の静止画を表示します。
• **カーソル**(▲/▼)を使って選ぶこともできます。

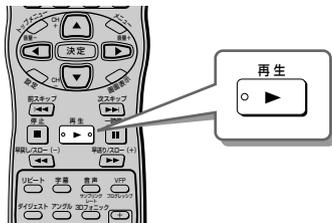
静止画の表示をテレビ画面から消すには

■**停止**または**メニュー**を押します。静止画が消え、JPEGコントロール画面が表示されます。

JPEG ディスクの操作（つづき） JPEGで使える機能です

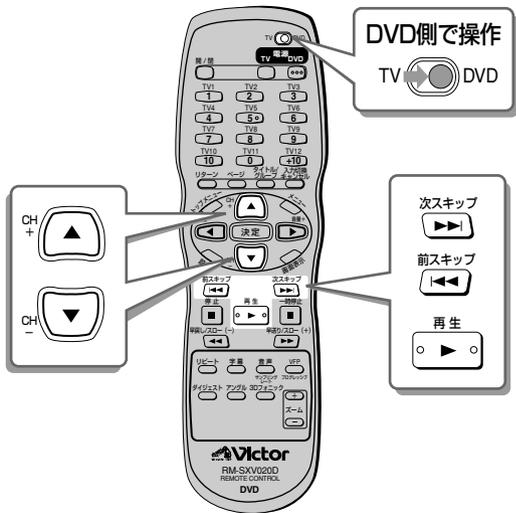
ファイルを続けて再生する［スライドショー再生］

ファイルを3秒間ずつ連続して表示するスライドショー再生をします。

■ ディスクの最初からスライドショー再生をする

《JPEGディスクを入れてから》

1 再生 **►再生を押す**

ディスクの最初からスライドショー再生が始まります。

■ 指定したファイルからスライドショー再生をする（JPEGコントロール画面で操作する）

《JPEGコントロール画面を表示中》

1 **「ファイルを再生する」 49ページの手順1～3の操作をしてファイルを指定する**

カーソル（▲/▼）を使ってグループを選ぶ

⬇

►►I または I◄◄ を使ってファイルを選ぶ

2 再生 **►再生を押す**

選択したファイルからスライドショー再生が始まります。

本体の表示窓に表示中のファイルのグループ / ファイル番号が表示されます。

■ 指定したファイルからスライドショー再生をする（タイトル／グループボタンで操作する）

《JPEGディスクが入っているとき》

1 タイトル/グループ **タイトル/グループを押す**

本体の表示窓に「−−」が表示されます。

GROUP TRACK
-- -- /

2 **数字ボタンを使ってグループを指定する**

JPEGコントロール画面のグループリストに表示される順番で指定できます。☞49ページ

本体の表示窓に「−−」が表示されている間に指定してください。「−−」表示が消えてしまったときは、再度**タイトル/グループ**を押して操作をやり直してください。

数字ボタンの使いかた

- **1～10を選ぶには**
  その番号の数字ボタンを直接押す
- **11以上を選ぶには**
  +10ボタンを押してから、1～10のボタンを押す

例： 13番を選ぶには +10 ➡ 3
24番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 4
30番を選ぶには +10 ➡ +10 ➡ 10
または +10 ➡ +10 ➡ +10 ➡ 0
と押す

3 数字ボタンを使ってファイルを指定する

JPEGコントロール画面のファイルリストに表示される順番で指定できます。☞49ページ

手順**2**のあと、5秒以内にファイルを指定してください。指定したファイルからスライドショー再生が始まります。

- ファイルの指定を省略すると、グループの最初のファイルからスライドショー再生が始まります。
- 数字ボタンの代わりに⏮または⏭、または**カーソル**(▲/▼) でファイル番号を選ぶこともできます。

他の静止画を見たいときは

⏭を押すと次の静止画を表示します。
⏮を押すと前の静止画を表示します。

- **カーソル**(▲/▼)を使って選ぶこともできます。

スライドショー再生を途中でやめるには

■**停止**または**メニュー**を押します。スライドショー再生が停止し、ＪＰＥＧコントロール画面が表示されます。このとき▶**再生**を押すと、スライドショー再生をやめたファイルから再生を開始します。

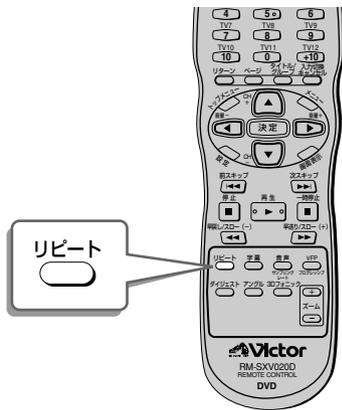
スライドショー再生を一時停止するには

⏸**一時停止**または**決定**を押します。このとき▶**再生**を押すと、次のファイルからスライドショー再生を開始します。

スライドショー再生中に黒い画面しか出ないときは

再生しているＪＰＥＧファイルがベースライン方式以外のときは、静止画が表示されず黒い画面になります(☞48ページ)。このようなときは、■**停止**または**メニュー**を押してJPEGコントロール画面を表示させ、再生できるファイルを選び直してください。ただし、操作を受けつけるまで時間がかかることがあります。

JPEG ディスクの操作（つづき） JPEGで使える機能です

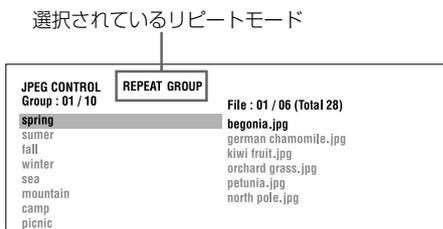
スライドショーのリピート再生

《JPEGコントロール画面が表示されているときに》

1 リピート **リピートを押す**

リピートを押すごとにリピートモードが変わります。
►**再生**を押すと、選んだリピートモードで再生が始まります。
リピートモードは、JPEGコントロール画面、または本体の表示窓に表示されます。

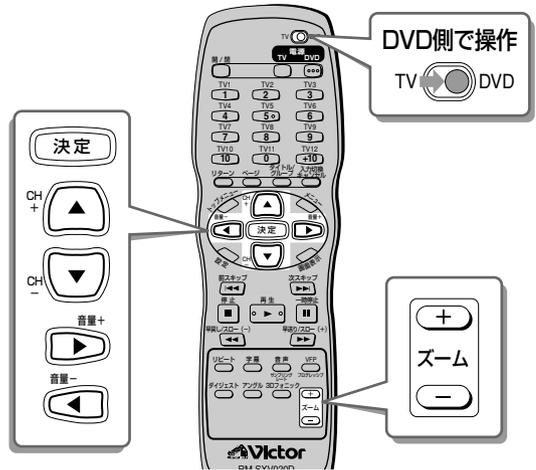
JPEGコントロール画面の表示	本体表示窓の表示	リピート機能
REPEAT GROUP	REPEAT	現在のグループ内のすべてのファイルをリピート
REPEAT ALL		ディスク内のすべてのファイルをリピート
表示なし		リピートモードオフ

JPEGコントロール画面

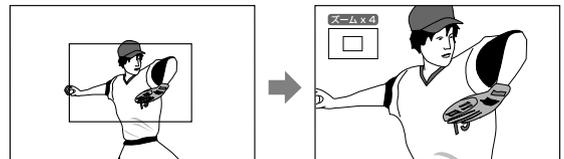
選択されているリピートモード

本体の表示窓

リピートモード表示

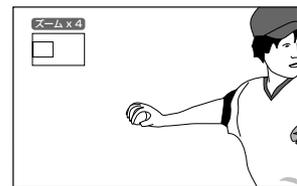
- **リピート再生をやめるには**
  ■**停止**を押します。このとき、リピートモードは残ります。
- **リピートモードの設定を解除するには**
  停止中に、**リピート**を押してJPEGコントロール画面のリピートモード表示を消します。

画面を拡大/縮小する[ズーム]

《JPEG画像を表示中に（スライドショー再生中を除く）》

1 **ズーム(＋､ー)を押す**

ズーム(+)を押すと画面の中央部が２倍ずつ拡大され、最大 1024 倍になります。
ズーム(ー)を押すと画面が1/2ずつ縮小され、最小 1/8 になります。

画面の左上に現在の倍率とズームインしている画面上の位置が表示されます。
ズーム倍率が2倍以上のとき、手順**2**の操作をしてズームしている位置を動かすことができます。

- スライドショー再生中は、再生を一時停止すると画像の拡大／縮小ができます。
- 拡大すると、画質が悪化したり、画像がブレることがあります。

2 **カーソル(▲/▼/◄/►)を使って拡大したい部分を選ぶ**

- 倍率とズームインしている画面上の位置表示は、5秒後に消えますが、**カーソル**または**ズーム**（+、−）を押すと表示されます。

ズームを解除するには

決定を押します。

初期設定を変更する

初期設定とは、お買い上げ時にすでに設定されている各種設定のことです。通常は初期設定を変更する必要はありませんが、本機をワイドテレビにつないだり、お使いの環境にあわせて設定を変更するときにお読みください。

初期設定画面について

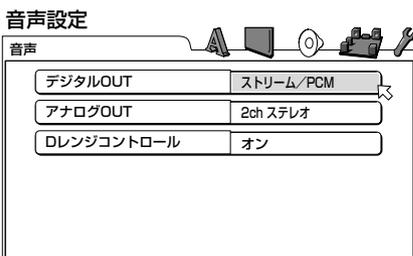
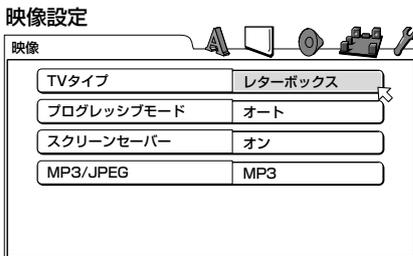
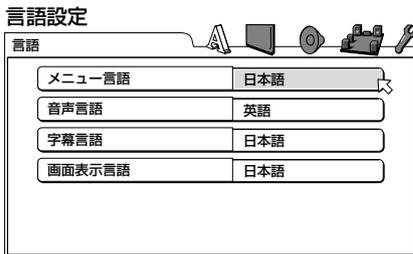
初期設定画面には、言語設定画面、映像設定画面、音声設定画面、スピーカー設定画面、その他設定画面の５つの設定画面があり、それぞれに設定項目があります。

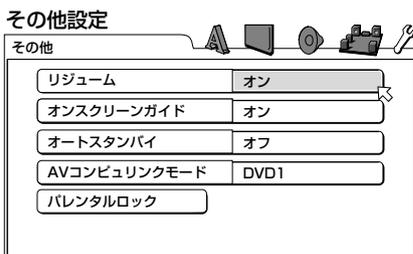
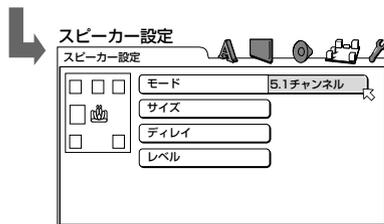
言語設定

映像設定

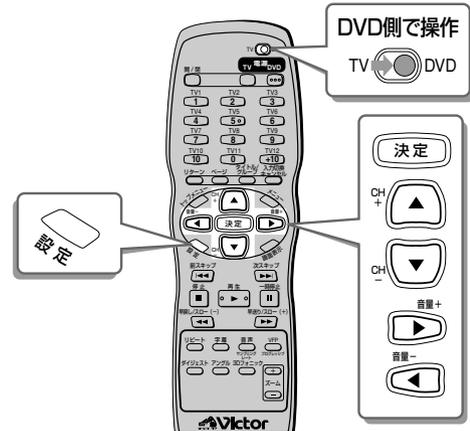
映像	
TVタイプ	レターボックス
プログレッシブモード	オート
スクリーンセーバー	オン
MP3/JPEG	MP3

音声設定

音声	
デジタルOUT	ストリーム／PCM
アナログOUT	2ch ステレオ
Dレンジコントロール	オン

音声設定画面のアナログOUTが「マルチチャンネル」のときだけスピーカー設定画面が選べます。

その他設定

お知らせ

- MP3 または JPEG ディスクがセットされているときは、初期設定画面が表示できません。☞ 45 48 ページ
- ワイドテレビをお使いの場合、初期設定画面の上下の部分が切れた状態で表示されることがあります。このようなときは、テレビ側の設定で画像サイズを変えてください。

基本操作

《電源「切」以外いつでも》

1
設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2
カーソル(◀/▶)を使って表示したい設定画面を選ぶ

選んだ初期設定画面が表示されます。
選んだ設定画面に応じて画面の右上にあるアイコンの色が変わります。

- 言語設定画面のアイコン
- 映像設定画面のアイコン
- 音声設定画面のアイコン
- スピーカー設定画面のアイコン（再生中は選べません。）
- その他設定画面のアイコン

3
カーソル(▲/▼)を使って ⇖ を設定したい項目に合わせる

選んだ項目の色が変わります。

4 決定
決定を押す

選んだ項目のプルダウンメニューが表示されます。

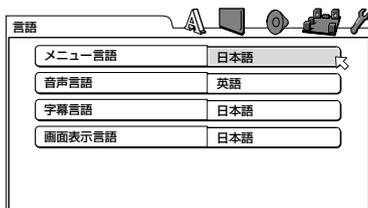
5
カーソル(▲/▼)を使ってプルダウンメニューから設定を選び、決定を押す

設定が完了します。

- **初期設定画面を消すには**
  設定を押します。

初期設定を変更する（つづき）

言語設定画面

言語
メニュー言語　日本語
音声言語　英語
字幕言語　日本語
画面表示言語　日本語

メニュー言語、音声言語、字幕言語、画面表示言語など、言語に関する設定を行う画面です。

ご注意

- **ディスク再生中は[画面表示言語]以外の言語設定画面の操作はできません。**

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていないときは、ディスクに標準設定されている言語で表示されます。
- AA～ZUの言語コードは、下の〈言語コード一覧〉をご覧ください。

メニュー言語

DVDディスクのメニュー画面に表示される言語を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AAからZUまでの言語コード

音声言語

DVDディスクの音声言語を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AAからZUまでの言語コード

字幕言語

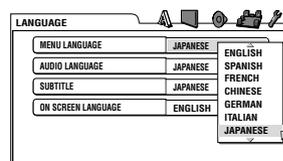
DVDディスクの字幕言語を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オフ⟷英語⟷スペイン語⟷フランス語⟷中国語⟷ドイツ語⟷イタリア語⟷日本語⟷AAからZUまでの言語コード⟷

画面表示言語

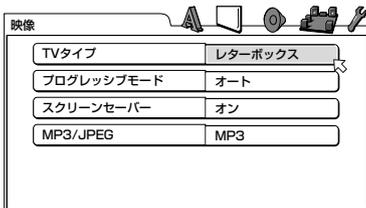
初期設定画面などのオンスクリーン画面の言語を選びます。

プルダウンメニューの項目
（　　がお買い上げ時の設定）
日本語⟷英語

画面表示言語を英語にしたときの画面

〈言語コード一覧〉

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SL	スロベニア語
AB	アブハジア語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SM	サモア 語
AF	アフリカーンス語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラード語	MN	モンゴル語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語	MR	マラータ語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語	MS	マライ（マレー）語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	ST	セストゥ語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語	NA	ナウル語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	IE	国際語	NE	ネパール語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TG	タジク語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語	OM	（アファン）オロモ語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	KA	グルジア語	PL	ポーランド語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	KK	カザフ語	PS	パシュトー語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	KL	グリーンランド語	PT	ポルトガル語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	KM	カンボジア 語	QU	ケチュア語	TR	トルコ語
DZ	ブータン語	KN	カンナダ語	RM	ラエティ - ロマン語	TS	ツォンガ語
EL	ギリシャ語	KO	韓国（朝鮮）語	RN	キルンディ語	TT	タタール語
EO	エスペラント語	KS	カシミール語	RO	ルーマニア語	TW	トウィ語
ET	エストニア語	KU	クルド語	RU	ロシア語	UK	ウクライナ語
EU	バスク語	KY	キルギス語	RW	キニヤルワンダ語	UR	ウルドゥー語
FA	ペルシャ語	LA	ラテン語	SA	サンスクリット語	UZ	ウズベク語
FI	フィンランド語	LN	リンガラ語	SD	シンド語	VI	ベトナム語
FJ	フィジー語	LO	ラオス語	SG	サンド語	VO	ヴォラピュク語
FO	フェロー語	LT	リトアニア語	SH	セルボアクロアチア語	WO	ウォロフ語
FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SI	シンハラ語	XH	コーサ語
GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SK	スロバキア語	YO	ヨルバ語
						ZU	ズール語

映像設定画面

映像	
TVタイプ	レターボックス
プログレッシブモード	オート
スクリーンセーバー	オン
MP3/JPEG	MP3

TVのタイプ、プログレッシブモード、スクリーンセーバー、MP3/JPEGファイルが混在したCD-R/RWディスクの再生ファイルの切り換えなど、主に映像に関する設定を行う画面です。

TVタイプ

お使いのテレビに合わせて画面表示方法を選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
16：9ノーマル⟺16：9オート⟺レターボックス⟺パンスキャン

- **16:9ノーマル[ワイドテレビ(縦横比16:9)用]：**
  画面サイズが16:9に固定されているワイドテレビと接続したとき、この設定にします。(4：3で収録されたDVDビデオを再生するとき、本機が出力信号の画面幅を自動調節します)

「16:9ノーマル」設定で4:3画面のDVDビデオを再生すると、画面幅を変換しているため画質が変わります。

- **16:9オート[ワイドテレビ(縦横比16:9)用]**
  普通のワイドテレビと接続したとき、この設定にします。

- **レターボックス[通常のテレビ(縦横比4:3)用]：**
  上下に黒い隙間がある状態で映ります。左右両端の映像は切り取られません。通常のテレビ(縦横比4：3)に接続したとき、この設定にします。

- **パンスキャン[通常のテレビ(縦横比4:3)用]：**
  左右両端が切り取られる状態で映ります。上下に黒い隙間は映りません。通常のテレビ(縦横比4：3)に接続したとき、この設定にします。

お知らせ

- ディスクがパンスキャンに対応していないときは、パンスキャンに設定してもレターボックス表示になります。

プログレッシブモード

ディスクに収録された映像の収録素材（ビデオ素材またはフィルム素材）に適した映像信号処理を行った映像信号の出力を選びます。
プログレッシブモードの設定と収録素材のタイプ、および本機の状態により、本体前面のプログレッシブランプの色が変わります。☞17ページ

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
ビデオ ⟺ フィルム ⟺ オート

- **ビデオ：**
  ディスクに収録された素材をビデオ素材として奇数フィールドと偶数フィールドを合成してから、信号処理を行い出力します。比較的動きの少ないビデオ素材のディスクの再生に適しています。
- **フィルム：**
  ディスクに収録された素材をフィルム素材として信号処理を行います。フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。
- **オート：**
  ディスクの再生から素材のタイプ(フィルムまたはビデオ)を判定して、モードを切り換えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。**通常はこの設定にします。**
  - ディスクの中には「オート」モードで正しく再生されないものがあります。特定のDVDビデオで映像にスジ状のノイズが入ったり不鮮明なときは設定を変えてください。

スクリーンセーバー

画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー（☞19ページ）を使うか、使わないかを選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オン ⟺ オフ

- **オン：** 静止画が5分以上続くと、画面が暗くなります。
- **オフ：** スクリーンセーバーは機能しません。

MP3/JPEGファイル選択

1枚のCD-R/CD-RWディスクにMP3とJPEGの両ファイルが含まれている場合、どちらのファイルを再生可能にするか選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
MP3 ⟺ JPEG

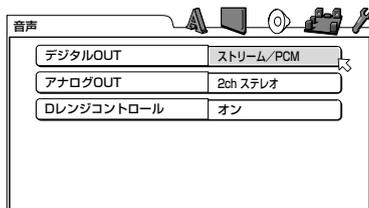
- **MP3** ：MP3ファイルを再生します。
- **JPEG**：JPEGファイルを再生します。

お知らせ

- CD-R/CD-RWディスクにMP3またはJPEGのいずれか一方のみ収録されているときは、この設定にかかわらず再生することができます。

初期設定を変更する（つづき）

音声設定画面

音声	
デジタルOUT	ストリーム／PCM
アナログOUT	2ch ステレオ
Dレンジコントロール	オン

デジタル音声出力、アナログ音声出力、音声ダイナミックレンジのコントロール機能など、音声に関する設定を行う画面です。

デジタルOUT

本機のデジタル音声出力端子に接続する機器の種類によって、設定します。デジタル音声出力端子に何もつながない場合は設定する必要はありません。
設定項目と出力信号の関係は、下の表をご覧ください。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
PCMのみ ⟺ DOLBY DIGITAL/PCM ⟺ ストリーム/PCM

- **PCM のみ :**
  リニアＰＣＭのみ対応しているデジタル端子付きアンプやＭＤレコーダー、ＤＡＴデッキなどと接続するとき、この設定にします。
- **DOLBY DIGITAL/PCM :**
  ドルビーデジタルデコーダーの機能を備えたアンプ、あるいはドルビーデジタルデコーダーと接続するとき、この設定にします。
- **ストリーム/PCM :**
  DTSデコーダー、ドルビーデジタルデコーダー、MPEGデコーダーの機能を備えたアンプ、またはそれぞれのデコーダーと接続するとき、この設定にします。

お知らせ

- 本機のデジタル音声出力端子が、DTSデコーダー搭載以外のアンプと接続されているときは、DTS のオーディオ CD を再生しないでください。ノイズによりスピーカーを破損する恐れがあります。
- 著作権保護の設定がされていないDVDビデオの中には20、または 24 ビットで出力されるものがあります。

再生ディスク	「デジタルOUT」設定		
	ストリーム/PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCMのみ
48/44.1kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVD	48/44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
192/176.4/96/88.2kHz、16/20/24ビットリニアPCMのDVD	出力しない		
DTSのDVD	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
ドルビーデジタルのDVD	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
オーディオCD/ビデオCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM		
DTSのオーディオCD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM	
MP3のCD-R/CD-RW	リニアPCM		

アナログOUT

サラウンド音声で収録されたDVDビデオを正しく再生するため、接続する機器に合わせて選びます。（この設定はDVDビデオを再生するときのみ影響します）

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
2ch ドルビーサラウンド ⟺ 2ch ステレオ ⟺ マルチチャンネル

- **2chドルビーサラウンド :**
  本機のアナログ音声出力をドルビーサラウンド（用語集 73 ページ）対応のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
- **2ch ステレオ :**
  本機のアナログ音声出力を通常のステレオアンプやレシーバーあるいはテレビに接続するとき、この設定にします。
- **マルチチャンネル :**
  本機の5.1ch音声出力端子を5.1ch入力端子付のアンプに接続してサラウンド音声を楽しむとき、この設定にします。

お知らせ

- 3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。
- DVDオーディオの中には2チャンネルのダウンミックスを禁止しているものがあります。
  このようなディスクは、「アナログ OUT」の設定を[**2chドルビーサラウンド**]や[**2chステレオ**]にして再生してもダウンミックスが機能しません。このとき本体の表示窓には、２～３秒間「MULTI CH」と表示されます。

Dレンジコントロール

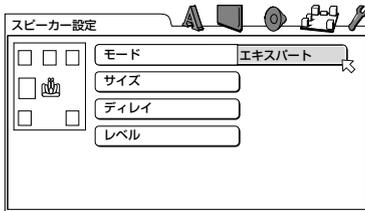
ドルビーデジタル収録された DVD ビデオを小音量で楽しむ場合、音声のダイナミックレンジ（用語集 73 ページ）を圧縮します。収録されたチャンネル数に合わせて設定します。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オート ⟺ オン

- **オート**: ドルビーデジタル1ｃｈまたは2ｃｈ収録のディスク以外で常にダイナミックレンジを圧縮します。
- **オン** ：常にダイナミックレンジを圧縮します。

お知らせ

- この機能はドルビーデジタル収録されたディスク以外では働きません。
- 3Dフォニック機能が働いているときは、この機能は働きません。

スピーカー設定画面

接続するシステムに合わせてスピーカーの設定ができます。
スピーカー設定画面を表示させるには、次の条件が必要です。
- 音声設定画面のアナログOUTの設定を「**マルチチャンネル**」にしている
- ディスクを停止する

モード

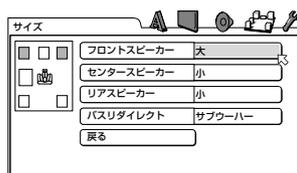
スピーカーシステムに合わせて選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
エキスパート ⟺ 5.1 チャンネル

・**エキスパート :**
スピーカーに合わせて詳細な設定をするとき選びます。
「**サイズ**」、「**ディレイ**」、「**レベル**」の設定ができます。

・**5.1チャンネル :**
5.1chの入力端子を持つアンプと接続して、フロントスピーカー、リアスピーカー、センタースピーカー、サブウーハーを使うとき選びます。
「**サイズ**」、「**ディレイ**」、「**レベル**」の設定はできません。
通常は、「5.1チャンネル」を選びます。
「**5.1 チャンネル**」を選んだときの各スピーカーのサイズは、次の設定に固定されています。
フロントスピーカー :大
センタースピーカー :小
リアスピーカー :小
バスリダイレクト :サブウーハー

サイズ(モードの設定が「エキスパート」のときのみ

使用するスピーカーの大きさに合わせてサイズを選びます。
スピーカー設定画面の「サイズ」を選んで**決定**を押すと、サイズ設定画面が表示されます。

・**フロントスピーカー:**
フロントスピーカーの大きさに合わせてサイズを設定します。
大　：低音が十分再生ができる大きなスピーカーのとき。
小　：低音が十分再生できない小型スピーカーのとき。
フロントスピーカーを「**小**」に設定すると、他のスピーカーは「**大**」に設定できません。また、バスリダイレクトは「**サブウーハー**」以外に設定できません。

・**センタースピーカー:**
センタースピーカーの大きさに合わせてサイズを設定します。
大　：低音が十分再生ができる大きなスピーカーのとき。
フロントスピーカーが「**大**」のとき設定できます。
小　：低音が十分再生できない小型スピーカーのとき。
なし：センタースピーカーを使用しないとき。

・**リアスピーカー:**
リアスピーカーの大きさに合わせてサイズを設定します。
大　：低音が十分再生ができる大きなスピーカーのとき。
フロントスピーカーが「**大**」のとき設定できます。
小　：低音が十分再生できない小型スピーカーのとき。
なし：リアスピーカーを使用しないとき。

右上へ

サイズ(つづき:左下から)

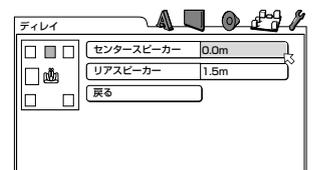
・**バスリダイレクト:**
低音が十分に出ない小型スピーカーを使用しているとき、不足する低音成分をサブウーハーまたはフロントスピーカーのどちらで再生するか選びます。
フロントスピーカーが「**大**」、センタースピーカーまたはリアスピーカーが「**小**」のとき設定します。
サブウーハー：不足した低音をサブウーハーから出力するとき選びます。
フロント L/R：不足した低音をフロントスピーカーから出力するとき選びます。
本機のサブウーハー端子からは、音声信号は出力されません。

- フロントスピーカーが「**小**」のときは、バスリダイレクトは「**サブウーハー**」に固定されます。
- フロントスピーカーが「**大**」でセンタースピーカーとリアスピーカーが「**なし**」のとき、または全てのスピーカーが「**大**」にのときは、バスリダイレクトは「**なし**」に固定されます。

・**戻る**
スピーカー設定画面に戻るとき選びます。

お知らせ
- DVDオーディオ再生時、センタースピーカーとリアスピーカーのいずれかまたは両方が「**なし**」に設定されていると、それらの音声はフロントスピーカーから出力されません。

ディレイ(モードの設定が「エキスパート」のときのみ

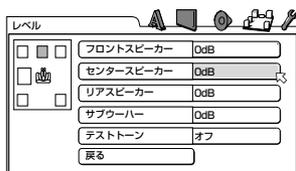
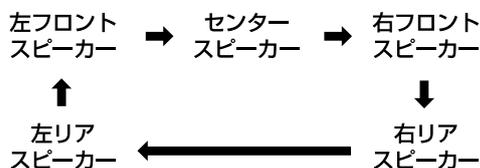
各スピーカーの設置位置に合わせてディレイを調節します。
聞く位置からフロントスピーカー、センタースピーカー、リアスピーカーの距離に合わせて調節します。

・**センタースピーカー:**
0.0m〜1.5mの範囲で調節できます。
聞く位置からフロントスピーカーまでの距離とセンタースピーカーまでの距離がほぼ同じときは、0.0mにします。
センタースピーカーまでの距離の方が短くなるにしたがってディレイを長くします。

・**リアスピーカー:**
0.0m〜1.5mの範囲で調節できます。
聞く位置からフロントスピーカーまでの距離とリアスピーカーまでの距離がほぼ同じときは、0.0mにします。
リアスピーカーまでの距離の方が短くなるにしたがってディレイを長くします。

・**戻る**
スピーカー設定画面に戻るとき選びます。

スピーカー設定画面（つづき）

レベル(モードの設定が「エキスパート」のときのみ

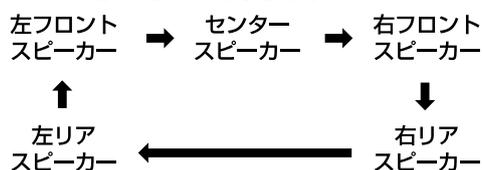
各スピーカーの出力レベルを変えることができます。

- **フロントスピーカー:**
  0dBに固定されています。選ぶことはできません。
- **センタースピーカー:**
  −6dB〜0dB〜6dBの範囲で調節できます。
- **リアスピーカー:**
  −6dB〜0dB〜6dBの範囲で調節できます。
- **サブウーハー:**
  −6dB〜0dB〜6dBの範囲で調節できます。
- **テストトーン:**
  各スピーカーレベルを調節するときに使うテストトーンを鳴らすとき、「**オン**」を選びます。
  テストトーンは次の順に鳴ります。

テストトーンを止めるときは、「**オフ**」を選びます。
・テストトーンはサブウーハーからは鳴りません。
・「**戻る**」を選ぶと、テストトーンが止まります。

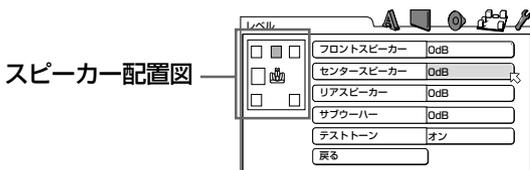
- **戻る**
  スピーカー設定画面に戻るとき選びます。

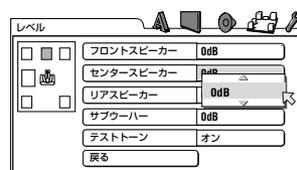
テストトーンを鳴らしてセンタースピーカーとリアスピーカーの出力レベルを調節する

テストトーンを聞きながらセンタースピーカーとリアスピーカーの出力レベルを調節します。

1. **本機の音声を出す機器の音量を適当な音量にする**

2. **レベル設定画面の「テストトーン」を「オン」に設定する**
   テストトーンが次の順に鳴ります。

レベル設定画面左側のスピーカー配置図では、テストトーンが鳴っているスピーカーが黄色く表示されます。

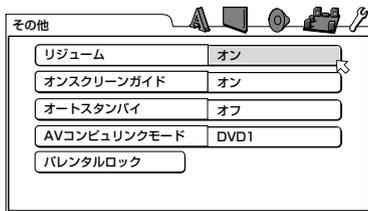
例：センタースピーカーが鳴っているとき

3. **出力レベルを調節するスピーカーを選ぶ**
   選んだスピーカーがスピーカー配置図で緑色に表示されます。

4. **決定を押す**
   レベル設定のサブメニューが表示され、テストトーンが**手順３**で選んだスピーカーから鳴ります。
   スピーカー配置図の緑色が黄色に変わります。

・「**リアスピーカー**」を選んで**決定**を押したときは、左リアスピーカーと右リアスピーカーから交互にテストトーンが鳴ります。

5. **レベルを調節し、決定を押す**
   テストトーンが**手順２**の順に鳴ります。

6. **手順３〜５をくり返して、他のスピーカーの出力レベルを設定する**

出力レベルの設定が終わったら
「**テストトーン**」を選び、「**オフ**」に設定します。テストトーンが止まります。
または「**戻る**」を選びます。スピーカー設定画面に戻り、テストトーンが止まります。

その他設定画面

リジューム、オンスクリーンガイド、オートスタンバイ、AVコンピュリンクモード、および視聴制限の設定を行う画面です。

リジューム

リジューム機能（☞22 ページ）を使うか、使わないかを選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オン ⟷ オフ ⟷ ディスクリジューム

- **オン（通常のリジューム）**
  リジューム機能が働きます。
- **オフ**
  リジューム機能が働きません。
- **ディスクリジューム**
  最大30枚までのディスクにリジューム機能が働きます（ディスクを取り出してもリジュームポイントを記憶しています）。

オンスクリーンガイド

再生している映像に重ねてディスクの収録状態や本機の動作状態を示すマーク（など）や文字を表示するか、表示しないかを選びます。
- マークや文字の表示については 19 ページを参照してください。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
オン ⟷ オフ

- **オン**
  マークや文字が表示されます。
- **オフ**
  マークや文字が表示されません。

オートスタンバイ

一定時間、本機の停止状態が続いたとき、自動的に本機を電源「切（スタンバイ状態）」にするか、しないかを選びます。

プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
60 ⟷ 30 ⟷ オフ

- **60**
  60分後に電源「切」になります。
- **30**
  30分後に電源「切」になります。
- **オフ**
  オートスタンバイ機能は働きません。

AVコンピュリンクモード

ビクターのテレビやレシーバーなどと連動させるとき、接続した機器の入力端子に合わせて設定します。（AV コンピュリンクの活用☞66 ページ）
- 接続する他の機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

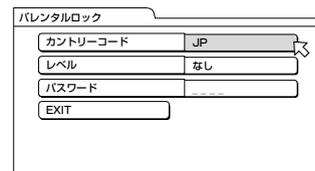
プルダウンメニューの項目（　　がお買い上げ時の設定）
DVD1 ⟷ DVD2 ⟷ DVD3

- **DVD1**
  テレビのビデオ3入力またはレシーバーのDVD入力に接続したとき、DVD1に設定します。
- **DVD2**
  テレビのビデオ1入力に接続したとき、DVD2に設定します。
- **DVD3**
  テレビのビデオ2入力に接続したとき、DVD3に設定します。

パレンタルロック

視聴制限（[パレンタルロック]を設定します。
この項目を選ぶと、パレンタルロック設定画面が表示されます。
- 設定方法については 60 ページをご覧ください。

パレンタルロック設定画面

初期設定を変更する

視聴制限を設定する

過激なシーンを含むDVDビデオの映画ソフトを再生する場合など、ディスクが対応していると視聴制限［パレンタルロック］機能の設定に応じて過激シーンをカットしたり別のシーンに差し換えることができます。

はじめに設定する

《ディスク停止中、またはディスクが入っていないときに》

1 設定

設定を押す

初期設定画面が表示されます。

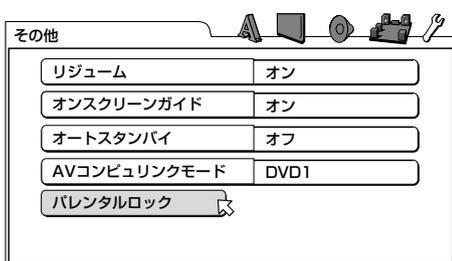
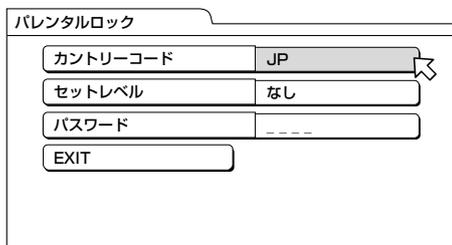
2 音量+ 音量−

カーソル（◀/▶）を使って「その他設定画面」にする

「その他設定画面」が表示されます。

3 CH+ CH− ⬇ 決定

カーソル（▲/▼）を使って ↖を［パレンタルロック］を合わせ、決定を押す

パレンタルロック設定画面が表示されます。

⬇ **決定**ボタンを押す

4 決定

↖が［カントリーコード］を指しているときに、決定を押す

カントリーコードのプルダウンメニューが表示されます。

カントリーコード	JP	JM
		JO
セットレベル	なし	JP
		KE
パスワード	＿＿＿＿	KG

5 CH+ CH− ⬇ 決定

カーソル（▲/▼）を使ってカントリーコードを選び、決定を押す

カントリーコードが設定され、↖ が［セットレベル］に移動します。

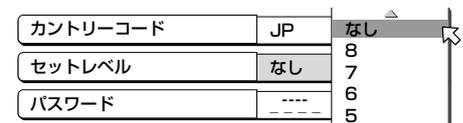
カントリーコード一覧 ☞ 63 ページ

6 決定

↖が［セットレベル］を指しているときに、決定を押す

セットレベルのプルダウンメニューが表示されます。

カントリーコード	JP	なし
		8
セットレベル	なし	7
		6
パスワード	＿＿＿＿	5

7 CH+ CH−

カーソル（▲/▼）を使ってレベルを選び、決定を押す

1～8の中から選びます。セットレベル「なし」が視聴制限を全くしない設定です。設定したレベル値以上のレベルのDVDビデオが再生できなくなります。
したがって設定したレベル数値が小さいほど、制限が厳しくなります。
レベルが設定され、↖ が［パスワード］に移動します。

8

数字ボタン（1～9、0）を使って任意のパスワード（4ケタの数字）を入力する

パスワードを間違えたら**決定**を押す前に入力し直してください。

カントリーコード	JP
セットレベル	なし
パスワード	1234

9 決定

決定を押す

パスワードが設定されます。
↖ が[EXIT]に移動します。もう一度**決定**を押すとその他の設定画面に戻ります。

設定を変更する

一度設定したパレンタルロックの設定(カントリーコード、セットレベル、パスワード)を変更することができます。

《ディスク停止中、またはディスクが入っていないときに》

1

設定を押す

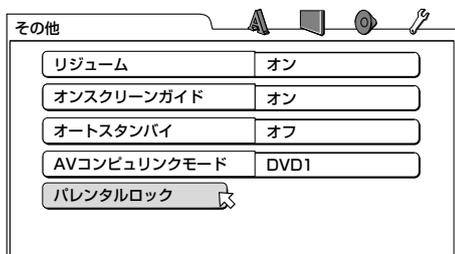
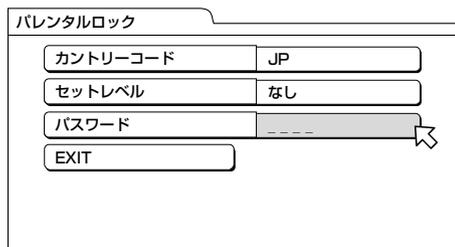
初期設定画面が表示されます。

2

カーソル(◀/▶)を使って「その他設定画面」にする

「その他設定画面」が表示されます。

3

カーソル(▲/▼)を使って を[パレンタルロック]に合わせ、決定を押す

決定ボタンを押す

4

数字ボタン(1〜9、0)を使って今までのパスワードを入力し、決定を押す

が［カントリーコード］に移動します。

パスワードについて

- 今までのパスワードを忘れてしまったときは「8888」を入力してください。今までのパスワードが無効になり、新しくパスワードを再設定できるようになります。
- パスワードの入力を3回間違えると、パレンタルロックの設定変更ができなくなります。このとき が[EXIT]に移動しますので、**決定**を押してもう一度最初からやり直してください。

5

が[カントリーコード]を指しているときに、決定を押す

カントリーコードのプルダウンメニューが表示されます。
カントリーコードを変更した場合、［セットレベル］も変更してください。

カントリーコード	JP	JM / JO / JP / KE / KG
セットレベル	なし	
パスワード	_ _ _ _	

6

カーソル(▲/▼)を使ってカントリーコードを選び、決定を押す

カントリーコードが設定され、 が［セットレベル］に移動します。
カントリーコード一覧 ☞ 63 ページ

7

が[セットレベル]を指しているときに、決定を押す

セットレベルのプルダウンメニューが表示されます。

カントリーコード	JP	なし / 8 / 7 / 6 / 5 / 4
セットレベル	なし	
パスワード	----	

8

カーソル(▲/▼)を使ってレベルを選び、決定を押す

レベルが設定され、 が［パスワード］に移動します。

62 ページにつづく

視聴制限を設定する（つづき）

設定を変更する（61 ページからつづき）

9 **数字ボタン(1～9、0)を使って新しいパスワード(4ケタの数字)を入力する**

パスワードを間違えたら**決定**を押す前に入力し直してください。

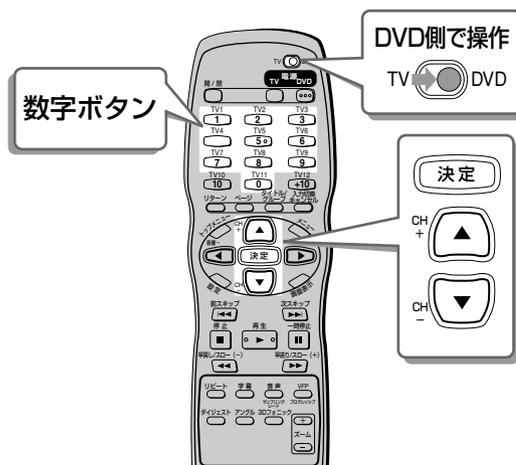
パスワードの入力

入力したパスワードが新しいパスワードになります。パスワードを変更したくないときは、同じパスワードを入力してください。
カントリーコードやセットレベルを変更する場合も、必ずこの操作を行ってください。この操作を行わないと、カントリーコードやセットレベルが変更されません。

10 決定 **決定を押す**

パスワードが設定されます。
が[EXIT]に移動します。もう一度**決定**を押すとその他の設定画面に戻ります。

パレンタルロックを一時解除する

パレンタルロックを厳しく設定しているとき、再生しようとしても全く見ることができないことがあります。このようなときは、パレンタルロックを一時的に解除することができます。

《DVD ビデオをトレイに入れ、右の画面が表示されたら》

1   **カーソル(▲/▼)を使って を[一時解除する]に合わせ、決定を押す**

2 決定 **決定を押す**

［一時解除する］を選ぶと、 が［パスワード］に移動します。
［一時解除しない］を選んだときは、このディスクを再生することはできません。**開/閉**を押してディスクを取り出してください。

3 **数字ボタン(1～9、0)を使って設定したパスワードを入力する**

- パスワードの入力を3回間違えると、 が[いいえ]に移動し、**カーソル**(▲/▼)を押しても動かなくなります。**決定**を押してパレンタルロック画面から抜け、ディスクを取り出してください。

4 決定 **決定を押す**

パレンタルロックが一時解除され、ディスクが再生されます。
パスワードを間違えていると、**決定**を押したあとに「**違います。やり直してください**」と表示されます。
手順**3**に戻って、もう一度正しいパスワードを入力してください。

カントリーコード一覧

AD	Andorra
AE	United Arab Emirates
AF	Afghanistan
AG	Antigua and Barbuda
AI	Anguilla
AL	Albania
AM	Armenia
AN	Netherlands Antilles
AO	Angola
AQ	Antarctica
AR	Argentina
AS	American Samoa
AT	Austria
AU	Australia
AW	Aruba
AZ	Azerbaijan
BA	Bosnia and Herzegovina
BB	Barbados
BD	Bangladesh
BE	Belgium
BF	Burkina Faso
BG	Bulgaria
BH	Bahrain
BI	Burundi
BJ	Benin
BM	Bermuda
BN	Brunei Darussalam
BO	Bolivia
BR	Brazil
BS	Bahamas
BT	Bhutan
BV	Bouvet Island
BW	Botswana
BY	Belarus
BZ	Belize
CA	Canada
CC	Cocos (Keeling) Islands
CF	Central African Republic
CG	Congo
CH	Switzerland
CI	Côte d’Ivoire
CK	Cook Islands
CL	Chile
CM	Cameroon
CN	China
CO	Colombia
CR	Costa Rica
CU	Cuba
CV	Cape Verde
CX	Christmas Island
CY	Cyprus
CZ	Czech Republic
DE	Germany
DJ	Djibouti
DK	Denmark
DM	Dominica
DO	Dominican Republic
DZ	Algeria
EC	Ecuador
EE	Estonia
EG	Egypt
EH	Western Sahara
ER	Eritrea
ES	Spain
ET	Ethiopia
FI	Finland
FJ	Fiji
FK	Falkland Islands (Malvinas)
FM	Micronesia (Fedelated States of)
FO	Faroe Islands
FR	France
FX	France, Metropolitan
GA	Gabon
GB	United Kingdom
GD	Grenada
GE	Georgia
GF	French Guiana
GH	Ghana
GI	Gibraltar
GL	Greenland
GM	Gambia
GN	Guinea
GP	Guadeloupe
GQ	Equatorial Guinea
GR	Greece
GS	South Georgia and the South Sandwich Islands
GT	Guatemala
GU	Guam
GW	Guinea-Bissau
GY	Guyana
HK	Hong Kong
HM	Heard Island and McDonald Islands
HN	Honduras
HR	Croatia
HT	Haiti
HU	Hungary
ID	Indonesia
IE	Ireland
IL	Israel
IN	India
IO	British Indian Ocean Territory
IQ	Iraq
IR	Iran (Islamic Republic of)
IS	Iceland
IT	Italy
JM	Jamaica
JO	Jordan
JP	Japan
KE	Kenya
KG	Kyrgyzstan
KH	Cambodia
KI	Kiribati
KM	Comoros
KN	Saint Kitts and Nevis
KP	Korea, Democratic People’s Republic of
KR	Korea, Republic of
KW	Kuwait
KY	Cayman Islands
KZ	Kazakhstan
LA	Lao People’s Democratic Republic
LB	Lebanon
LC	Saint Lucia
LI	Liechtenstein
LK	Sri Lanka
LR	Liberia
LS	Lesotho
LT	Lithuania
LU	Luxembourg
LV	Latvia
LY	Libyan Arab Jamahiriya
MA	Morocco
MC	Monaco
MD	Moldova, Republic of
MG	Madagascar
MH	Marshall Islands
ML	Mali
MM	Myanmar
MN	Mongolia
MO	Macau
MP	Northern Mariana Islands
MQ	Martinique
MR	Mauritania
MS	Montserrat
MT	Malta
MU	Mauritius
MV	Maldives
MW	Malawi
MX	Mexico
MY	Malaysia
MZ	Mozambique
NA	Namibia
NC	New Caledonia
NE	Niger
NF	Norfolk Island
NG	Nigeria
NI	Nicaragua
NL	Netherlands
NO	Norway
NP	Nepal
NR	Nauru
NU	Niue
NZ	New Zealand
OM	Oman
PA	Panama
PE	Peru
PF	French Polynesia
PG	Papua New Guinea
PH	Philippines
PK	Pakistan
PL	Poland
PM	Saint Pierre and Miquelon
PN	Pitcairn
PR	Puerto Rico
PT	Portugal
PW	Palau
PY	Paraguay
QA	Qatar
RE	Réunion
RO	Romania
RU	Russian Federation
RW	Rwanda
SA	Saudi Arabia
SB	Solomon Islands
SC	Seychelles
SD	Sudan
SE	Sweden
SG	Singapore
SH	Saint Helena
SI	Slovenia
SJ	Svalbard and Jan Mayen
SK	Slovakia
SL	Sierra Leone
SM	San Marino
SN	Senegal
SO	Somalia
SR	Suriname
ST	Sao Tome and Principe
SV	El Salvador
SY	Syrian Arab Republic
SZ	Swaziland
TC	Turks and Caicos Islands
TD	Chad
TF	French Southern Territories
TG	Togo
TH	Thailand
TJ	Tajikistan
TK	Tokelau
TM	Turkmenistan
TN	Tunisia
TO	Tonga
TP	East Timor
TR	Turkey
TT	Trinidad and Tobago
TV	Tuvalu
TW	Taiwan, Province of China
TZ	Tanzania, United Republic of
UA	Ukraine
UG	Uganda
UM	United States Minor Outlying Islands
US	United States
UY	Uruguay
UZ	Uzbekistan
VA	Vatican City State (Holy See)
VC	Saint Vincent and the Grenadines
VE	Venezuela
VG	Virgin Islands (British)
VI	Virgin Islands (U.S.)
VN	Viet Nam
VU	Vanuatu
WF	Wallis and Futuna Islands
WS	Samoa
YE	Yemen
YT	Mayotte
YU	Yugoslavia
ZA	South Africa
ZM	Zambia
ZR	Zaire
ZW	Zimbabwe

各部の名称

本体前面

名称	参照ページ
① ⏻/I(電源)ボタンとランプ	13 16
② ディスクトレイ	16 18
③ ⏏(開／閉)ボタン	16 18 19
④ ■(停止)ボタン	19
⑤ ▶(再生)ボタン	16 18 19
⑥ ❚❚(一時停止)ボタン	19～20
⑦ I◀◀、▶▶Iボタン	20 21
⑧ 表示窓(下の説明を参照してください)	
⑨ リモコン受光部	10
⑩ PROGRESSIVE(プログレッシブ)ランプ	17
⑪ DVD AUDIO(オーディオ)ランプ	18

表示窓

① **音声記録方式表示** 9
再生中のディスクの音声記録方式を表示します。

② **ディスクタイプ表示** 19
ディスクトレイに入っているディスクのタイプを表示します。DVDビデオのときは「DVD」、DVDオーディオのときは、「DVD AUDIO」、ビデオCDのときは「VCD」が点灯します。オーディオCDやMP3/JPEGディスクのときは「CD」が点灯します。

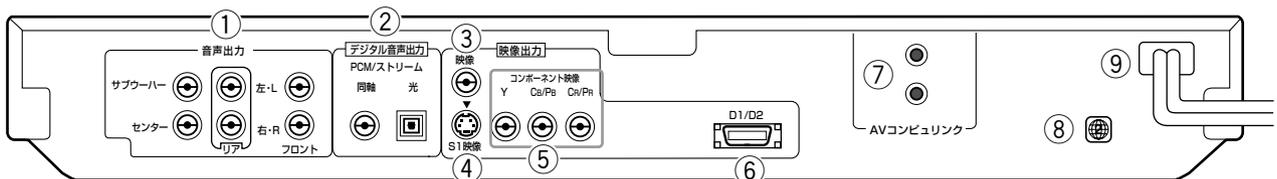
③ **▶／❚❚ 表示**
再生中は「▶」、一時停止中は「❚❚」が点灯します。

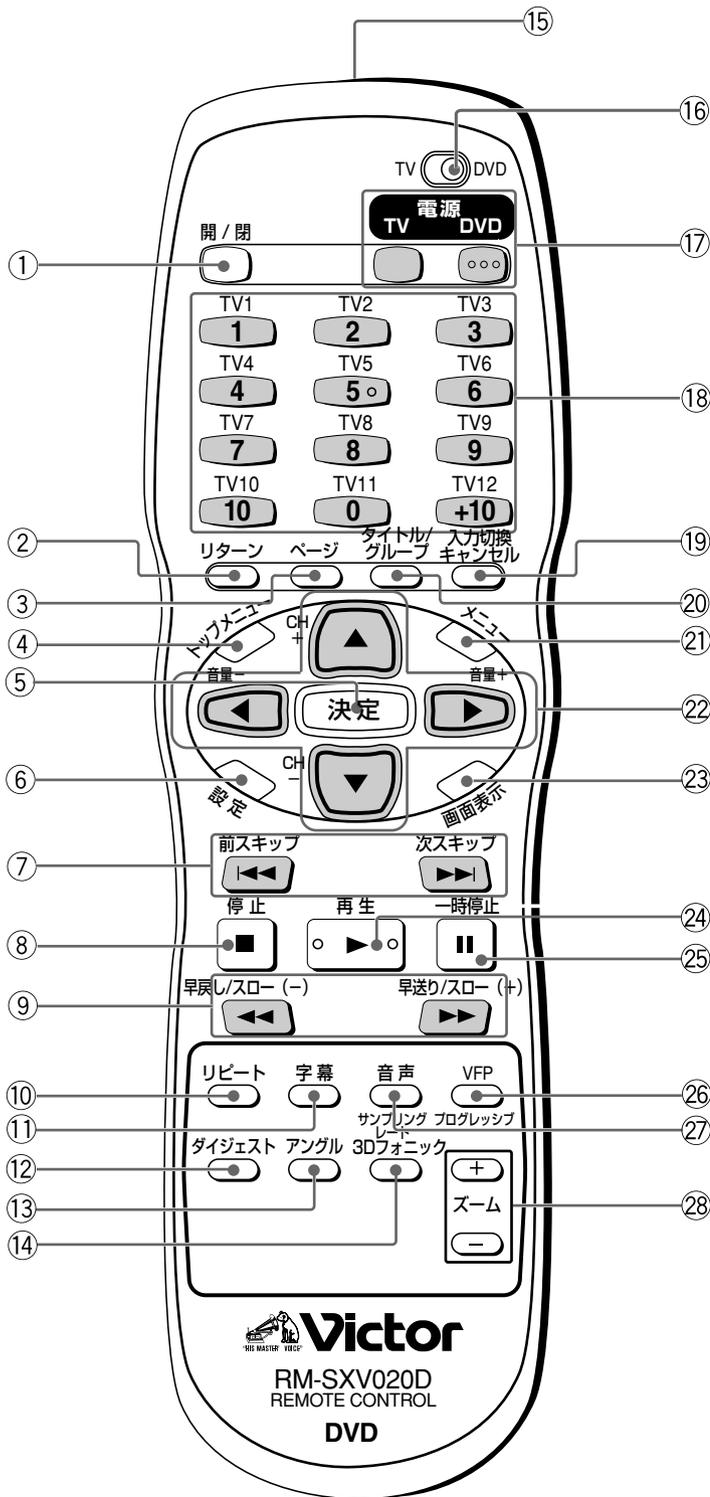
④ **プログラム／ランダム表示** 30 31
プログラム再生モード中やランダム再生モード中、それぞれの表示が点灯します。

⑤ **マルチ情報ウィンドウ**
グループ／タイトル／トラック／チャプター番号、時間、状態などを表示します。

⑥ **リピートモード表示** 32 33 47 52
現在のリピートモードを表示します。

⑦ **サンプリングレート表示** 39
再生中のディスクのサンプリングレートを表示するとき、点灯します。

本体背面

名称	参照ページ
① アナログ音声出力端子	11 12
② デジタル音声出力(PCM/ストリーム)端子	13
③ 映像出力端子	11
④ S1映像出力端子	11
⑤ コンポーネント映像出力端子	11
⑥ D1/D2端子	11
⑦ AVコンピュリンク端子	66
⑧ リージョン番号表示	7
⑨ 電源コード	13

リモコン（RM-SXV020D）

名称	参照ページ
① 開/閉ボタン	16 18
② リターンボタン	26
③ ページボタン	39
④ トップメニューボタン	25 26
⑤ 決定ボタン	14 15 18 22 25 28 ～ 31 33 ～ 37 40 ～ 44 46 49 52 53 58 60 ～ 62
⑥ 設定ボタン	17 22 53 60 61
⑦ I◀◀前スキップ／▶▶I次スキップボタン	20 21 46 49 50
⑧ ■停止ボタン	19 23 46
⑨ ◀◀早戻し／スロー(＋)、▶▶早送り／スロー(－)ボタン	20
⑩ リピートボタン	32 47 52
⑪ 字幕ボタン	34
⑫ ダイジェストボタン	29
⑬ アングルボタン	24 35
⑭ 3Dフォニックボタン	38
⑮ リモコン信号送信部	10
⑯ TV／DVD切換スイッチ	14 15 18 22 24 26 ～ 31 33 ～ 41 46 47 49 50 52 53 60 ～ 62
⑰ TV電源ボタン	15
DVD電源ボタン	14 16 17 23
⑱ 数字ボタン	15 18 21 26 ～ 28 30 40 47 50 51 60 ～ 62
⑲ 入力切換/キャンセルボタン	15 30
⑳ タイトル/グループボタン	27 47 50
㉑ メニューボタン	25
㉒ カーソル(▲/▼/◀/▶)ボタン	14 17 18 22 24 25 28 ～ 31 33 ～ 39 41 46 49 50 52 53 60 ～ 62
CH＋、CH－ボタン	15
音量＋、音量－ボタン	15
㉓ 画面表示ボタン	24 28 30 31 33 41
㉔ ▶再生ボタン	16 18 19 23 24 26 30 35 46 50
㉕ II一時停止ボタン	19 20 36 46
㉖ VFPボタン	37
プログレッシブボタン	17
㉗ 音声ボタン	34
サンプリングレートボタン	39
㉘ ズーム(＋、－)ボタン	36 52

AV コンピュリンクの活用

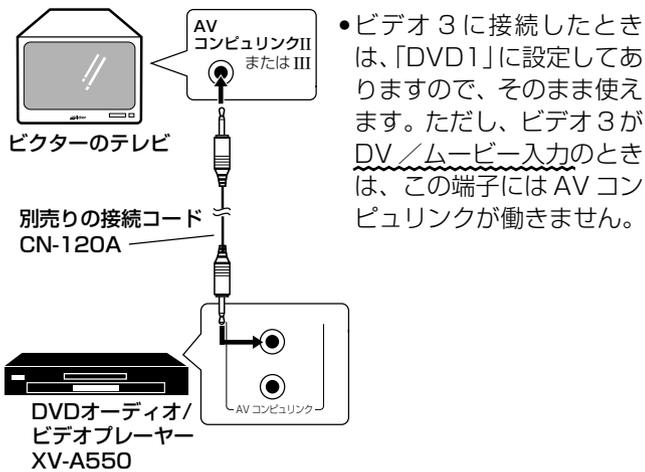
テレビ、ビデオカセットレコーダー、DVD プレーヤー、レシーバーなどいくつかの機器をつないで、再生するための接続をしても、操作はそれぞれ別々に行わなければならないわずらわしさがあります。一つの機器の操作に連動してほかの機器を動作させることによって、簡単な操作を実現したものが AV コンピュリンク機能です。

接続と設定をする

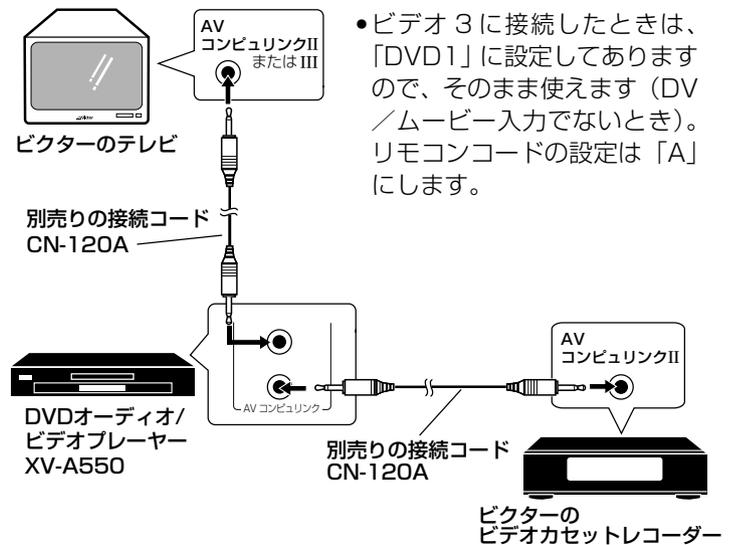
モノラルミニプラグ付きの接続コードを使用し、各機器の AV コンピュリンク端子どうしを接続します。機器によっては、AV COMPU LINK 端子と英語で表記されていますが、同様の端子です。
この機能を使うときは、モノラルミニプラグ付きの接続コード:CN-120A をお買い求めのうえご使用ください。

- AV コンピュリンクモードの設定（DVD1 ～ DVD3 の切り換え）は、「その他設定画面」（☞ 59 ページ）で操作します。
- 接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

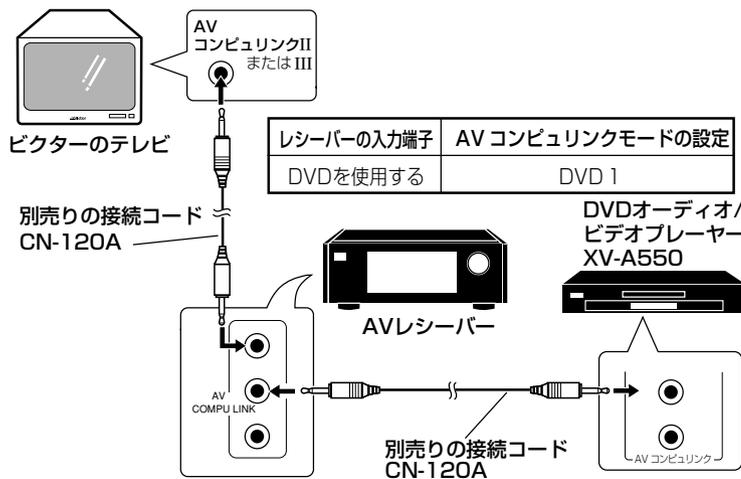
■ テレビとの AV コンピュリンク接続

- ビデオ 3 に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます。ただし、ビデオ３が DV ／ムービー入力のときは、この端子には AV コンピュリンクが働きません。

テレビの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2
ビデオ2のとき	DVD 3

■ テレビおよびビデオカセットレコーダーとの AV コンピュリンク接続

- ビデオ 3 に接続したときは、「DVD1」に設定してありますので、そのまま使えます（DV ／ムービー入力でないとき）。リモコンコードの設定は「A」にします。

テレビの入力端子	AVコンピュリンクモードの設定	ビデオカセットレコーダーのリモコンコードの設定
ビデオ 1 のとき	DVD 2	B
ビデオ 2 のとき	DVD 3	A

■ テレビおよびレシーバーとの AV コンピュリンク接続

レシーバーの入力端子	AV コンピュリンクモードの設定
DVDを使用する	DVD 1

ご注意

- **DVD以外の音声入力端子に、DVDの音声出力を接続すると正しく動作しません。**
- **D1/D2映像出力をテレビにつなぐときは、DVDプレーヤーの AV コンピュリンクモードの設定を「DVD1」にしてください。また、レシーバーのSビデオ端子とは接続しないでください。**

操作方法

ソース機器（DVD プレーヤーやビデオカセットレコーダーなどの再生する機器のことをいいます）を再生するだけで音や映像を鑑賞することができます。テレビやレシーバーの入力を切り換えたり、あらかじめ電源を「入」にする操作は必要ありません。

1. **テレビの主電源スイッチを「入」にする**
2. **ソース機器にディスク、またはビデオカセットを入れる**
3. **ソース機器の ▶ 再生ボタンを押す**

次の動作が自動的に行われます。

- テレビの電源が「入」になります。
- テレビの入力切り換えがソース機器を接続している外部入力（ビデオ 1、ビデオ2、またはビデオ 3）になります。
- レシーバーの電源が「入」になります。
- レシーバーのソース切り換えが再生ボタンを押した機器に切り換わります。

Q & A（よくあるご質問）

Q （ご質問）	A （回答）

ディスクについて

海外で購入したDVD ビデオやビデオCDのディスクを再生することができますか？	DVDビデオの場合は、リージョン番号（ローカル番号）が「ALL 」、または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCまたはPALであれば再生できます（PALディスクは、信号をNTSCに方式変換して再生します）。 ビデオCDの場合は、映像方式がNTSC であれば再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
リージョン番号（ローカル番号）がないDVD ビデオを再生することができますか？	リージョン番号（ローカル番号）はディスクが規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDビデオは再生できません。
JPEG以外の静止画が収録されたCD-R/RWディスクは再生できますか？	再生できません。

音声について

Dolby Digital EXと印刷されたディスクは再生できますか？	ドルビーデジタルと再生互換があるため、再生できます。 ただし、本来の効果を得たい場合は、対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなぐ必要があります。その際、本機の音声設定画面の中の［デジタルOUT］設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
DTS ESと印刷されたディスクは再生できますか？	本機のアナログAUDIO OUTではお楽しみ頂けませんが、DTS ES対応のサラウンドデコーダー／デコーダー内蔵のアンプやレシーバーに、本機のデジタル音声出力端子を用いてつなげばお楽しみいただけます。その際、本機の音声設定画面の中の［デジタルOUT］設定を「ストリーム／PCM」に設定してください。
THXと印刷されているディスクは、どういうディスクですか？本機で再生できますか？	再生できます。 「THX」は、米国ルーカスフィルム社が設けた、高品位な映像･音声収録、または再生における独自の部門及び基準の名称で、その基準に適合したディスクや機器を表すものであり、収録フォーマット自体をさすものではありません。
MP3とオーディオCDの両方のフォーマットが一枚のディスクに録音されているときは、両方とも再生できますか？	そのような場合は、データCDフォーマットで収録されているため、オーディオCDのトラックは再生できません。MP3のトラックのみ再生できます。
ドルビーデジタルのディスクには、5.1chサラウンドとドルビーサラウンドという2種類のサラウンド音声が収録されていることがありますが、どう違いますか？	いずれもアメリカ･ドルビー研究所が開発したサラウンド音声の規格です。 ドルビーサラウンドは、サラウンド成分（2ch）を、通常のアナログステレオ音声（左／右）に重ねて記録し、ドルビーサラウンド、およびドルピープロロジックデコーダーによって音声を分離･再生します。 ドルビーデジタルは、最大でフロント左、フロント右、センター、リア左、リア右、LFE（Low Frequency Effect：サブウーハーなどの低音信号用）の計6ch分の音声をデジタル化、圧縮した上で独立して記録し、ドルビーデジタルデコーダーによって再生します。 収録状況にもよりますが、一般的にはドルビーデジタルのほうがより優れた音場効果が得られます。

映像について

DVD VIDEOやビデオ CDの映像に、細かいモザイクのようなものが出るのですが、これは故障ですか？	デジタル収録された動画特有のもの (ブロックノイズ) であり、本機の故障ではありません。

その他

本取扱説明書の操作通りに機能しません。	コンテンツ作成者の意図や構造上の制約等により、本機の操作を受け付けない場合があります。
DVDビデオの映像をビデオテープに録画することはできますか？	ほとんどのDVDビデオ はコピー禁止処理がされてるので、ビデオテープへの録画はできません。
本機で録画はできますか？	録画はできません。

故障かな？と思う前に

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に以下の点検をしてください。

症　状	確認してください	参照ページ

電源について

症　状	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	13
勝手に電源が切れる	節電のためにオートスタンバイ機能が設定されています。再度電源を入れてください。	59

操作について

症　状	確認してください	参照ページ
各ボタンの操作ができない	ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	—
	ディスクによっては、まれに電源以外の操作ができなくなる場合があります。このような場合は、本体の ⏻/I(電源) を押して電源を一度切り（約10秒かかります）、もう一度 ⏻/I(電源) を押して本機の電源を入れ直してください。	
	落雷や静電気などの影響で、本機が正常に動作しないことがあります。いったん電源を切り、電源コードを接続し直してください。	13
リモコンが働かない	リモコンを本機の受光部に向け、約5m以内で障害物を避けて操作してください。	10
	乾電池が消耗していたら乾電池を交換してください。	10
	乾電池の極性（＋、－）を確かめて正しくセットしてください。	10
	リモコン受光部に直射日光が当たらないようにして操作してください。	10
本機のリモコンでテレビが操作できない	本機のリモコンでテレビが操作できるように設定してください。	15
	リモコンのTV/DVD切換スイッチを「TV」側にしてください。	15
リモコンでDVDが操作できない	リモコンのTV/DVD切換スイッチを「DVD」側にしてください。	—
再生ができない	DVDビデオの場合、本機とお使いのディスクのリージョン番号（ローカル番号）が異なっていると、再生できません。	7
	本機で再生できるディスクかどうか確認してください。	7
	本機を寒いところから急に暖かいところへ移動すると、内部に露が付くことがあります。1～2時間待ち、乾いてからお使いください。	—
	ディスクを正しくセットしてください。	18
	初期設定の視聴制限［パレンタルロック］が設定されていると、セットレベルによっては見られないディスクがあります。	60～62
「言語」初期設定の設定項目が切り換えられない	再生中は［画面表示言語］以外の切り換えはできません。	54
音声／字幕言語の切り換えができない	複数の言語が収録されていないディスクでは切り換えができません。	34、54
	音声ボタン、字幕ボタンでは切り換えできなくても、初期設定画面で切り換えることのできるディスクもあります。	54
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDビデオでは表示されません。	34
	初期設定で字幕言語が［オフ］になっている場合は、字幕言語を選択してください。	54
	A-BリピートのAポイント、Bポイントの前後では字幕が表示されないことがあります。	—
アングルが変えられない	複数のアングルが収録されている場面でのみ切り換えることができます。	35
タイトル/グループが選べない	DVDビデオ/DVDオーディオによっては再生中、リモコンの数字ボタンでタイトル/グループが選べないことがあります。いったん ■ 停止を押してからタイトル/グループを選んでください。	27

症　状	確認してください	参照ページ

音声について

症　状	確認してください	参照ページ
音が出ない	オーディオコードを正しく接続してください。	11～12
	接続した機器の音量(ボリューム)を確認してください。	—
	接続した機器の入力切り換えを確認してください。	—
	表示窓に「NO AUDIO」と表示されたら、不法なコピーディスクの可能性があります。ディスクをお買い上げになった店で確認してください。	—
音がひずむ	ディスクの汚れを落としてください。	9
	テレビの設定を確認してください。	—
デジタル音声出力を使っていて音が出ない	ディスクの規格上、デジタル信号が出力できない場合があります(☞ 56 ページ)。このような場合は、アナログ接続でお使いください。	—
テレビやビデオとくらべて音が小さい	ディスクの規格上、小さい音で収録されています。接続した機器の音量(ボリューム)を上げてください。また、別の機器に切り換える場合は、あらかじめ接続された機器の音量を下げてください。	10

映像について

症　状	確認してください	参照ページ
映像が出ない (画面サイズがおかしい)	テレビの電源を入れてください。	—
	再生できるディスクであるかを確認の上、ディスクを交換してください。	7
	入力を「テレビ」に切り換えてください。	—
	ビデオコードを正しく接続してください。	11
	[TVタイプ]の設定をお使いのテレビに合わせてください。	55
	ワイドテレビでお楽しみの場合、初期設定画面の上下が切れてしまうことがあります。このような場合はテレビ側で表示サイズを切り換えてください。	—
映像が乱れる	スキャンモードをお使いのテレビに合わせて正しく設定してください。	17
	[プログレッシブモード]の設定を変えてください。	55
	本機とテレビの間にビデオデッキを接続していませんか。本機とテレビは直接接続してください。また、テレビデオに接続したときも映像が乱れることがあります。	10～11
	ディスクの汚れを落としてください。	9
	テレビの設定を確認してください。	—
テレビ画面が暗くなる	初期設定の映像設定[スクリーンセーバー]がオンのとき、静止画が5分以上続くとスクリーンセーバーが動作し、テレビ画面が暗くなります。	19、55

その他

症　状	確認してください	参照ページ
画面に ⃠ が表示される	行った操作が禁止されているときに表示されます。	—
画面に「リージョンコードエラー！」が表示される	本機とお使いのディスクのリージョン番号(ローカル番号)が異なっていると表示されます。このディスクを再生することはできません。	7

以上の項目に当てはまらないときは、本機以外の原因も考えられます。接続している機器なども併せてお調べください。それでもなお異常のあるときは、「保証とアフターサービス」(☞ 70 ページ)の項をお読みの上、修理を依頼してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（71 ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

68 ～ 69 ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	DVDオーディオ/ビデオプレーヤー
型　　名	XV-A550
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お願い

- 本機の故障または不具合等によりディスクの再生などにおいて利用の機会を逸したたため発生した損害等の補償については、ご容赦ください。
- 長期間の連続使用を目的とされる場合には、良好な状態を維持してご愛用いただくため、消耗品（ベルト、モーター、ピックアップ等）の定期的な保守、点検が必要になります。

ビクターサービス窓口案内 （ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	窓口名	TEL	〒	所在地
	北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0155)24-0797	080-0005	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	040-0001	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031-0803	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)673-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	973-8409	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	965-0831	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
	関東・甲信越			
新潟	新潟 S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025)545-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	390-0828	松本市庄内2-4-21
群馬	前橋 S.C	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	宇都宮 S.C	(028)638-1639	321-0953	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	土浦 S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1-10-1
	水戸 S.C.	(029)246-1560	310-8526	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術ビル1F
山梨	甲府 S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113-0033	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S	(03)3251-2128	101-0021	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176-0014	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145-0062	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192-0045	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	CS情報センター	(03)3874-5231	110-0003	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330-0037	さいたま市東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	279-0001	千葉県浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463)36-2160	254-0065	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
	東海・北陸			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422-8043	静岡市中田本町62-31中田ビル1F
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)51-5931	444-0833	岡崎市桂曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440-0028	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山 S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211
	近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)644-0247	612-8401	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(0744)24-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	大阪メンテナンスセンター	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	646-0031	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
	中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700-0927	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083)973-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関 S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売（株）松江 S.C.	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売（株）鳥取 S.C.	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
	松山 S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
愛媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄			
福岡	福岡 S.C.	(092)-431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S	(0942)-39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802-0064	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	870-0882	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S	(0982)35-7707	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	890-0034	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 1002

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

用語集

英字・数字

ch (チャンネル)
出力される音声の位置や種類を表します。
ドルビーデジタル5．1chの場合を例にとると、フロント(L(左)/R(右))、リア(L/R)、センター及びサブウーハーの6つありますが、サブウーハーは出力される音声全体に占める低音の割合から、1chと数えず0.1chで数えられます。

DTS (Digital Theater System)
サラウンド方式の一つで、チャンネル数はドルビーデジタルと同じ最大5.1ch です。音声圧縮率を低くしたフォーマットのため、音に厚みのあるノイズの少ない再生が可能です。

D端子
映像信号(Y、C_B、C_R)と、映像信号のフォーマットを識別する制御信号を一つのコネクタで接続できる端子です。
映像フォーマットの対応度に応じていくつかの規格があり、本機はD1/D2 端子を備え、D1～D4 端子付きのデジタルテレビに接続することができます。

Dレンジコントロール
大きな音を押さえ気味にし、小さな音を持ち上げる機能です。大音量シーンでテレビの音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聴きとることができます。

JPEG (Joint Photographic coding Experts Group)
静止画情報圧縮フォーマットの一つで、インターネットやデジタルカメラなどに広く利用されています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)
動画情報圧縮フォーマットの一つで、音声信号も含まれます。いくつかの規格があり、ビデオＣＤではＭＰＥＧ-１、ＤＶＤビデオではMPEG-2が用いられています。

MP3(MPEG-1 Audio Layer-3)
音声情報圧縮の国際規格で、音声データを元の音質を大きく損なうことなく、約1/10に圧縮することができるフォーマットです。このMP3 フォーマットで記録したCD-R／CD-RW ディスクを、本取扱説明書では「MP3 ディスク」と呼んでいます。

NTSC
日本やアメリカで採用されているテレビ／ビデオ方式です。ヨーロッパなどでは別の方式(PAL あるいはSECAM)を採用しています。フレーム数や走査線数が異なるため、方式間の互換性はありません。

S映像信号
映像信号形式の一つで、信号を明るさの要素(輝度:Ｙ)と色(Ｃ)の要素に分けて伝送するため、鮮明で色のにじみが少ない映像が楽しめます。これに、テレビ側でフルモード(縦長の映像)を自動判別信号を加えたのがS1映像信号です。

VFP(ビデオ ファイン プロセッサー)機能
映像の微妙なチューニング(調整)を可能にする当社独自の機能です。ソフトやお部屋の状態など、お好みに応じ映像の明るさやコントラスト、中間の明るさが選べるガンマ補正や、色ずれを補正するY/Cディレーなどの項目が調節できます。これまで難しかった映画フイルムの質感にも迫る、なめらかで階調が深い映像表現の追求も可能にしました。

3Dフォニック
従来のステレオ2 スピーカー(前面の2 スピーカー)のみで、迫力あるデジタル立体音場の"ドルビーデジタル"を再生する当社独自の技術です。当社の立体音像定位技術「3D-PHONIC」を応用することにより、前面のステレオ2 スピーカーのみでリスナーを自然に取り巻くような立体のサラウンド音場効果をつくりだし、リアスピーカー、センタースピーカーやアンプの追加、配置、配線、調整が不要なシンプルな構成で"ドルビーデジタル"サラウンドを再生します。

525i／525p
映像信号の走査線数と走査方式の略称を表します。５２５ｉは走査線525本のインターレース方式、525pは走査線525本のプログレッシブ方式を指します。

あ

アスペクト比
表示される映像の縦横比のことです。通常のテレビの横：縦の比は4：3、ワイドテレビ、およびHDテレビの横：縦の比は16：9の比率をもっています。

インターレーススキャン(飛び越し走査)
従来のテレビ／ビデオで使われている映像方式です。動画は1　秒間に約３０枚の連続した画面からできていますが、一つの画面(フレーム) はさらに2 分割されたうえ、互い違いに「間引き」されています。この分割された画面(フィールド) を交互に送り出すことで、各々の画面を補い、一 つの画面を作っています。

エンコード
アナログ音声信号を圧縮デジタル音声信号に変換すること。一般的には、信号をある規則に合わせて変換する過程や操作をさします。

カーソル
一般的には数字などの挿入ポイントのことをいいます。

コンポジット映像信号
映像信号形式の一つで、 従来から使われています。信号の明るさの要素(輝度)と色の要素を周波数多重技術で複合し、これに色の基準となるバースト信号、同期信号を加えたものを一つの信号線で伝送します。

コンポーネント映像信号
ビデオ信号方式の一つで、光の3 原色の信号(G/B/R)や、それを規準により効率よく返還された映像信号(色差信号:Y/C_B/C_R)をさします。各々別々の信号線で伝送するため、高画質で伝送することができます。

サラウンド
視聴者の周囲にスピーカーを複数配置し、臨場感あふれる立体音場を作りだすシステムをいいます。

サンプリング周波数
アナログ音声をデジタル信号に変換する場合、もとになるアナログ信号を、1　 秒間に何回という割合で細かく区切ります。この過程を「サンプリング」といい、サンプリングに使われる周波数をさします。

タイトル
DVD　ビデオの構成単位で、カテゴリやジャンル別での大きなくくりを指します。一般にDVD ビデオは、いくつかの「タイトル」に区切られています。

ダイナミックレンジ
音声レベルの1番大きい部分と1番小さいレベルの差をいいます。

ダウンミックス
サラウンド方式(3　チャンネル以上)で記録されたマルチチャンネル音声トラックを、ステレオ2 チャンネル音声にミックスして再生する機能をいいます。

チャプター
DVD　ビデオの各タイトル内を、個別のシーンなどの小さなくくり(チャプター)で区切った単位です。

デコード
圧縮されたデジタル音声信号を、アナログ音声信号に戻すこと。一般的には、ある規則に合わせて変換された信号を、もとの信号に戻す過程や操作をさします。

転送レート
1 秒間に送りだすデジタルデータのデータ量のこと。DVDビデオでは可変転送レート方式を採用し、信号を効率よく記録しています。

トラック
CDやMP3ディスクの記録単位で、主に一つの楽曲をさします。

ドルビーサラウンド／ドルビープロロジック
サラウンド方式の一つ。ドルビーサラウンドはフロント･リア計4ch分の音声信号を、いったん2chで記録し、専用のデコーダーを通し再生時にはもとの4chに戻します。2ch記録のためステレオ機器につないでも違和感のない再生が可能な方式です。
これにデコーダー側の処理で方向性強調回路(音の出ていないチャンネルのレベルを下げたり, 逆に特定チャンネルの音量レベルを上げる)を取り入れて立体感を強調し、さらにセリフを中心に再生するセンタースピーカーを加え, その結果各チャンネルの分離精度(＝セパレーション)を向上させたのがドルビープロロジックです。

ドルビーデジタル
サラウンド方式の一つ。最大フロント3ch、リア2ch、およびサブウーハー0.1ch の5.1chまで対応しています。

は

パレンタルロック
年齢の若い視聴者に対して好ましくない内容を含んだDVDビデオの場合、あらかじめソフトに視聴可能なレベルが設定されています。このレベルに応じてプレーヤー側のレベルを設定し、見せたくないシーンなどを再生できなくしたり、別のシーンに変えたりすることができるようにする機能のことをいいます。

パンスキャン
映画などの横長の画像をアスペクト比4:3のテレビに映し出す方法の一つ。横長画面の左右両端が切りとられた状態で映ります。

ビットストリーム
ドルビーデジタルなどのように、圧縮されたデジタル音声信号のこと。一般的には各種エンコード作業によって作成されたデジタルデータをさします。

プレイバックコントロール(PBC)
ビデオCD (バ−ジョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。PBC 対応ビデオCD に記録されているメニュー画面を使って、対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどが楽しめます。

プログレッシブスキャン(順次走査)
映像の各フレーム情報を「間引き」せず、各フィールドごとに完全な映像を持つビデオ方式。映像情報が従来の方式(インターレース)に比べて倍になるため、チラツキの少ない高密度の映像が得られます。

ま

メニュー
DVD ビデオに複数記録されたタイトルの映像や音声、字幕、マルチアングル等を選ぶために用意された画面をいいます。

ら

リニアPCM 音声
アナログ音声信号をデジタル信号に変換して扱う方式の一つで、変換に際して圧縮を全くしない方式。

リジューム再生
一度再生を中断したあと、中断した場所から再び再生を開始することをいいます。

リージョン番号(再生可能地域管理)
あらかじめ設定された地域(リージョン)についてのみ、再生を可能とするシステムのことです。世界各国を6つの地域に分け、これに番号(リージョン番号)をつけ識別します。ディスクに設定されたリージョン番号と、DVDプレーヤーのリージョン番号が合わない場合、再生することはできません。

レターボックス
映画などの横長の画像、アスペクト比 4:3 のテレビに欠けることなく映し出す方法。画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長画像を映し出します。画面が文字通りレターボックス(郵便受け)に似ていることから名付けられています。

用語索引

ボタンについては、64 ～ 65 ページの「各部の名称」をご覧ください。

英字・数字

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ラ

主な仕様

一般

再生可能ディスク	DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD、オーディオ CD、CD-R/RW（オーディオ CD、ビデオ CD、MP3、JPEG フォーマット）、DVD-R（ビデオフォーマット）
映像信号方式	JEITA 標準、NTSC カラーテレビジョン方式（525i/525p 選択可）
電源	AC 100 V (50 Hz/60 Hz)
消費電力	電源「入」時 14 W 「切」（スタンバイ）時 1.8W
質量	2.4 kg
外形寸法	(幅) 435 mm × (高さ) 55 mm × (奥行) 258.4 mm

ビデオ出力

コンポジット映像出力	1.0 V(p-p) / 75 Ω
S1 映像出力	Y 出力 ：1.0 V(p-p) / 75 Ω C 出力 ：0.286 V(p-p) / 75 Ω
コンポーネント映像出力 D1/D2	Y 出力 ：1.0 V(p-p) / 75 Ω CB/PB、CR/PR 出力 ：0 〜 0.7 V(p-p) / 75 Ω
水平解像度	500 本以上

オーディオ出力

アナログ音声出力	フロント / リア ：2.0 Vrms / 10 k Ω センター ：2.0 Vrms / 10 k Ω サブウーハー ：2.0 Vrms / 10 k Ω
デジタル音声出力 光 同軸	 − 21dBm 〜 − 15 dBm (ピーク) 0.5 V(p-p)/75 Ω

オーディオ特性

周波数特性	CD (サンプリング周波数 44.1 kHz) :2 Hz 〜 20 kHz DVD (サンプリング周波数 48 kHz) :2 Hz 〜 22 kHz* * DTS、ドルビーデジタルのビットストリーム信号は 2 Hz 〜 20 kHz DVD (サンプリング周波数 96 kHz) :2 Hz 〜 44 kHz DVD (サンプリング周波数 192 kHz) :2 Hz 〜 88 kHz
ダイナミックレンジ	16 ビット ：100 dB 以上 20 ビット /24 ビット ：110 dB 以上 (JEITA)
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.002% W.PEAK）以下 (JEITA)
全高調波ひずみ率	0.0018%　16 ビット(JEITA) 0.0012%　20 ビット /24 ビット(JEITA)

・付属品は、6 ページをご覧ください。
・本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
・JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

ご参考に

別売りのオプション品

品名		型名
・オーディオ／ビデオコード	：	VX-35G （モノラル音声テレビとの接続用）
	：	VX-315E（モノラル音声テレビとの接続用）
・オーディオコード	：	CN-510E
・光デジタルケーブル	：	XN-110SA
・同軸デジタルケーブル	：	CN-D110E（ピンプラグ）
・S ビデオコード	：	VC-S110E
・コンポーネントビデオコード	：	VX-D110E（ピンプラグ× 3 ～ピンプラグ× 3）
		VX-DS110（D プラグ～ D プラグ）
		VX-DS210（D プラグ～ピンプラグ× 3）
・DVD レンズクリーナー	：	CL-DVDL

別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
71 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**東京 ☎(03) 5684-9311** FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14-7 ビクター本郷ビル **大阪 ☎(06) 6765-4161** FAX(06)6765-4891 〒550-0013 大阪市西区新町3-1-13 新町レナウンビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
パーソナル＆モビールネットワークビジネスユニット
〒242-8514　神奈川県大和市下鶴間1644　☎ 046-278-1743

1002TNYNATJSC